むつ市総合経営計画策定のための
アンケート調査（市民・学生）
結果報告書

むつ市

令和７年度

2025 年 12 月

《目　次》

１．調査概要 1
（１）調査の目的 1
（２）実施概要 1
（３）調査結果にかかる留意事項 1
（４）市民対象アンケート調査回収サンプル数の信頼性について 2

２．調査結果 3
（１）市民アンケート 3
①回答者について 3
②むつ市への愛着や定住意向について 4
③むつ市のまちづくりへの満足度、今後の重要度について 16
④結婚・出産に関する考え方について＜１０代～４０代対象＞ 33
⑤むつ市の今後のまちづくりについて 38
⑥むつ市内に配置されている自衛隊について 46
⑦むつ市の将来のまちづくりについての自由意見 49

（２）学生アンケート（市内高校生・大学生対象） 56
①回答者について 56
②むつ市への愛着や誇りについて 57
③卒業後の定住意向・進路・就職について 59
④起業意向について 72
⑤むつ市の地元企業について 74
⑥希望するライフスタイルについて 79
⑦むつ市の今後のまちづくりについて 85
⑧むつ市の将来のまちづくりについての自由意見 89

３．アンケート調査結果のサマリー 94
（１）調査の設問構成 94
（２）アンケート調査の総括 94
（３）市民アンケートの考察 95
（４）学生アンケートの考察 96
（５）市民×学生のクロス分析（世代間ギャップと共通項） 98
（６）年代別・居住地区別・家族構成別の着眼点 99

４．アンケート調査票 101
（１）市民アンケート 103
（２）学生アンケート（市内高校生・大学生対象） 111

１．調査概要

（１）調査の目的

令和９年度からの 10 年間を計画期間とする、新たな「むつ市総合経営計画」を策定するにあたり、市政に関して市民が日頃より感じている課題や行政ニーズを把握し、まちづくりの取組みに反映するため、アンケート調査を実施しました。

（２）実施概要

調査対象者	① 満 15 歳以上かつ１年以上市内に居住している市民 ② 市内の高等学校・大学に通学する高校生・大学生
調査方法	① 郵送による調査票の配布、郵送による調査票の回収およびウェブ回答フォームによる回答 ② 各学校を通じ、二次元コード等を記載した案内文を配布、ウェブ回答フォームによる回答
調査実施期間	① 令和７年９月８日～令和７年９月 30 日 ② 令和７年９月 25 日～令和７年 10 月 15 日
調査回答件数	① 配布：2,000 件発送、うち 5 件が宛先不明等により不達のため 1,995 件 回収：郵送による回答 561 件、ウェブ回答フォームを通じた回答 241 件 合計数 802 件（有効回答数） 回収率：40.2%（宛先不明等により不達分を除く） ② 配布：1,154 件 回収：511 件（有効回答数） 回収率：44.3%

（３）調査結果にかかる留意事項

・各選択肢の回答割合は、すべて小数点第２位を四捨五入しています。そのため、単数回答（１つのみ回答を選ぶ形式）の設問において、**各選択肢の回答割合の合計値が「99.9%」「100.1%」となるなど、「100.0%」とならない**場合があります。

・複数回答（２つ以上の回答を選ぶ形式）における回答割合の単位はパーセント（%）としています。この場合、回答は有効標本数（サンプル数）全体に対して各々の割合を示すものであり、**各選択肢の回答割合を合計しても「100.0%」となりません**。

・本報告書における**「ｎ」・「ＳＡ」・「MA」・「ＦＡ」**それぞれの表記が示す内容は、以下のとおりです。

「ｎ」　＝有効標本数（サンプル数／集計対象者総数）のこと（Number of case の略）
「ＳＡ」＝単数回答のこと（Single Answer の略）
「MA」＝複数回答のこと（Multiple Answer の略）
「ＦＡ」＝自由回答のこと（Free Answer の略）

・クロス集計表では、「全体」の集計結果に対して比率の差が大きいものについて、以下の条件で表枠に色付けをしています。（有効標本数 30 未満の項目を除きます。）

［比率の差］ 全体＋10%　全体＋5%　全体－5%　全体－10%

・有効標本数の少ないものや割合の極めて低いものは、分析文を省略しています。

・「ＦＡ（自由回答）」については、原則「原文ママ」で掲載しています。

（4）市民対象アンケート調査回収サンプル数の信頼性について

むつ市の総人口（令和７年８月31日時点住民基本台帳事項世帯集計表より引用※外国人191人を除く）

母集団の数＝ 50,529　　信頼度係数は1.96で固定／本調査における回収数は1,995件中802件、回収率は「40.2%」

回収率＝ 40.2

母集団の大きさ	50,529	50,529	50,529	50,529	50,529	50,529	50,529	50,529	50,529	50,529
サンプリング誤差	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
母集団の回答率（%）	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2	40.2
信頼度係数	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96	1.96
必要な配布サンプル数	7,808	3,796	2,208	1,436	1,006	743	571	452	367	303
最低限必要な回収サンプル数	3,139	1,526	888	577	404	299	229	182	147	122

誤差が小さい　←→　誤差が大きい

↑±2.5%の範囲を基準に設定

○サンプリング誤差（標準誤差）が少ないほど、調査の精度が高くなります。

○世論調査においては一般的に**±3.5%の誤差で十分**であるとされています。

○今回の調査の回収数は 1,995 件中 802 件、回収率は「40.2%」でした。信頼度係数 2.0～2.5 の間に収まる範囲となっており、十分に信頼性のある結果になっているといえます。

2．調査結果

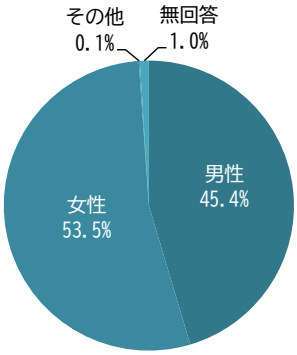
（1）市民アンケート

①回答者について【問1～7】

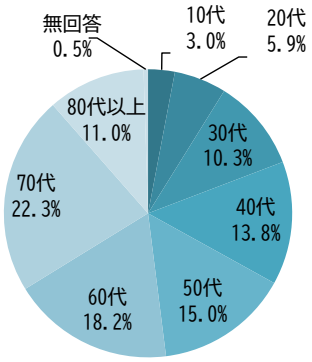
問1 ～ 問7　調査回答者の性別･年齢･居住地区･職業･家族構成･居住年数【SA】

本調査の回答者の基本属性は以下のとおり。

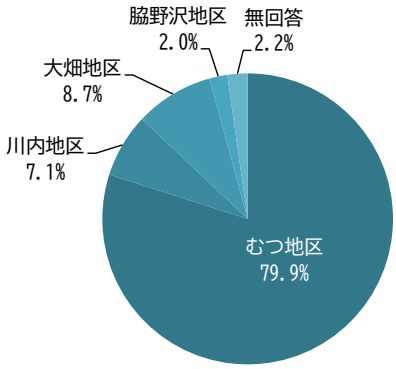
回答者の性別　n=802



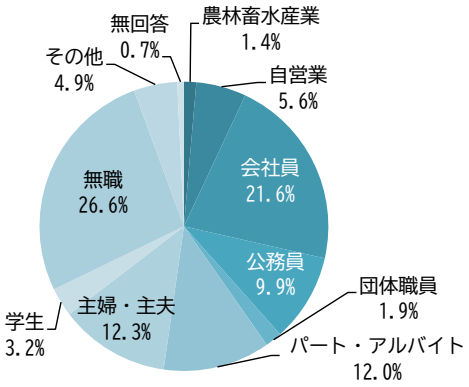
回答者の年齢　n=802



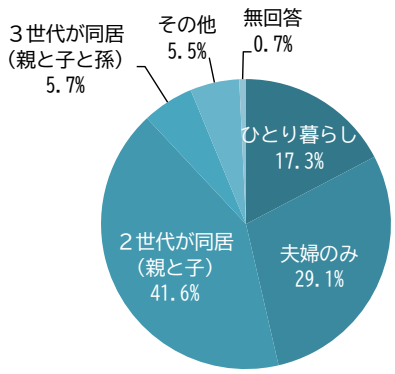
回答者の居住地区　n=802



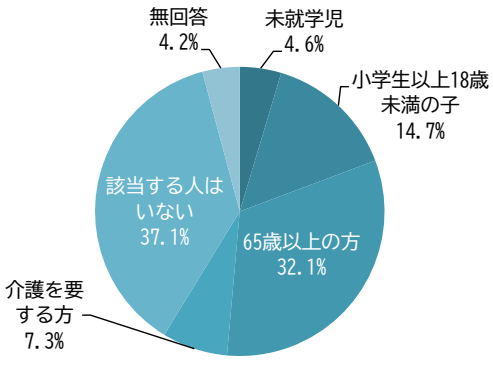
回答者の職業　n=802



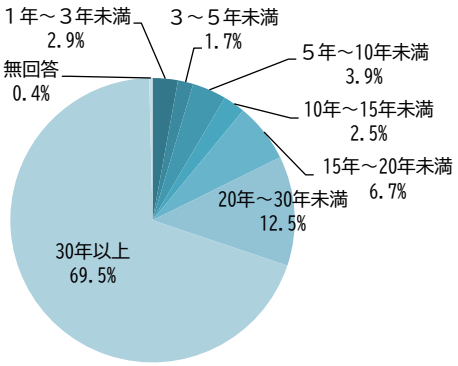
回答者の家族構成　n=802



回答者の同居家族　n=802



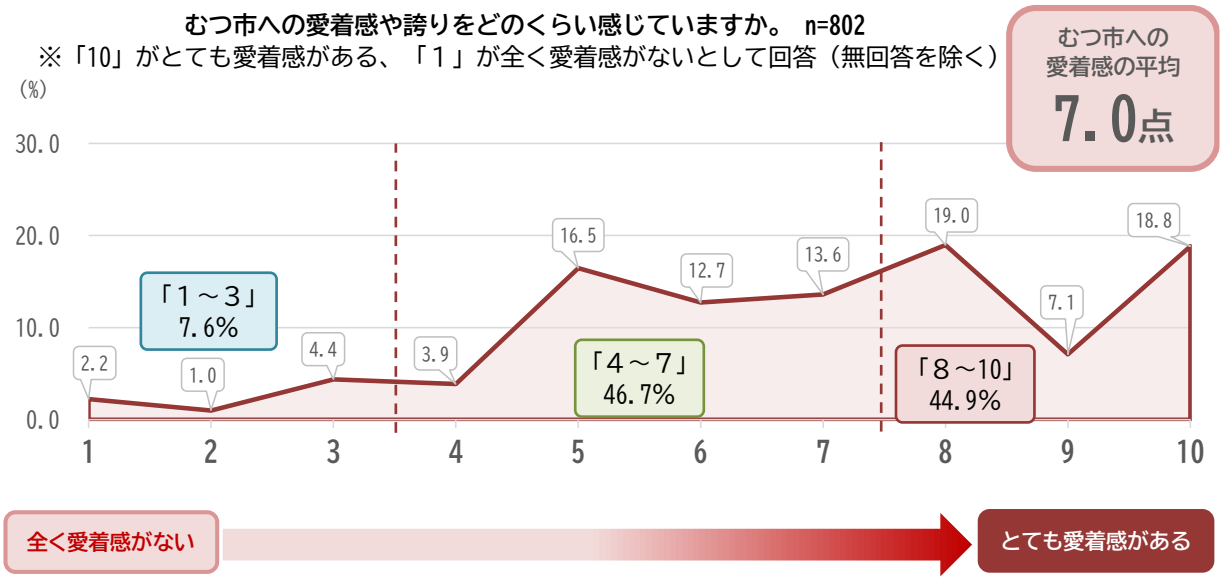
回答者の居住年数　n=802



②むつ市への愛着や定住意向について【問8～13】

問8 むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じていますか。「10＝とても愛着感がある」、「1＝全く愛着感がない」としてお答えください。【SA】

むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じているかについては、10段階のうち、「８点」と回答した方の割合が19.0%で最も高く、比較的愛着感が強い層である「８～10点」と回答した方の合計は44.9%となっています。また、中間層の「４～７点」と回答した層の割合の合計は46.7%、愛着感が弱い「１～３点」と回答した層の割合の合計は7.6%となっています。回答者全体のむつ市への愛着感の平均点は「7.0点」でした。



年代・居住地区・家族構成・居住年数等により異なるむつ市への愛着度
―高齢層・長期居住者・夫婦世帯・脇野沢地区・むつ地区で愛着感・平均点が高く、40代や短期居住者、3世代同居世帯・川内地区では低い傾向―

むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じているかについて、年代別にみると、「８～10点」の愛着が強い層の割合は、80代以上が65.9%と最も高く、次いで、10代が50.0%となっています。一方、40代が32.4%と最も低く、次いで、30代が36.1%となっています。

居住地区別にみると、「８～10点」の愛着が強い層の割合は、脇野沢地区が50.1%と最も高く、次いで、むつ地区が46.0%となっています。一方、川内地区が29.9%と最も低く、次いで、大畑地区が44.2%となっています。

家族構成別にみると、「８～10点」の愛着が強い層の割合は、夫婦のみ世帯が51.1%と最も高く、次いで、２世代同居（親と子）世帯が44.4%となっています。一方、３世代同居（親と子と孫）世帯が41.3%と最も低く、次いで、ひとり暮らし世帯が43.9%となっています。

居住年数別にみると、「８～10点」の愛着が強い層の割合は、30年以上が50.1%と最も高く、次いで、10年～15年未満が45.0%となっています。一方、20年～30年未満が30.0%と最も低く、次いで、１年～３年未満が30.4%となっています。

属性別の平均点をみると、年代別では80代以上が8.1点、次いで、60代が7.1点と高くなっています。一方、40代が6.3点と最も低く、次いで、50代が6.6点と低くなっています。

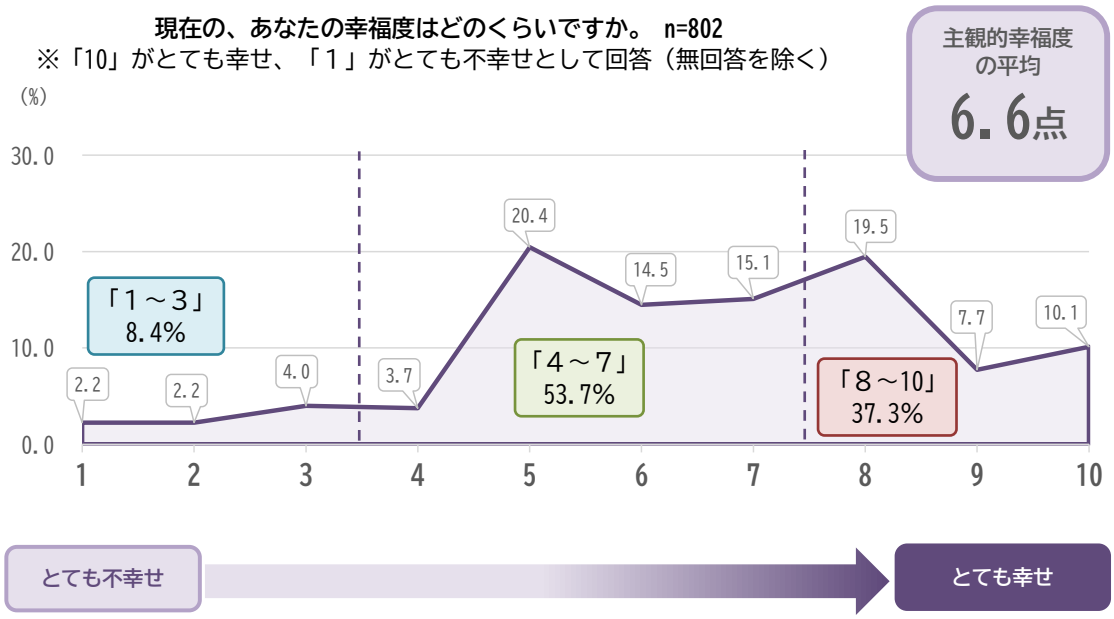
家族構成別では夫婦のみ世帯が7.3点と最も高くなっています。一方、２世代同居（親と子）が6.9点と低くなっています。また、居住年数別では30年以上が7.3点と高くなっている一方、20年～30年未満が6.1点と低くなっています。

【クロス集計:むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じているか】

		全体	1 全く愛着感がない	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても愛着感がある	無回答	平均点
全体		(802)	2.2	1.0	4.4	3.9	16.5	12.7	13.6	19.0	7.1	18.8	0.9	7.0
性別	男性	(364)	2.5	1.4	4.4	4.4	14.6	12.6	14.3	19.8	6.0	20.1	0.0	7.0
	女性	(429)	2.1	0.7	4.4	3.3	18.2	12.8	13.1	18.2	7.9	18.2	1.2	7.0
	その他	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	無回答	(8)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0	7.2
年代	10 代	(24)	0.0	0.0	4.2	8.3	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	7.3
	20 代	(47)	4.3	2.1	12.8	0.0	19.1	10.6	8.5	23.4	0.0	19.1	0.0	6.4
	30 代	(83)	4.8	1.2	1.2	4.8	19.3	19.3	13.3	22.9	4.8	8.4	0.0	6.5
	40 代	(111)	3.6	1.8	9.9	5.4	18.0	16.2	12.6	14.4	3.6	14.4	0.0	6.3
	50 代	(120)	1.7	1.7	7.5	5.8	18.3	11.7	16.7	15.8	5.0	15.8	0.0	6.6
	60 代	(146)	2.7	1.4	2.1	5.5	13.7	10.3	16.4	22.6	6.2	19.2	0.0	7.1
	70 代	(179)	0.6	0.0	1.7	2.2	16.8	14.0	13.4	19.6	9.5	20.1	2.2	7.4
	80 代以上	(88)	1.1	0.0	1.1	0.0	13.6	5.7	10.2	17.0	14.8	34.1	2.3	8.1
	無回答	(4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	7.7
居住地区	むつ地区	(641)	2.2	1.1	4.4	3.9	16.2	12.0	13.7	20.7	7.0	18.3	0.5	7.0
	川内地区	(57)	3.5	1.8	7.0	5.3	17.5	15.8	15.8	12.3	5.3	12.3	3.5	6.3
	大畑地区	(70)	2.9	0.0	2.9	1.4	17.1	15.7	14.3	10.0	7.1	27.1	1.4	7.2
	脇野沢地区	(16)	0.0	0.0	6.3	6.3	25.0	12.5	0.0	18.8	6.3	25.0	0.0	7.0
	無回答	(18)	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	16.7	11.1	11.1	16.7	22.2	5.6	7.6
家族構成	ひとり暮らし	(139)	5.8	1.4	4.3	2.2	13.7	11.5	16.5	9.4	10.8	23.7	0.7	7.0
	夫婦のみ	(233)	0.9	0.4	3.9	3.0	15.0	10.3	14.2	23.2	7.7	20.2	1.3	7.3
	２世代が同居（親と子）	(334)	2.1	1.2	5.1	5.4	16.8	14.1	11.1	19.2	6.9	18.3	0.0	6.9
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	0.0	0.0	2.2	6.5	15.2	17.4	15.2	26.1	2.2	13.0	2.2	6.9
	その他	(44)	2.3	2.3	4.5	0.0	31.8	13.6	15.9	20.5	0.0	9.1	0.0	6.3
	無回答	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	6.3
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	8.7	0.0	8.7	0.0	17.4	17.4	17.4	13.0	0.0	17.4	0.0	6.3
	３年～５年未満	(14)	7.1	0.0	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0	28.6	7.1	7.1	0.0	5.9
	５年～10 年未満	(31)	0.0	0.0	12.9	9.7	16.1	19.4	6.5	12.9	3.2	19.4	0.0	6.5
	10 年～15 年未満	(20)	0.0	5.0	5.0	0.0	15.0	20.0	10.0	25.0	10.0	10.0	0.0	6.8
	15 年～20 年未満	(54)	3.7	0.0	7.4	5.6	18.5	14.8	16.7	11.1	5.6	16.7	0.0	6.5
	20 年～30 年未満	(100)	4.0	3.0	7.0	10.0	16.0	16.0	14.0	16.0	3.0	11.0	0.0	6.1
	30 年以上	(557)	1.6	0.7	2.7	2.5	16.2	11.1	14.0	20.5	8.4	21.2	1.1	7.3
	無回答	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.5

問9　現在の、あなたの幸福度はどのくらいですか。「10＝とても幸せ」、「1＝とても不幸せ」としてお答えください。（○は1つ）

むつ市に住む回答者自身の主観的幸福度については、10段階のうち、「５点」と回答した方の割合が20.4％で最も高く、次いで「８点」と回答した方が19.5％となっています。「８～10点」と回答した比較的幸福度が高い方の回答割合の合計は37.3％となっています。また、中間層の「４～７点」と回答した層の割合の合計は53.7％、幸福度が低い「１～３点」と回答した層の割合の合計は8.4％となっています。回答者全体の主観的幸福度の平均点は「6.6点」でした。



年代・居住地区・家族構成・居住年数等により異なるむつ市の主観的幸福度
―高齢層・中長期居住者・夫婦世帯・脇野沢地区・むつ地区で幸福感・平均点が高く、40代・短期居住者・ひとり暮らしや2世代同居世帯・川内地区では低い傾向―

むつ市に住む回答者自身の主観的幸福度について、年代別にみると、「８～10点」の幸福度が高い層の割合は、80代以上が53.5％と最も高く、次いで、10代が50.0％となっています。一方、40代が24.3％と最も低く、次いで、20代が29.9％となっています。

居住地区別にみると、「８～10点」の幸福度が高い層の割合は、脇野沢地区が43.8％と最も高く、次いで、むつ地区が38.3％となっています。一方、川内地区が24.6％と最も低く、次いで、大畑地区が37.1％となっています。

家族構成別にみると、「８～10点」の幸福度が高い層の割合は、３世代同居（親と子と孫）世帯が43.4％と最も高く、次いで、夫婦のみ世帯が43.0％となっています。一方、ひとり暮らし世帯が34.5％と最も低く、次いで、２世代同居（親と子）世帯が35.4％となっています。

居住年数別にみると、「８～10点」の幸福度が高い層の割合は、10年～15年未満が45.0％と最も高く、次いで、５年～10年未満が38.7％となっています。一方、１年～３年未満が13.0％と最も低く、次いで３年～５年未満が28.6％となっています。

属性別の平均点をみると、性別では女性が6.8点で高く、男性が6.4点で低くなっています。年代別では70代が6.8点、60代が6.7点で高くなっている一方、40代が5.9点、50代が6.3点と低くなっています。

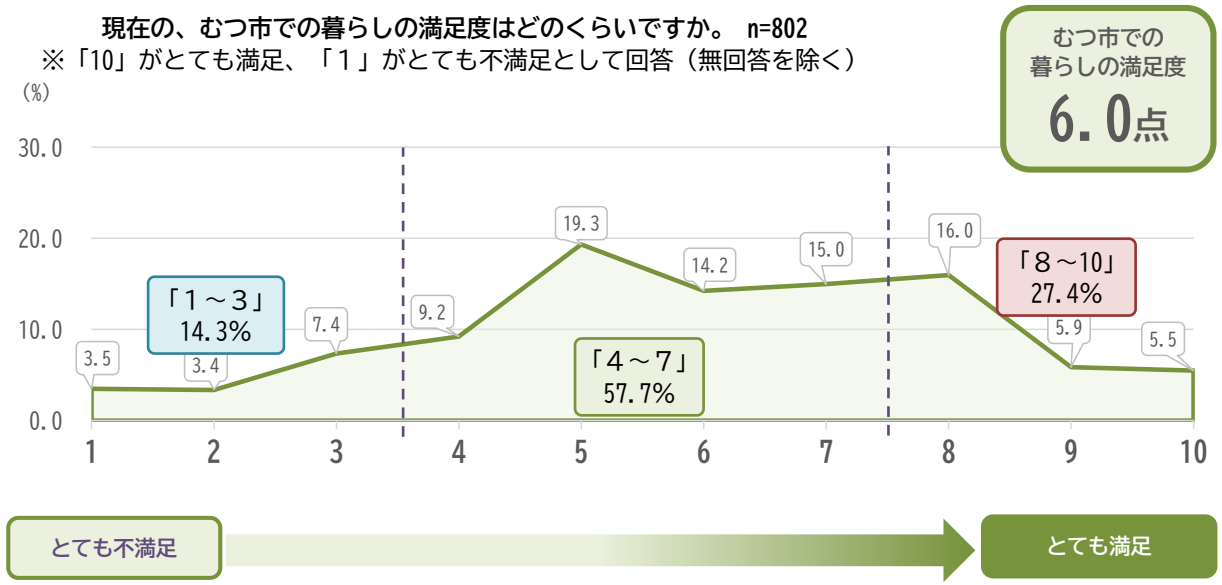
家族構成別では夫婦のみ世帯が6.9点と高くなっている一方、ひとり暮らし6.4点、２世代同居（親と子）が6.5点と低くなっています。また、居住年数別では30年以上が6.7点と高くなっている一方、20年～30年未満が6.3点と低くなっています。

【クロス集計：主観的幸福度】

		全体	1 とても 不幸せ	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても 幸せ	無回答	平均点
全体		(802)	2.2	2.2	4.0	3.7	20.4	14.5	15.1	19.5	7.7	10.1	0.5	6.6
性別	男性	(364)	2.7	3.3	3.3	3.3	23.9	14.8	14.8	20.1	6.3	7.4	0.0	6.4
	女性	(429)	1.9	1.4	4.4	4.2	17.5	14.2	15.4	19.1	8.9	12.6	0.5	6.8
	その他	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	無回答	(8)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	6.7
年代	10 代	(24)	0.0	4.2	8.3	4.2	0.0	16.7	16.7	25.0	8.3	16.7	0.0	7.1
	20 代	(47)	4.3	2.1	0.0	8.5	25.5	12.8	17.0	12.8	4.3	12.8	0.0	6.3
	30 代	(83)	2.4	3.6	3.6	2.4	24.1	15.7	16.9	16.9	7.2	7.2	0.0	6.3
	40 代	(111)	2.7	5.4	3.6	9.0	24.3	14.4	16.2	13.5	4.5	6.3	0.0	5.9
	50 代	(120)	1.7	5.0	3.3	1.7	22.5	20.0	15.8	18.3	3.3	8.3	0.0	6.3
	60 代	(146)	3.4	0.0	6.2	4.1	16.4	12.3	13.7	26.0	8.9	8.9	0.0	6.7
	70 代	(179)	1.1	0.0	3.9	2.8	20.1	15.1	15.6	20.1	9.5	10.6	1.1	6.8
	80 代以上	(88)	2.3	1.1	3.4	0.0	18.2	9.1	11.4	20.5	14.8	18.2	1.1	7.3
	無回答	(4)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	6.0
居住地区	むつ地区	(641)	2.2	2.2	3.4	3.1	20.4	14.5	15.4	20.4	8.1	9.8	0.3	6.6
	川内地区	(57)	3.5	5.3	7.0	10.5	21.1	8.8	17.5	12.3	5.3	7.0	1.8	5.8
	大畑地区	(70)	2.9	1.4	7.1	1.4	18.6	17.1	14.3	17.1	5.7	14.3	0.0	6.6
	脇野沢地区	(16)	0.0	0.0	6.3	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0	6.3	12.5	0.0	6.6
	無回答	(18)	0.0	0.0	0.0	5.6	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	6.7
家族構成	ひとり暮らし	(139)	6.5	0.7	4.3	3.6	20.1	13.7	15.8	15.1	11.5	7.9	0.7	6.4
	夫婦のみ	(233)	0.9	0.0	4.3	2.1	18.0	14.2	17.2	25.8	7.3	9.9	0.4	6.9
	２世代が同居（親と子）	(334)	1.5	4.8	3.6	3.9	19.5	16.5	15.0	18.0	6.3	11.1	0.0	6.5
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	2.2	0.0	0.0	15.2	21.7	8.7	8.7	23.9	6.5	13.0	0.0	6.7
	その他	(44)	2.3	2.3	9.1	0.0	40.9	11.4	6.8	6.8	11.4	9.1	0.0	6.0
	無回答	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	6.8
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	8.7	4.3	8.7	4.3	8.7	26.1	26.1	4.3	0.0	8.7	0.0	5.7
	３年～５年未満	(14)	7.1	7.1	7.1	0.0	14.3	21.4	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	5.9
	５年～10 年未満	(31)	0.0	9.7	9.7	0.0	12.9	6.5	22.6	12.9	9.7	16.1	0.0	6.6
	10 年～15 年未満	(20)	5.0	0.0	0.0	10.0	10.0	25.0	5.0	25.0	15.0	5.0	0.0	6.7
	15 年～20 年未満	(54)	1.9	1.9	3.7	5.6	25.9	11.1	14.8	22.2	5.6	7.4	0.0	6.4
	20 年～30 年未満	(100)	2.0	2.0	3.0	6.0	29.0	11.0	17.0	16.0	4.0	10.0	0.0	6.3
	30 年以上	(557)	2.0	1.8	3.8	3.2	19.7	14.7	14.4	20.8	8.4	10.6	0.5	6.7
	無回答	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.5

問10　現在の、むつ市での暮らしの満足度はどのくらいですか。「10＝とても満足」、「1＝とても不満足」としてお答えください。（○は1つ）

現在のむつ市での暮らしの満足度については、10段階のうち、「５点」と回答した方の割合が19.3%で最も高く、次いで、「８点」と回答した方が16.0%となっています。比較的満足度が高い「８～10点」と回答した層の回答割合の合計は27.4%となっています。また、中間層の「４～７点」と回答した層の割合の合計は57.7%、満足度が低い「１～３点」と回答した方の割合の合計は14.3%となっています。回答者全体の満足度の平均点は「6.0点」でした。



年代・居住地区・家族構成・居住年数等により異なるむつ市での暮らしの満足度
―高齢層・中長期居住者・夫婦世帯・大畑地区・むつ地区で満足度・平均点が高く、40代・短期居住者・ひとり暮らしや2世代同居世帯・川内地区では低い傾向―

現在のむつ市での暮らしの満足度について、年代別にみると、「８～10点」の満足度の高い層の割合は、80代以上が51.2%と最も高く、次いで、10代が37.4%となっています。一方、40代が16.2%と最も低く、次いで、30代が16.9%となっています。

居住地区別にみると、「８～10点」の満足度の高い層の割合は、大畑地区が30.0%と最も高く、次いで、むつ地区が28.7%となっています。一方、川内地区が8.8%と最も低く、次いで、脇野沢地区が18.8%となっています。

家族構成別にみると、「８～10点」の満足度の高い層の割合は、夫婦のみ世帯が30.5%と最も高く、次いで、ひとり暮らし世帯が28.1%となっています。一方、３世代同居（親と子と孫）世帯が19.5%と最も低く、次いで２世代同居（親と子）世帯で26.4%となっています。

居住年数別にみると、「８～10点」の満足度の高い層の割合は、30年以上が30.6%と最も高く、次いで、10年～15年未満が25.0%となっています。一方、３年～５年未満が7.1%と最も低く、次いで１～３年未満が17.3%となっています。

属性別の平均点をみると、性別では女性が6.1点で高く、男性が5.8点で低くなっています。年代別では70代が6.5点、60代が6.2点で高くなっている一方、40代が5.0点、50代が5.5点と低くなっています。

家族構成別では夫婦のみ世帯が6.3点と高くなっている一方、２世代同居（親と子）で5.7点、ひとり暮らしで5.9点と低くなっています。また、居住年数別では30年以上が6.2点と高くなっている一方、20年～30年未満が5.5点と低くなっています。

【クロス集計:現在のむつ市での暮らしの満足度】

		全体	1 とても不満足	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても満足	無回答	平均点
全体		(802)	3.5	3.4	7.4	9.2	19.3	14.2	15.0	16.0	5.9	5.5	0.7	6.0
性別	男性	(364)	3.8	3.6	7.4	9.9	22.0	13.5	14.0	17.6	4.1	4.1	0.0	5.8
	女性	(429)	3.0	3.3	7.5	8.9	17.5	14.5	16.1	14.7	7.2	6.5	0.9	6.1
	その他	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	無回答	(8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	7.5
年代	10 代	(24)	8.3	0.0	4.2	16.7	8.3	8.3	16.7	20.8	8.3	8.3	0.0	6.2
	20 代	(47)	6.4	2.1	4.3	17.0	27.7	17.0	8.5	10.6	2.1	4.3	0.0	5.4
	30 代	(83)	3.6	2.4	13.3	12.0	26.5	9.6	15.7	13.3	2.4	1.2	0.0	5.4
	40 代	(111)	6.3	8.1	12.6	12.6	18.9	13.5	10.8	12.6	2.7	0.9	0.9	5.0
	50 代	(120)	3.3	5.8	13.3	7.5	19.2	15.0	18.3	12.5	2.5	2.5	0.0	5.5
	60 代	(146)	4.1	3.4	2.1	11.0	18.5	11.0	20.5	15.8	5.5	8.2	0.0	6.2
	70 代	(179)	1.1	0.6	5.6	5.6	19.0	20.1	12.8	19.0	8.4	6.7	1.1	6.5
	80 代以上	(88)	1.1	1.1	2.3	3.4	14.8	11.4	12.5	23.9	14.8	12.5	2.3	7.2
	無回答	(4)	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	5.0
居住地区	むつ地区	(641)	3.7	2.8	7.5	8.3	18.9	15.3	14.4	17.0	5.9	5.8	0.5	6.0
	川内地区	(57)	3.5	8.8	8.8	17.5	21.1	7.0	21.1	7.0	1.8	0.0	3.5	5.0
	大畑地区	(70)	2.9	4.3	7.1	8.6	18.6	12.9	15.7	15.7	5.7	8.6	0.0	6.1
	脇野沢地区	(16)	0.0	6.3	6.3	18.8	18.8	6.3	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	5.7
	無回答	(18)	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	5.6	6.5
家族構成	ひとり暮らし	(139)	7.2	2.9	6.5	7.2	20.9	12.9	13.7	11.5	10.8	5.8	0.7	5.9
	夫婦のみ	(233)	1.3	1.3	6.4	6.4	19.3	15.9	18.5	19.7	5.6	5.2	0.4	6.3
	２世代が同居（親と子）	(334)	3.6	5.1	8.7	11.7	18.3	12.6	13.5	17.1	4.5	4.8	0.3	5.7
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	4.3	2.2	2.2	10.9	19.6	19.6	19.6	4.3	4.3	10.9	2.2	6.1
	その他	(44)	2.3	4.5	11.4	11.4	22.7	15.9	6.8	13.6	4.5	6.8	0.0	5.7
	無回答	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	6.5
むつ市にお住まいになって何年になりますか?	１年～３年未満	(23)	8.7	8.7	13.0	17.4	13.0	17.4	4.3	13.0	0.0	4.3	0.0	4.8
	３年～５年未満	(14)	7.1	7.1	7.1	14.3	21.4	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	4.9
	５年～10 年未満	(31)	3.2	6.5	9.7	9.7	19.4	16.1	16.1	9.7	3.2	6.5	0.0	5.6
	10 年～15 年未満	(20)	0.0	5.0	15.0	15.0	15.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.7
	15 年～20 年未満	(54)	7.4	1.9	7.4	9.3	24.1	11.1	18.5	13.0	3.7	3.7	0.0	5.6
	20 年～30 年未満	(100)	4.0	6.0	10.0	7.0	23.0	18.0	11.0	13.0	6.0	2.0	0.0	5.5
	30 年以上	(557)	2.9	2.5	6.3	9.0	18.5	13.8	15.4	17.2	6.8	6.6	0.9	6.2
	無回答	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.5

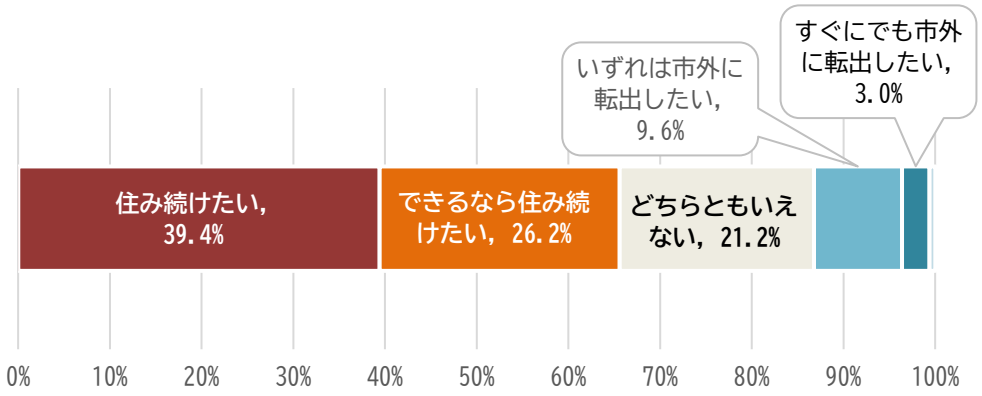
問11　あなたは、今後もむつ市で住み続けたいですか。【SA】

むつ市での今後の定住意向については、「住み続けたい」と回答した方の割合が 39.4%で最も高く、次いで「できるなら住み続けたい」が 26.2%となっています。

むつ市に『住み続けたい』と回答した方（「住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」の合計）は 65.6%となっています。

一方で、『転出したい』と回答した方（「いずれは市外に転出したい」と「すぐにでも市外に転出したい」の合計）は 12.6%と 1 割程度であるものの、一定数の転出意向のある方が存在します。また、「どちらともいえない」とする回答は 21.2%となっています。

あなたは今後もむつ市で住み続けたいですか。n=802



年代・居住地区・家族構成・居住年数等により異なるむつ市での定住意向
―高齢層・中長期居住者・夫婦世帯・大畑地区・むつ地区で「住み続けたい」意向が高く、若年層・短期居住者・ひとり暮らしや2世代同居世帯・川内地区では低い傾向―

むつ市での今後の定住意向について、年代別にみると、むつ市に『住み続けたい』と回答した方（「住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」の合計）の割合は、80代以上が90.9%と最も高く、次いで、70代が82.1%となっています。一方、10代が33.4%と最も低く、次いで、20代が38.3%となっています。

居住地区別にみると、むつ市に『住み続けたい』と回答した方（「住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」の合計）の割合は、大畑地区が72.8%と最も高く、次いで、むつ地区が65.8%となっています。一方、川内地区が56.1%と最も低く、次いで、脇野沢地区が56.3%となっています。

家族構成別にみると、むつ市に『住み続けたい』と回答した方（「住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」の合計）の割合は、夫婦のみ世帯が74.2%と最も高く、次いで、３世代同居（親と子と孫）世帯が65.2%となっています。一方、ひとり暮らし世帯が61.9%と最も低く、次いで２世代同居（親と子）世帯が62.2%となっています。

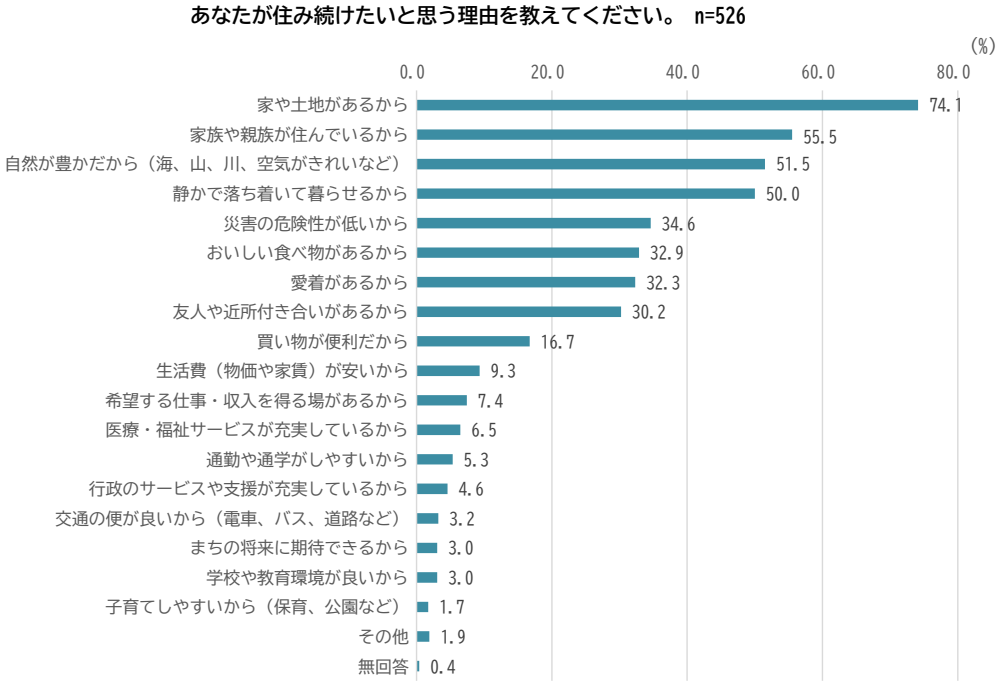
居住年数別にみると、「むつ市に『住み続けたい』と回答した方（「住み続けたい」と「できるなら住み続けたい」の合計）の割合は、30年以上が75.0%と最も高く、次いで、10年～15年未満が65.0%となっています。一方、１年～３年未満が21.7%と最も低く、次いで３年～５年未満が28.5%となっています。

【クロス集計：定住意向】

		全体	住み続けたい	できるなら住み続けたい	どちらともいえない	いずれは市外に転出したい	すぐにでも市外に転出したい	無回答
全体		(802)	39.4	26.2	21.2	9.6	3.0	0.6
性別	男性	(364)	37.9	28.3	20.3	10.4	2.5	0.5
	女性	(429)	40.3	24.7	22.1	9.1	3.3	0.5
	その他	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	(8)	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5
年代	10代	(24)	4.2	29.2	16.7	41.7	8.3	0.0
	20代	(47)	12.8	25.5	25.5	23.4	12.8	0.0
	30代	(83)	25.3	26.5	30.1	10.8	6.0	1.2
	40代	(111)	19.8	28.8	29.7	17.1	4.5	0.0
	50代	(120)	32.5	26.7	25.8	11.7	3.3	0.0
	60代	(146)	43.2	27.4	21.9	6.2	1.4	0.0
	70代	(179)	57.5	24.6	14.5	2.2	0.0	1.1
	80代以上	(88)	69.3	21.6	6.8	1.1	0.0	1.1
	無回答	(4)	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
居住地区	むつ地区	(641)	40.1	25.7	20.9	9.5	3.1	0.6
	川内地区	(57)	29.8	26.3	29.8	10.5	3.5	0.0
	大畑地区	(70)	41.4	31.4	14.3	10.0	2.9	0.0
	脇野沢地区	(16)	31.3	25.0	37.5	6.3	0.0	0.0
	無回答	(18)	44.4	22.2	16.7	11.1	0.0	5.6
家族構成	ひとり暮らし	(139)	37.4	24.5	20.9	13.7	2.9	0.7
	夫婦のみ	(233)	48.9	25.3	17.6	6.0	1.7	0.4
	２世代が同居（親と子）	(334)	35.6	26.6	21.9	11.4	4.2	0.3
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	30.4	34.8	30.4	4.3	0.0	0.0
	その他	(44)	36.4	20.5	29.5	9.1	4.5	0.0
	無回答	(6)	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	8.7	13.0	30.4	26.1	21.7	0.0
	３年～５年未満	(14)	21.4	7.1	35.7	21.4	14.3	0.0
	５年～10年未満	(31)	22.6	29.0	19.4	22.6	6.5	0.0
	10年～15年未満	(20)	25.0	40.0	20.0	15.0	0.0	0.0
	15年～20年未満	(54)	11.1	18.5	35.2	31.5	3.7	0.0
	20年～30年未満	(100)	25.0	28.0	29.0	16.0	2.0	0.0
	30年以上	(557)	48.1	26.9	17.8	4.5	2.0	0.7
	無回答	(3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3

問12 問11で「1.住み続けたい」または「2.できるなら住み続けたい」を選んだ方におうかがいします。 あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。【MA】

むつ市に住み続けたいと回答した理由については、「家や土地があるから」と回答した方の割合が74.1%で最も高く、次いで、「家族や親族が住んでいるから」が55.5%、「自然が豊かだから（海、山、川、空気がきれいなど）」が51.5%となっています。



「その他」の回答

- むつ市が素敵な街だから。
- 自然災害が少ないから。
- 生まれ育った町だから。
- 夫婦の実家の中間点だから。
- 生まれた土地だから。
- 墓があるから。
- 下北が好きです。
- 下北には若い人の楽しむ所があまりなく残念だけど、春夏秋冬自然がとても良いと思う。

年代・家族構成等により異なる定住理由
—若・中年層は家族・親族や住宅の存在、市への愛着に起因。高齢層は人とのつながりを重視—

むつ市に住み続けたい理由について、年代別にみると、30代で「家族や親族が住んでいるから」が67.4%、「愛着があるから」が44.2%で全体と比較して高くなっています。80代以上では「友人や近所付き合いがあるから」が41.3%で全体と比較と最も高くなっています。一方、40代が16.2%と最も低く、次いで、30代が16.9%となっています。また、「自然が豊かだから（海、山、川、空気がきれいなど）」が30代で34.9%。40代で40.7%、「家や土地があるから」が30代で60.5%、40代で63.0%で、全体と比較して低くなっています。

居住地区別にみると、大畑地区で「愛着があるから」が43.1%、「友人や近所付き合いがあるから」が41.2%で全体と比較して高くなっている一方、「静かで落ち着いて暮らせるから」が37.3%で低くなっています。川内地区では、「買い物が便利だから」が0.0%となっています。

家族構成別にみると、３世代同居（親と子と孫）で「家や土地があるから」が86.7%、「家族や親族が住んでいるから」が80.0%、「愛着があるから」が46.7%で全体と比較して高くなっています。

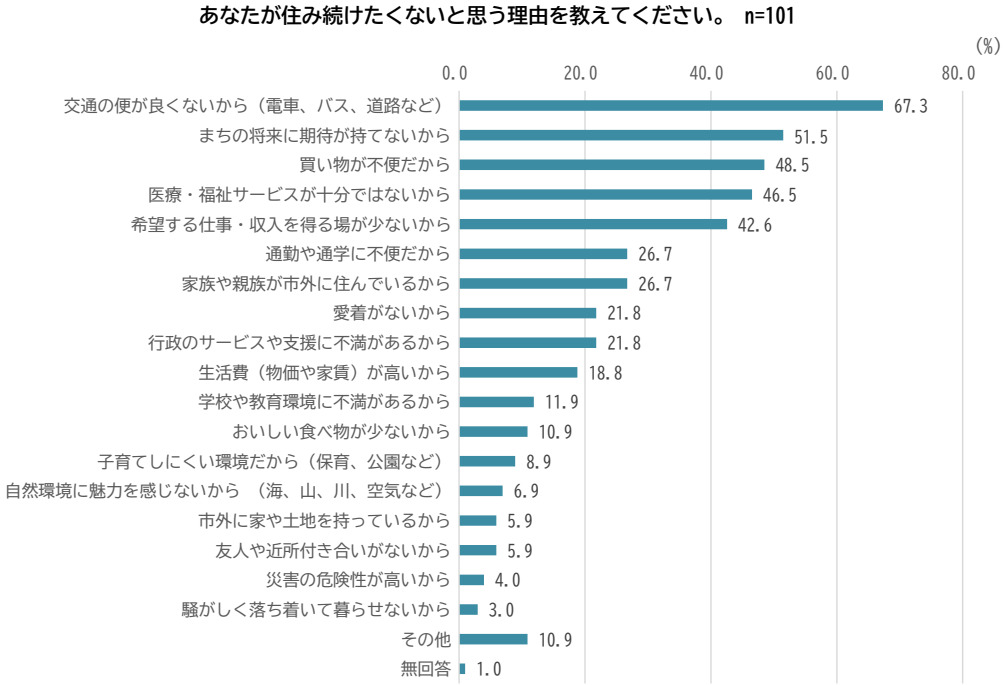
居住年数別にみると、各年数において、おおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：むつ市に住み続けたい理由】

		全体	自然が豊かだから（海、山、川、空気がきれいなど）	静かで落ち着いて暮らせるから	おいしい食べ物があるから	災害の危険性が低いから	生活費（物価や家賃）が安いから	家や土地があるから	交通の便が良いから（電車、バス、道路など）	通勤や通学がしやすいから	医療・福祉サービスが充実しているから	買い物が便利だから	子育てしやすいから（保育、公園など）	学校や教育環境が良いから	希望する仕事・収入を得る場があるから	愛着があるから	家族や親族が住んでいるから	友人や近所付き合いがあるから	行政のサービスや支援が充実しているから	まちの将来に期待できるから	無回答	その他
全体		(526)	51.5	50.0	32.9	34.6	9.3	74.1	3.2	5.3	6.5	16.7	1.7	3.0	7.4	32.3	55.5	30.2	4.6	3.0	0.4	1.9
性別	男性	(241)	54.4	50.2	34.0	30.7	10.8	75.5	4.6	6.2	5.4	16.2	2.9	4.6	8.3	33.6	49.4	24.5	5.0	2.9	0.4	1.2
	女性	(279)	49.8	49.5	32.3	38.4	8.2	73.1	2.2	4.7	7.5	17.6	0.7	1.8	6.8	31.2	61.3	35.1	4.3	3.2	0.0	2.5
	その他	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(6)	16.7	66.7	16.7	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
年代	10 代	(8)	50.0	87.5	37.5	25.0	37.5	87.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	62.5	87.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	20 代	(18)	38.9	55.6	38.9	22.2	16.7	55.6	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	22.2	44.4	66.7	27.8	11.1	11.1	0.0	5.6
	30 代	(43)	34.9	44.2	23.3	30.2	11.6	60.5	2.3	11.6	0.0	9.3	2.3	2.3	16.3	44.2	67.4	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	40 代	(54)	40.7	46.3	27.8	24.1	7.4	63.0	3.7	9.3	1.9	7.4	1.9	3.7	5.6	24.1	59.3	14.8	1.9	0.0	0.0	1.9
	50 代	(71)	50.7	52.1	32.4	36.6	11.3	73.2	1.4	9.9	2.8	15.5	7.0	5.6	15.5	35.2	54.9	26.8	2.8	1.4	0.0	1.4
	60 代	(103)	53.4	45.6	36.9	34.0	10.7	78.6	3.9	5.8	3.9	22.3	0.0	1.0	6.8	23.3	53.4	34.0	2.9	3.9	1.0	1.0
	70 代	(147)	58.5	47.6	35.4	40.1	6.1	79.6	2.7	1.4	8.8	19.0	0.0	1.4	3.4	32.7	50.3	35.4	4.1	3.4	0.7	2.7
	80 代以上	(80)	56.3	57.5	31.3	36.3	7.5	76.3	3.8	0.0	15.0	18.8	1.3	5.0	1.3	33.8	55.0	41.3	11.3	3.8	0.0	2.5
	無回答	(2)	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(422)	53.1	52.6	32.5	36.0	10.4	75.1	3.3	5.2	6.4	18.2	1.4	3.1	7.8	31.3	55.5	28.0	4.7	2.8	0.2	1.7
	川内地区	(32)	46.9	40.6	28.1	43.8	0.0	68.8	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	3.1	0.0	31.3	56.3	37.5	3.1	0.0	3.1	3.1
	大畑地区	(51)	43.1	37.3	33.3	25.5	7.8	70.6	5.9	9.8	5.9	15.7	2.0	3.9	7.8	43.1	60.8	41.2	5.9	7.8	0.0	3.9
	脇野沢地区	(9)	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(12)	66.7	66.7	66.7	16.7	8.3	83.3	0.0	8.3	16.7	25.0	0.0	0.0	16.7	16.7	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(86)	55.8	44.2	31.4	38.4	14.0	59.3	5.8	5.8	5.8	20.9	2.3	2.3	5.8	37.2	51.2	34.9	8.1	7.0	1.2	1.2
	夫婦のみ	(173)	54.9	48.0	33.5	37.6	5.8	77.5	2.3	2.3	8.1	22.0	0.6	2.9	6.9	27.7	49.7	30.6	3.5	2.9	0.6	1.2
	２世代が同居（親と子）	(208)	46.6	54.8	33.7	31.3	10.6	77.9	2.9	6.7	5.8	11.5	1.4	3.8	8.7	32.7	59.1	26.9	3.8	1.4	0.0	1.4
	３世代が同居（親と子と孫）	(30)	53.3	43.3	26.7	33.3	10.0	86.7	6.7	6.7	6.7	13.3	10.0	3.3	13.3	46.7	80.0	40.0	3.3	3.3	0.0	3.3
	その他	(25)	56.0	48.0	40.0	28.0	8.0	52.0	0.0	12.0	4.0	16.0	0.0	0.0	0.0	32.0	56.0	24.0	8.0	4.0	0.0	12.0
	無回答	(4)	25.0	75.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(5)	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	３年～５年未満	(4)	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	５年～10 年未満	(16)	25.0	43.8	31.3	12.5	6.3	50.0	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	6.3	18.8	12.5	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3
	10 年～15 年未満	(13)	38.5	30.8	7.7	23.1	15.4	69.2	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	23.1	53.8	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
	15 年～20 年未満	(16)	56.3	68.8	31.3	25.0	25.0	50.0	6.3	12.5	12.5	18.8	0.0	12.5	6.3	68.8	81.3	43.8	12.5	6.3	0.0	0.0
	20 年～30 年未満	(53)	47.2	52.8	30.2	35.8	13.2	64.2	9.4	11.3	5.7	15.1	5.7	11.3	13.2	32.1	58.5	26.4	7.5	5.7	0.0	1.9
	30 年以上	(418)	53.1	49.3	34.2	36.1	7.7	78.2	2.4	3.6	6.9	16.5	1.4	1.7	6.0	32.1	55.3	31.6	4.3	2.6	0.5	1.9
	無回答	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問13　問 10 で「4.いずれは市外に転出したい」または「5.すぐにでも市外に転出したい」を選んだ方におうかがいします。あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。【MA】

むつ市に住み続けたくないと回答した理由については、「交通の便が良くないから（電車、バス、道路など）」と回答した方の割合が 67.3%で最も高く、次いで、「まちの将来に期待が持てないから」が 51.5%、「買い物が不便だから」が 48.5%となっています。



「その他」の回答

・雪が降る。
・ケンタッキーが閉店するなど、ポピュラーな店が閉店する確率が高いから。
・人口減少による都市衰退が見えるから。
・空港と新幹線がないから。
・学生時代に苦手だった人がむつ市に残っているから。
・夫の転勤があるため。
・遊ぶ場所も観光地もグッズ買えるような場所も何も無いから。
・冬が辛いから。飽きてきた。住んだことのない街に住み、新しい刺激が欲しいから。
・首都圏と比べて不便が多いですね。
・この市は子供世帯には手厚いサービスがあるが、今まで納税してきて、この市を支えてきたお年寄りに冷たい。子供も大切だが、市外から来た自分にはそう感じる。下水が完備されてない。

家族構成・居住年数等により異なるむつ市に住み続けたくない理由
―子育て世帯は将来性・利便性を重視、30年以上の長期居住者は交通・医療への不満が顕著―

むつ市に住み続けたくないと回答した理由について、家族構成別にみると、２世代同居（親と子）で「まちの将来に期待が持てないから」が63.5%、「買い物が不便だから」「希望する仕事・収入を得る場が少ないから」が59.6%で全体と比較して高くなっている一方、「家族や親族が市外に住んでいるから」が15.4%と低くなっています。

居住年数別にみると、30年以上で「交通の便が良くないから（電車、バス、道路など）」が75.0%、「医療・福祉サービスが十分ではないから」が61.1%、「まちの将来に期待が持てないから」が58.3%で全体と比較して高くなっています。

年代別・居住地区別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：むつ市に住み続けたくない理由】

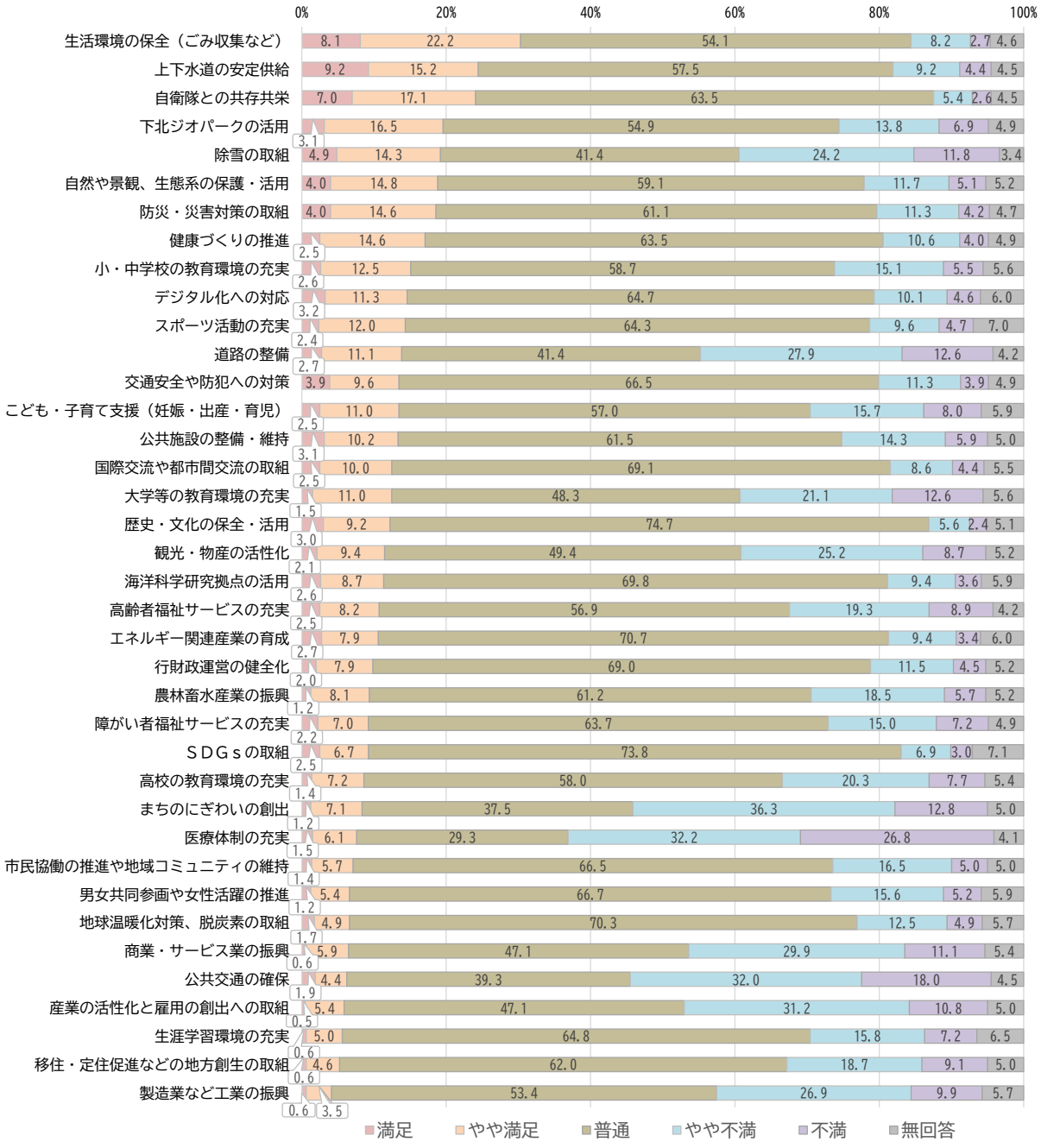
		全体	自然環境に魅力を感じないから（海、山、川、空気など）	騒がしく落ち着いて暮らせないから	おいしい食べ物が少ないから	災害の危険性が高いから	生活費（物価や家賃）が高いから	市外に家や土地を持っているから	交通の便が良くないから（電車、バス、道路など）	通勤や通学に不便だから	医療・福祉サービスが十分ではないから	買い物が不便だから	子育てしにくい環境だから（保育、公園など）	学校や教育環境に不満があるから	希望する仕事・収入を得る場が少ないから	愛着がないから	家族や親族が市外に住んでいるから	友人や近所付き合いがないから	行政のサービスや支援に不満があるから	まちの将来に期待が持てないから	無回答	その他
全体		(101)	6.9	3.0	10.9	4.0	18.8	5.9	67.3	26.7	46.5	48.5	8.9	11.9	42.6	21.8	26.7	5.9	21.8	51.5	1.0	10.9
性別	男性	(47)	6.4	6.4	8.5	4.3	17.0	8.5	57.4	27.7	46.8	38.3	4.3	8.5	34.0	27.7	23.4	10.6	17.0	53.2	2.1	8.5
	女性	(53)	7.5	0.0	13.2	3.8	20.8	3.8	75.5	26.4	47.2	58.5	13.2	13.2	49.1	15.1	30.2	1.9	26.4	49.1	0.0	11.3
	その他	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10 代	(12)	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	66.7	33.3	25.0	58.3	0.0	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0	8.3	33.3	0.0	16.7
	20 代	(17)	11.8	0.0	11.8	0.0	17.6	5.9	52.9	11.8	29.4	41.2	0.0	0.0	47.1	41.2	29.4	11.8	11.8	35.3	0.0	5.9
	30 代	(14)	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	78.6	21.4	50.0	42.9	14.3	14.3	35.7	21.4	42.9	0.0	28.6	64.3	0.0	14.3
	40 代	(24)	8.3	0.0	8.3	4.2	25.0	12.5	62.5	41.7	50.0	62.5	20.8	16.7	50.0	20.8	20.8	4.2	25.0	66.7	0.0	8.3
	50 代	(18)	0.0	5.6	5.6	0.0	16.7	0.0	77.8	16.7	55.6	44.4	5.6	0.0	33.3	11.1	38.9	5.6	27.8	61.1	0.0	16.7
	60 代	(11)	18.2	9.1	27.3	18.2	27.3	0.0	72.7	45.5	63.6	27.3	9.1	18.2	45.5	27.3	27.3	18.2	27.3	54.5	0.0	9.1
	70 代	(4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	75.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	80 代以上	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(81)	7.4	2.5	11.1	2.5	17.3	6.2	69.1	23.5	45.7	48.1	8.6	12.3	38.3	25.9	30.9	4.9	21.0	50.6	1.2	13.6
	川内地区	(8)	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0	12.5	62.5	50.0	75.0	37.5	12.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0
	大畑地区	(9)	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	66.7	44.4	33.3	55.6	11.1	0.0	66.7	11.1	22.2	11.1	11.1	55.6	0.0	0.0
	脇野沢地区	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(23)	8.7	8.7	13.0	8.7	21.7	17.4	60.9	21.7	26.1	30.4	4.3	8.7	17.4	17.4	52.2	8.7	17.4	26.1	0.0	0.0
	夫婦のみ	(18)	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	0.0	66.7	16.7	61.1	38.9	5.6	5.6	22.2	11.1	33.3	5.6	16.7	38.9	5.6	22.2
	２世代が同居（親と子）	(52)	9.6	1.9	13.5	1.9	19.2	0.0	69.2	28.8	50.0	59.6	13.5	17.3	59.6	30.8	15.4	5.8	25.0	63.5	0.0	13.5
	３世代が同居（親と子と孫）	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	その他	(6)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	83.3	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(11)	0.0	9.1	9.1	9.1	27.3	27.3	63.6	45.5	18.2	45.5	9.1	9.1	9.1	9.1	45.5	9.1	9.1	36.4	0.0	9.1
	３年～５年未満	(5)	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	５年～10 年未満	(9)	11.1	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	77.8	33.3	22.2	44.4	0.0	0.0	55.6	22.2	44.4	0.0	22.2	77.8	0.0	11.1
	10 年～15 年未満	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	15 年～20 年未満	(19)	5.3	0.0	10.5	0.0	21.1	0.0	57.9	26.3	47.4	52.6	10.5	21.1	63.2	26.3	5.3	5.3	21.1	42.1	0.0	10.5
	20 年～30 年未満	(18)	16.7	5.6	11.1	5.6	16.7	5.6	55.6	22.2	55.6	55.6	11.1	16.7	55.6	38.9	22.2	5.6	16.7	55.6	0.0	16.7
	30 年以上	(36)	5.6	2.8	13.9	2.8	16.7	5.6	75.0	22.2	61.1	41.7	8.3	11.1	33.3	16.7	25.0	8.3	30.6	58.3	2.8	8.3
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③むつ市のまちづくりへの満足度、今後の重要度について【問 14(38 項目)・問 15】

問14　あなたは、毎日の生活の中で、以下にあげたまちづくりの取組にどの程度満足していますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。【SA】

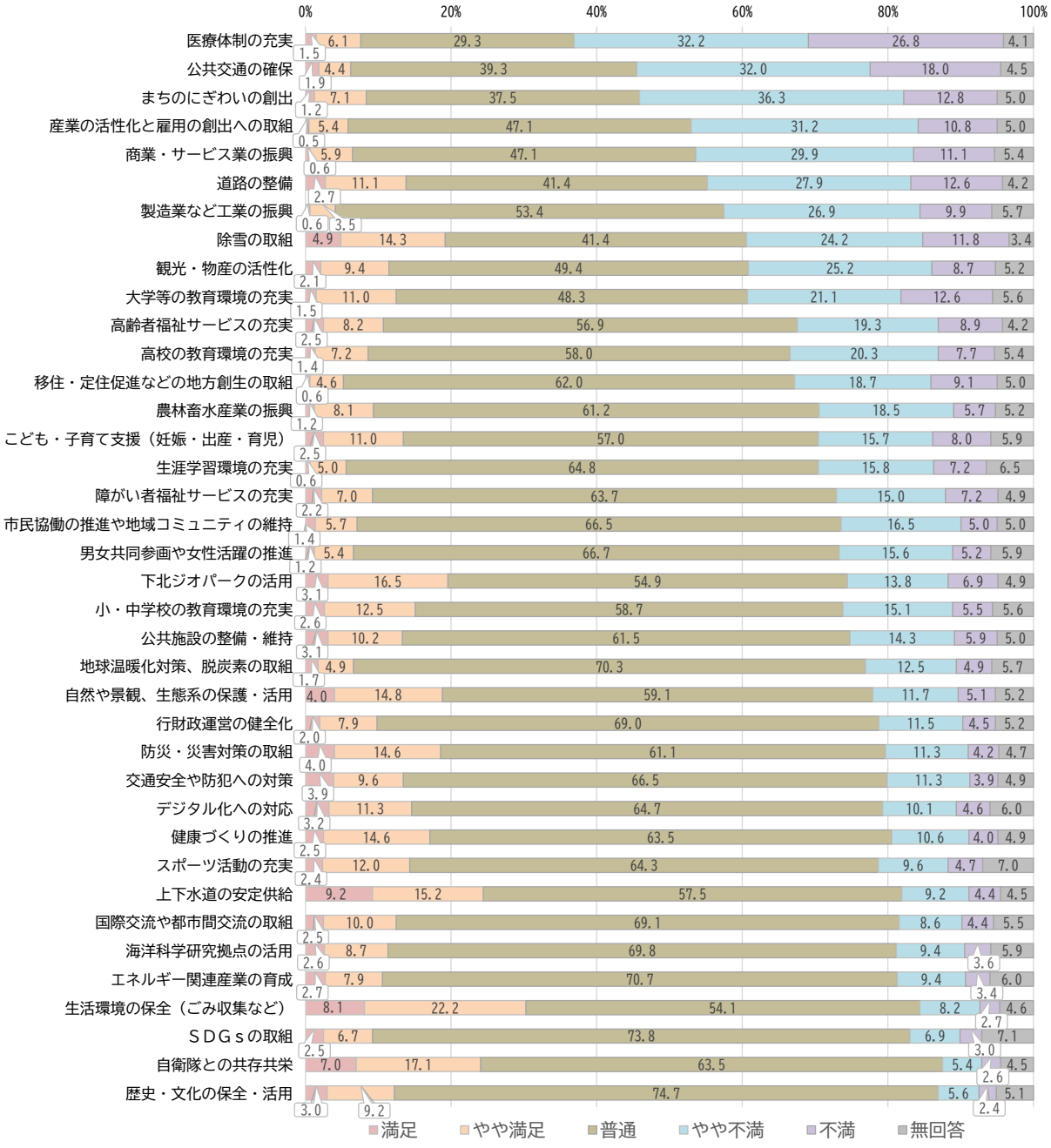
むつ市のまちづくりに対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』とする割合は、＜生活環境の保全（ごみ収集など）＞が 30.3%で最も高く、次いで、＜上下水道の安定供給＞が 24.4%、＜自衛隊との共存共栄＞が 24.1%、＜下北ジオパークの活用＞が 19.6%、＜除雪の取組＞が 19.2%となっています。

まちづくりの施策に対する満足度
（「満足」と「やや満足」を合わせた割合が高い順）（SA）n=802



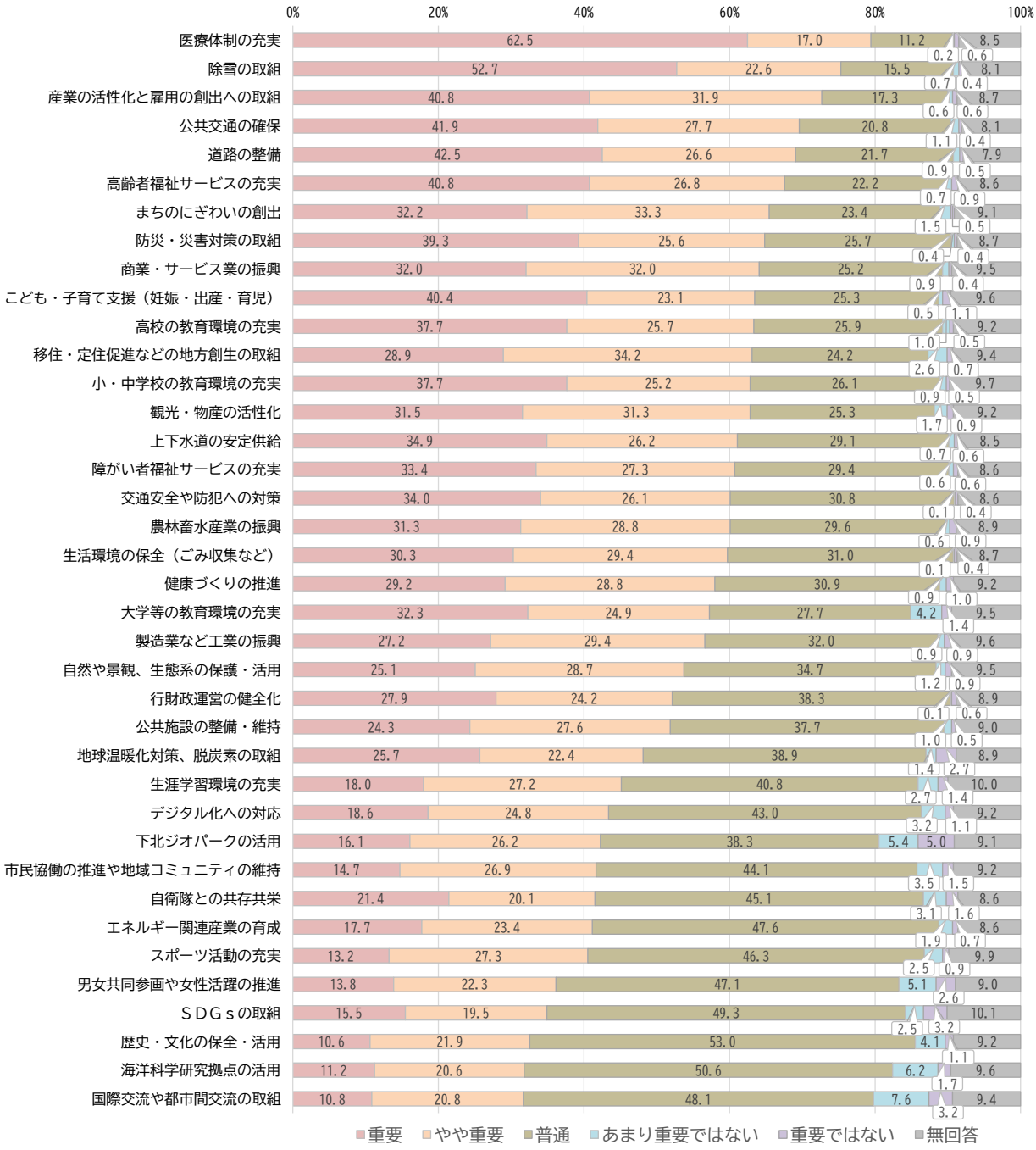
むつ市のまちづくりに対する満足度について、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』とする割合は、＜医療体制の充実＞が59.0%で最も高く、次いで、＜公共交通の確保＞が50.0%、＜まちのにぎわいの創出＞が49.1%、＜産業の活性化と雇用の創出への取組＞が42.0%、＜商業・サービス業の振興＞が41.0%となっています。

まちづくりの施策に対する満足度
（「不満」と「やや不満」を合わせた割合が高い順）（SA）n=802



むつ市のまちづくりに対する重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』とする割合は、＜医療体制の充実＞が 79.5%で最も高く、次いで＜除雪の取組＞が 75.3%、＜産業の活性化と雇用の創出への取組＞が 72.7%、＜公共交通の確保＞が 69.6%、＜道路の整備＞が 69.1%となっています。

まちづくりの施策に対する重要度
（「重要」と「やや重要」を合わせた割合が高い順）（SA）n=802



【満足度・重要度の点数化による相関分析】

※「満足／重要＝2点」、「やや満足／やや重要＝1点」、「普通＝0点」、「やや不満／あまり重要ではない＝－1点」、「不満／重要ではない＝－2点」として総得点を求め、無回答を除く回答者数で除して、平均値を求めたものです。

施策の優先順位を整理し、限られた財源や地域資源を効果的に配分することで、市民満足度の向上と持続可能な地域づくりの両立を目指すことが重要です。

むつ市の各施策・事業に対し、市民がどの程度「満足」しているか、また「重要」と感じているか、を把握するため、満足度と重要度の２軸で評価を行い、散布図として「見える化」をしました。

散布図は、重要度をＸ軸、満足度をＹ軸として、満足度は「0.0」を基準として絶対評価で、重要度は平均値を基準にして相対評価で、４つの象限に分類し、それぞれの象限に位置する施策の特徴を以下のように整理しました。

【回答者全体の満足度・重要度】

第１象限（高満足・高重要）には、＜生活環境保全＞、＜上下水道の安定供給＞、＜防災・災害対策＞、＜健康づくり＞、＜自然や景観、生態系の保護・活用＞が位置しており、市民から比較的高い評価と関心を集めている施策であると評価できます。今後も引き続き重点的に取り組むべき分野として、継続的な支援と質の維持・向上に取り組む必要があると言えます。

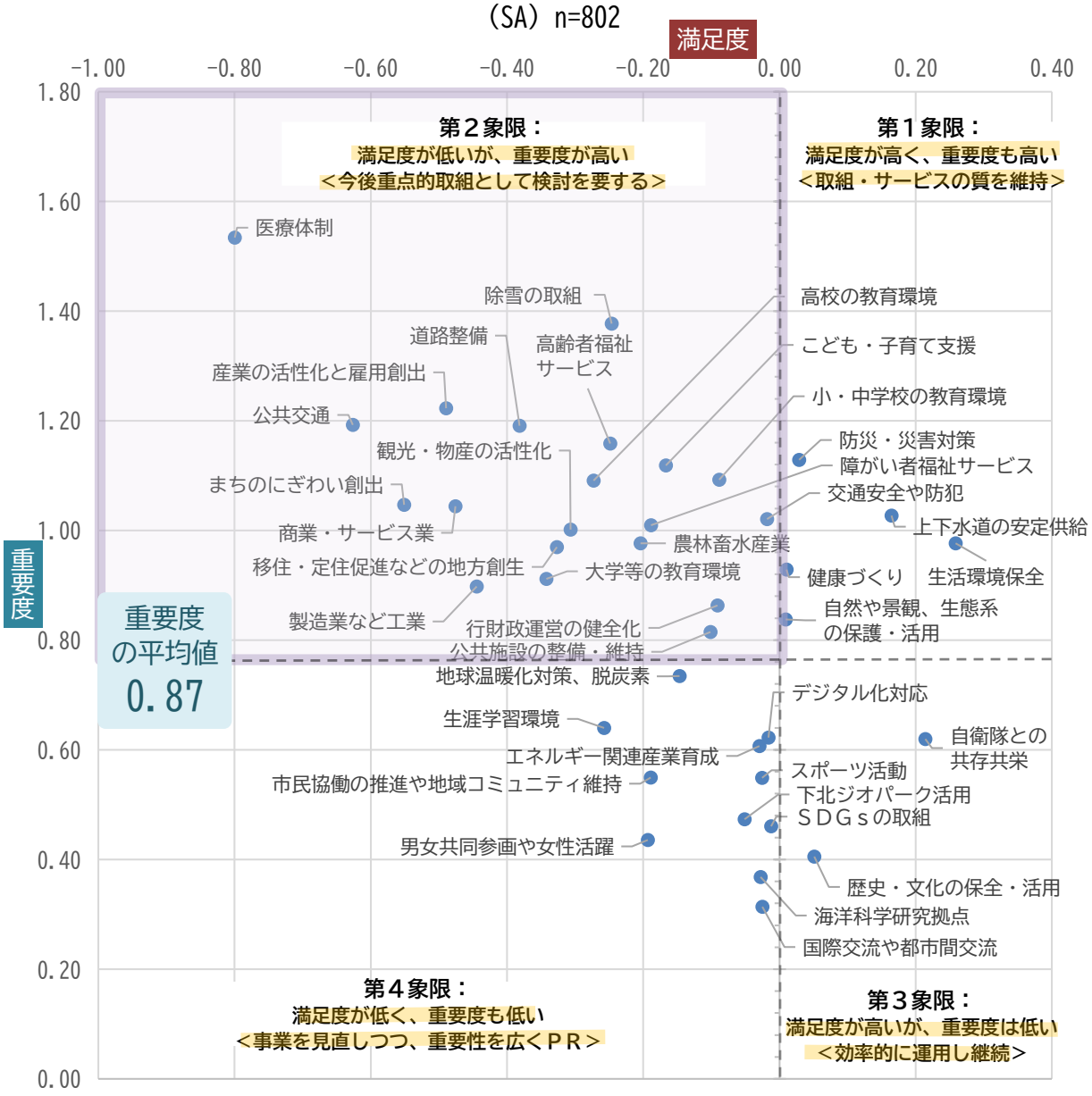
一方、第２象限（低満足・高重要）には、＜医療体制＞、＜公共交通＞、＜まちのにぎわい創出＞、＜産業の活性化と雇用創出＞、＜商業・サービス業＞、＜製造業など工業＞、＜道路整備＞、＜大学等の教育環境＞などが位置しており、市民の期待が高いにもかかわらず、現状の取組に対する満足度が低いと評価されています。これらの施策は改善の優先度が高く、具体的な課題の抽出と、市民ニーズとのギャップを埋めるための改善策・対応策の立案・検討が急務であると考えられます。

第３象限（高満足・低重要）には、＜自衛隊との共存共栄＞、＜歴史・文化の保全・活用＞が位置しており、満足度は高いものの、市民の生活に直結する重要度は相対的に低いと評価されています。これらの施策は、その重要性をＰＲしつつ、現状の水準を維持し、費用対効果や市民参加のあり方を再検討する必要があります。

第４象限（低満足・低重要）には、＜生涯学習環境＞、＜市民協働の推進や地域コミュニティ維持＞、＜男女共同参画や女性活躍＞、＜地球温暖化対策、脱炭素＞などが位置しており、市民の関心も満足度も低い施策であると評価されています。その重要性をＰＲしつつ、施策の目的や効果を再評価し、必要に応じて統廃合や内容の見直しを行うことが必要です。

【満足度について「0.0」を基準（絶対評価）／重要度について「平均値」を基準（相対評価）】

【全体】まちづくりの取組に対する満足度と今後の重要度の散布図
（SA）n=802



【10～20 代の満足度・重要度】

むつ市の各施策・事業に対する満足度・重要度について、教育機関の卒業後、進学・就職に直面する世代である「10～20 代の場合」でみると以下のとおりです。

第 1 象限（高満足・高重要）には、＜上下水道の安定供給＞、＜自然や景観、生態系の保護・活用＞、＜生活環境保全＞、＜防災・災害対策＞、＜交通安全や防犯＞などが位置しており、市民から比較的高い評価と関心を集めている施策であると評価できます。今後も引き続き重点的に取り組むべき分野として、継続的な支援と質の維持・向上に取り組む必要があると言えます。

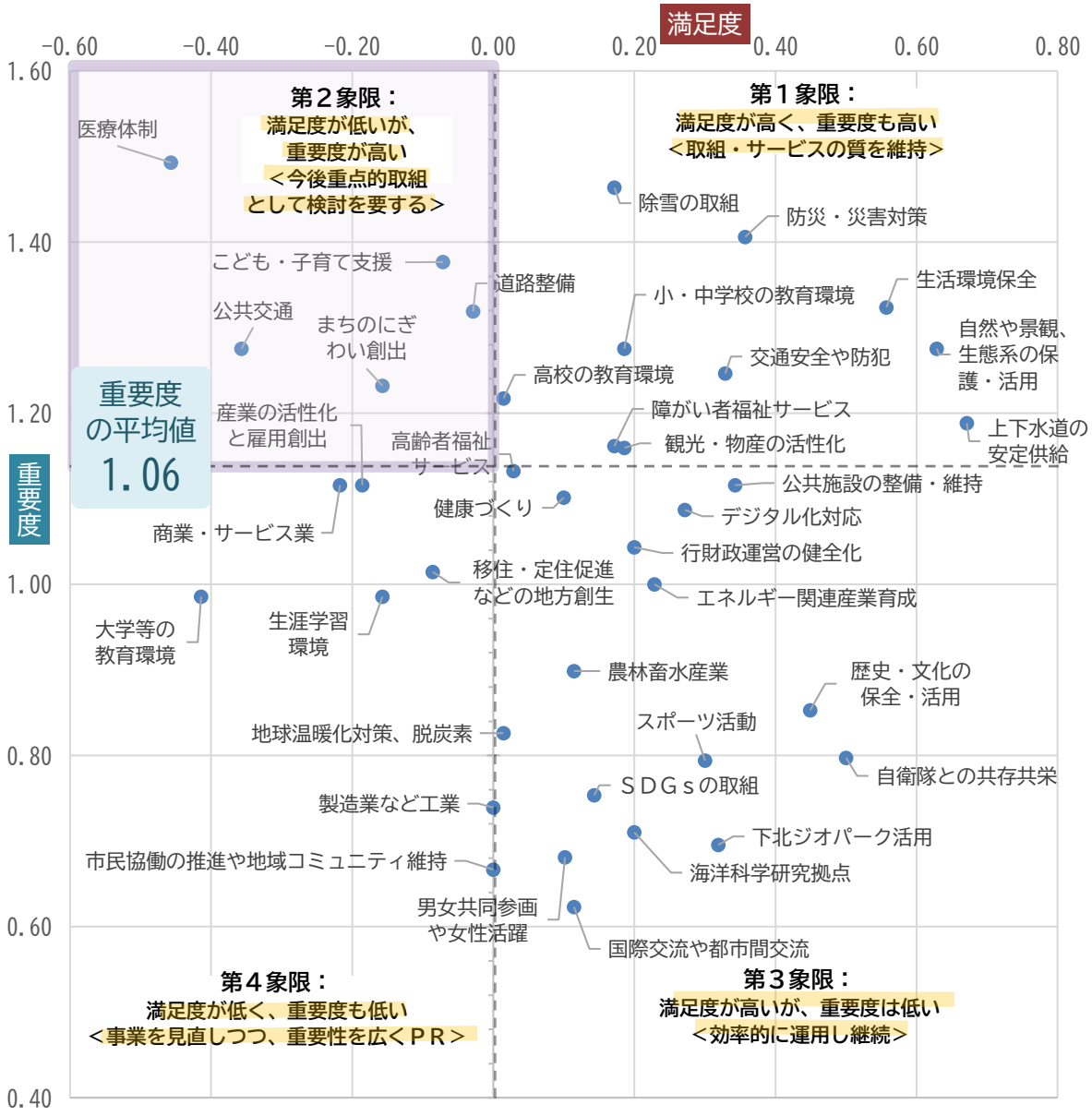
一方、第２象限（低満足・高重要）には、＜医療体制＞、＜公共交通＞、＜まちのにぎわい創出＞、＜こども・子育て支援＞、＜道路整備＞が位置しており、市民の期待が高いにもかかわらず、現状の取組に対する満足度が低いと評価されています。これらの施策は改善の優先度が高く、具体的な課題の抽出と、市民ニーズとのギャップを埋めるための改善策・対応策の立案・検討が急務であると考えられます。

第３象限（高満足・低重要）には、＜自衛隊との共存共栄＞、＜歴史・文化の保全・活用＞、＜公共施設の整備･維持＞、＜下北ジオパーク活用＞、＜スポーツ活動＞、＜エネルギー関連産業育成＞、＜海洋科学研究拠点＞、＜行財政運営の健全化＞、＜ＳＤＧｓの取組＞などが位置しており、満足度は高いものの、市民の生活に直結する重要度は相対的に低いと評価されています。これらの施策は、その重要性をＰＲしつつ、現状の水準を維持し、費用対効果や市民参加のあり方を再検討する必要があります。

第４象限（低満足・低重要）には、＜大学等の教育環境＞、＜商業・サービス業＞、＜産業の活性化と雇用創出＞、＜生涯学習環境＞、＜移住・定住促進などの地方創生＞、＜製造業など工業＞、＜市民協働の推進や地域コミュニティ維持＞が位置しており、市民の関心も満足度も低い施策であると評価されています。その重要性をＰＲしつつ、施策の目的や効果を再評価し、必要に応じて統廃合や内容の見直しを行うことが必要です。

【満足度について「0.0」を基準（絶対評価）／重要度について「平均値」を基準（相対評価）】

【10～20代の場合】まちづくりの取組に対する満足度と今後の重要度の散布図（SA） n=71



【20～30 代の満足度・重要度】

むつ市の各施策・事業に対する満足度・重要度について、現在のむつ市において、次代のむつ市を担う世代である「20～30 代の場合」でみると以下のとおりです。

第１象限（高満足・高重要）には、＜上下水道の安定供給＞、＜生活環境保全＞、＜自然や景観、生態系の保護・活用＞、＜交通安全や防犯＞、＜防災・災害対策＞などが位置しており、市民から比較的高い評価と関心を集めている施策であると評価できます。今後も引き続き重点的に取り組むべき分野として、継続的な支援と質の維持・向上に取り組む必要があると言えます。

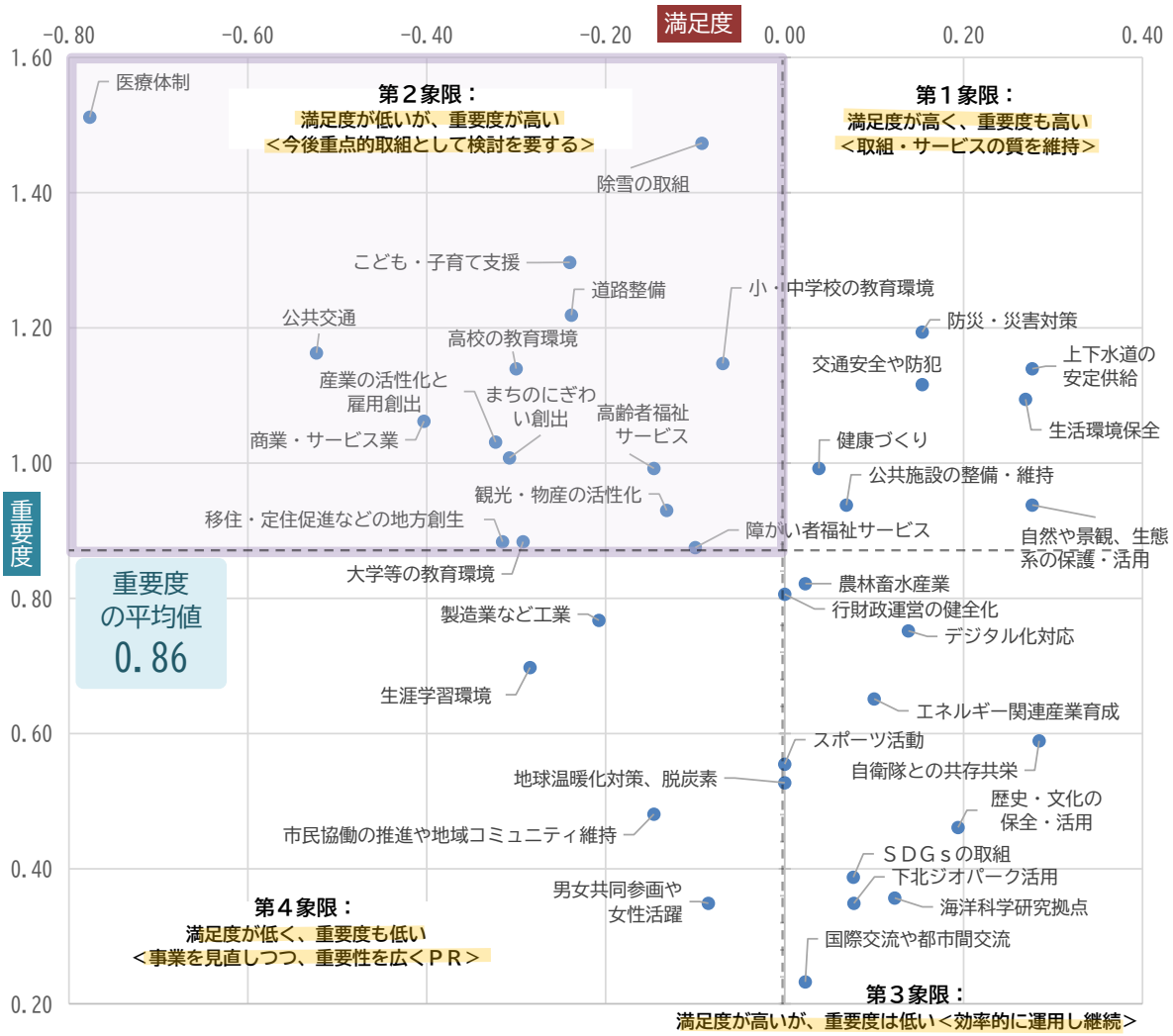
一方、第２象限（低満足・高重要）には、＜医療体制＞、＜公共交通＞、＜商業・サービス業＞、＜産業の活性化と雇用創出＞、＜移住・定住促進などの地方創生＞、＜まちのにぎわい創出＞、＜高等学校の教育環境＞、＜大学等の教育環境＞などが位置しており、市民の期待が高いにもかかわらず、現状の取組に対する満足度が低いと評価されています。これらの施策は改善の優先度が高く、具体的な課題の抽出と、市民ニーズとのギャップを埋めるための改善策・対応策の立案・検討が急務であると考えられます。

第３象限（高満足・低重要）には、＜自衛隊との共存共栄＞、＜歴史・文化の保全・活用＞、＜デジタル化対応＞、＜海洋科学研究拠点＞、＜エネルギー関連産業育成＞などが位置しており、満足度は高いものの、市民の生活に直結する重要度は相対的に低いと評価されています。これらの施策は、その重要性をＰＲしつつ、現状の水準を維持し、費用対効果や市民参加のあり方を再検討する必要があります。

第４象限（低満足・低重要）には、＜生涯学習環境＞、＜製造業など工業＞、＜市民協働の推進や地域コミュニティ維持＞、＜男女共同参画や女性活躍＞が位置しており、市民の関心も満足度も低い施策であると評価されています。その重要性をＰＲしつつ、施策の目的や効果を再評価し、必要に応じて統廃合や内容の見直しを行うことが必要です。

【満足度について「0.0」を基準（絶対評価）／重要度について「平均値」を基準（相対評価）】

【20～30代の場合】まちづくりの取組に対する満足度と今後の重要度の
散布図（SA） n=130



【30～40 代の満足度・重要度】

むつ市の各施策・事業に対する満足度・重要度について、現在のむつ市において、子育てや産業・商工業の中心的役割を担う世代である「30～40 代の場合」でみると以下のとおりです。

第１象限（高満足・高重要）には、＜生活環境保全＞、＜上下水道の安定供給＞、＜自然や景観、生態系の保護・活用＞が位置しており、市民から比較的高い評価と関心を集めている施策であると評価できます。今後も引き続き重点的に取り組むべき分野として、継続的な支援と質の維持・向上に取り組む必要があると言えます。

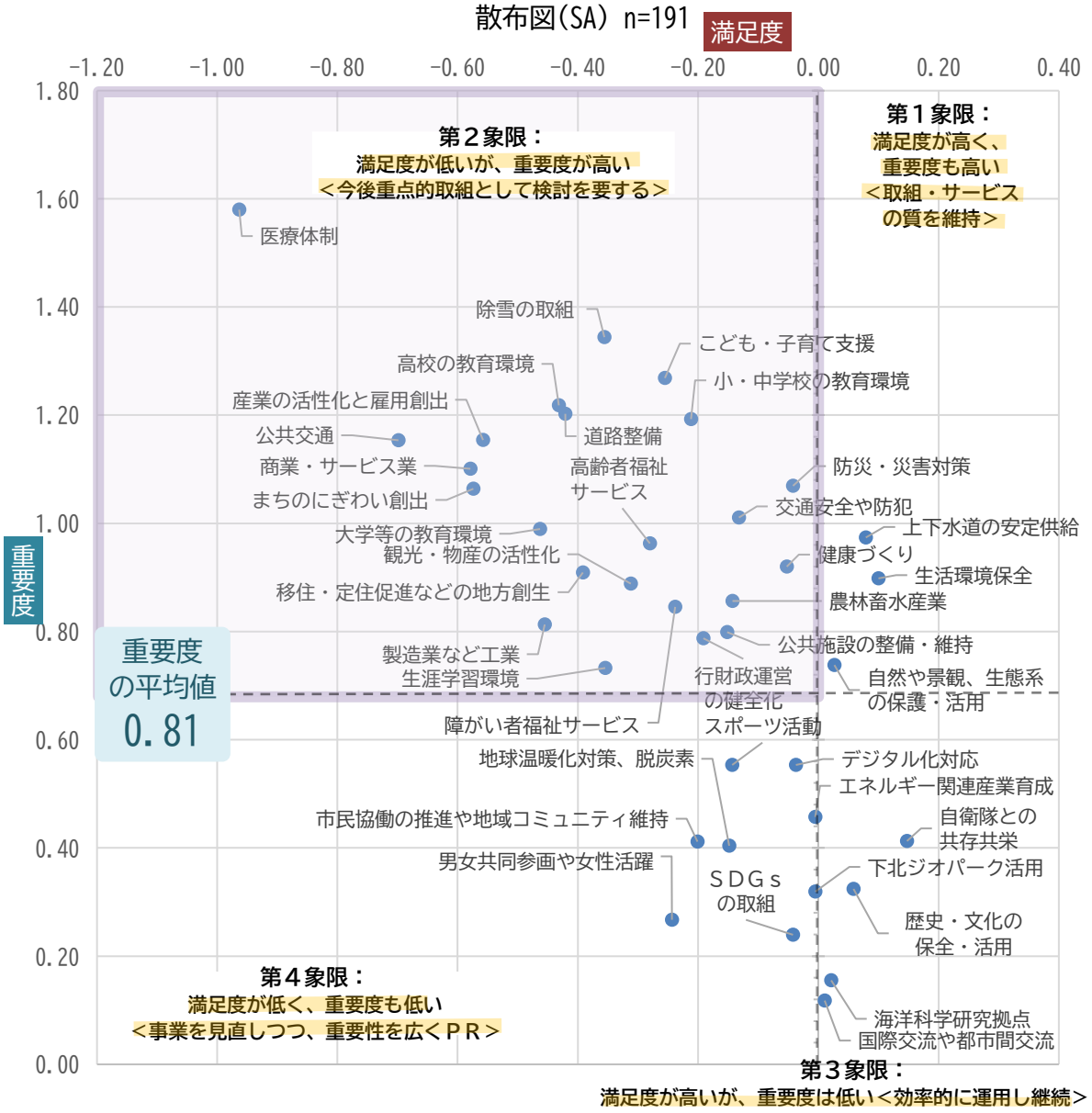
一方、第２象限（低満足・高重要）には、＜医療体制＞、＜公共交通＞、＜商業・サービス業＞、＜まちのにぎわい創出＞、＜産業の活性化と雇用創出＞、＜大学等の教育環境＞、＜製造業など工業＞、＜高校の教育環境＞、＜道路整備＞、＜移住・定住などの地方創生＞などが位置しており、市民の期待が高いにもかかわらず、現状の取組に対する満足度が低いと評価されています。これらの施策は改善の優先度が高く、具体的な課題の抽出と、市民ニーズとのギャップを埋めるための改善策・対応策の立案・検討が急務であると考えられます。

第３象限（高満足・低重要）には、＜自衛隊との共存共栄＞、＜歴史・文化の保全・活用＞、＜海洋科学研究拠点＞、＜国際交流や都市間交流＞が位置しており、満足度は高いものの、市民の生活に直結する重要度は相対的に低いと評価されています。これらの施策は、その重要性をＰＲしつつ、現状の水準を維持し、費用対効果や市民参加のあり方を再検討する必要があります。

第４象限（低満足・低重要）には、＜男女共同参画や女性活躍＞、＜市民協働の推進や地域コミュニティ維持＞、＜地球温暖化対策、脱炭素＞、＜スポーツ活動＞、＜ＳＤＧｓの取組＞、＜デジタル化対応＞などが位置しており、市民の関心も満足度も低い施策であると評価されています。その重要性をＰＲしつつ、施策の目的や効果を再評価し、必要に応じて統廃合や内容の見直しを行うことが必要です。

【満足度について「0.0」を基準（絶対評価）／重要度について「平均値」を基準（相対評価）】

【30～40代の場合】まちづくりの取組に対する満足度と今後の重要度の散布図（SA） n=191



【50 代以上の満足度・重要度】

むつ市の各施策・事業に対する満足度・重要度について、むつ市に定着している世代である 50 代、および高齢者を含む 60 代以上を含めた「50 代以上の世代」の場合でみると以下のとおりです。

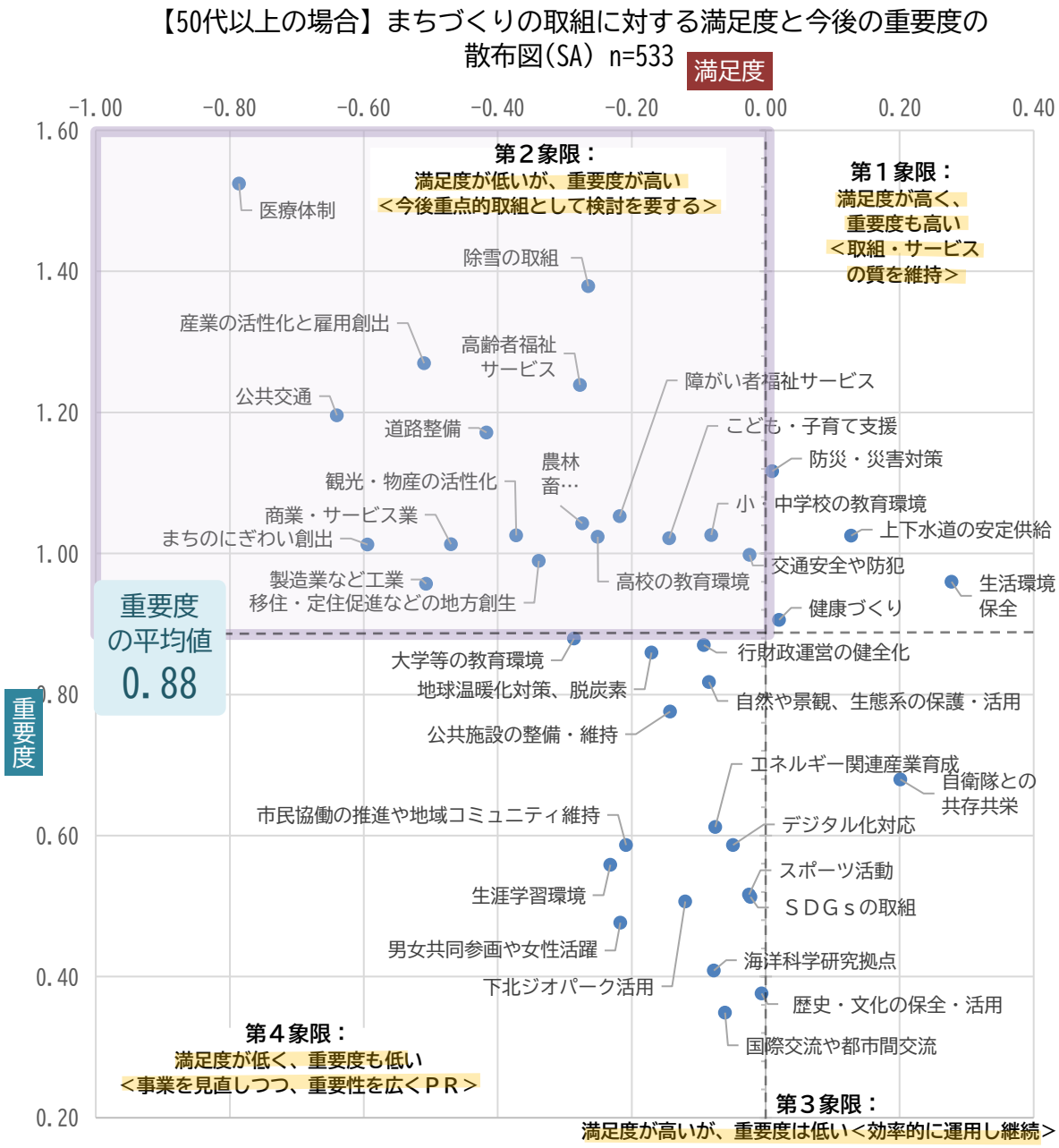
第 1 象限（高満足・高重要）には、＜生活環境保全＞、＜上下水道の安定供給＞、＜健康づくり＞、＜防災・災害対策＞が位置しており、市民から比較的高い評価と関心を集めている施策であると評価できます。今後も引き続き重点的に取り組むべき分野として、継続的な支援と質の維持・向上に取り組む必要があると言えます。

一方、第２象限（低満足・高重要）には、＜医療体制＞、＜公共交通＞、＜まちのにぎわい創出＞、＜製造業など工業＞、＜産業の活性化と雇用創出＞、＜商業・サービス業＞、＜道路整備＞、＜観光・物産の活性化＞などが位置しており、市民の期待が高いにもかかわらず、現状の取組に対する満足度が低いと評価されています。これらの施策は改善の優先度が高く、具体的な課題の抽出と、市民ニーズとのギャップを埋めるための改善策・対応策の立案・検討が急務であると考えられます。

第３象限（高満足・低重要）には、＜自衛隊との共存共栄＞のみが位置しており、満足度は高いものの、市民の生活に直結する重要度は相対的に低いと評価されています。これらの施策は、その重要性をＰＲしつつ、現状の水準を維持し、費用対効果や市民参加のあり方を再検討する必要があります。

第４象限（低満足・低重要）には、＜大学等の教育環境＞、＜生涯学習環境＞、＜男女共同参画や女性活躍＞、＜市民協働の推進や地域コミュニティ維持＞などが位置しており、市民の関心も満足度も低い施策であると評価されています。その重要性をＰＲしつつ、施策の目的や効果を再評価し、必要に応じて統廃合や内容の見直しを行うことが必要です。

【満足度について「0.0」を基準（絶対評価）／重要度について「平均値」を基準（相対評価）】



問15　むつ市で暮らしている中で感じるモヤモヤ(率直に思うこと、困りごと、気になることなど)が ありましたら、ご自由に記入してください。【FA】

むつ市で暮らしている中で感じるモヤモヤ（率直に思うこと、困りごと、気になることなど）については、306 人より回答を得ました。医療や交通、子育て・教育環境などについて多くの意見が寄せられています。

主なポイントは以下のとおりです。

① 医療体制の課題

医療体制に対して、市民からは多くの意見が寄せられました。特に総合病院に関しては、診療の流れが煩雑で、検査・診察・結果説明・薬の受け取りがすべて別日になることが多く、通院回数が増えることで時間的・経済的負担が大きくなっています。

また、専門医の不足や診療日が限られていることから、必要な科にかかれない、予約が取りづらいといった声も多く、特に婦人科や小児科に関する不満の意見が見られました。医師や看護師の接遇に対する不満も根強く、患者に寄り添う姿勢が感じられないという指摘もありました。

さらに、妊活や不妊治療に関する支援が不足しており、他市町村と比べて制度が遅れていると感じる若い世代もいます。障がい者や高齢者が安心して医療にアクセスできる体制も十分でなく、相談窓口の設置や移動支援の充実が求められています。

▶主な意見(原文抜粋)
- 「婦人科検診の予約が取れなくて毎回困っています。仕事や子供の都合、子守りを頼む人の都合などいろいろとわかってからの予約となるので希望の日時が取れません。」
- 「妊活中ですが、サポート体制が弱く不安です。他の県、他市町村をもう少し参考にしてほしいです。」
- 「障がいのある人が地域で暮らしていくうえで、気軽に相談できる場所がなかなかないような気がする。」
- 「病院を選べないことが少し不便に感じる時があります。」

② 交通・インフラの不便さ

交通インフラの不便さは、生活のあらゆる場面に影響を及ぼしており、特に高齢者や車を持たない住民にとっては深刻な問題となっています。公共交通機関の本数や運行時間が限られているため、通勤・通院・買い物など日常の移動が困難であり、免許返納後の生活に強い不安を感じる声が多く寄せられています。

また、バス停が遠い、ルートが使いづらい、IC カードが使えないなど、利便性の低さが指摘されており、ＭＵＶＥバス（市内ループ路線バス）など新しい交通手段も十分に活用されていない現状があります。除雪に関しても、主要道路以外の対応が遅く、私道や細道では雪が放置されることが多く、早朝の出勤や通学に支障をきたしているという声が複数見られました。

さらに、道路の老朽化や舗装の不備、白線の消失、側溝の詰まりなど、インフラの基本的な整備が追いついていないことも問題視されています。特に豪雨災害後の排水設備の整備が不十分で、再び浸水するのではないかという不安を抱えているという意見もありました。

▶主な意見(原文抜粋)
- 「免許返納後の食料品の買い物や病院への通院が困ると思います。近くにタクシー会社がなくなり、いざという時の移動に悩んでいます。」
- 「MUVE バス(市内ループ路線バス)を利用している人が少なすぎます。もっと利用しやすい所にバス停を作ってほしいです。」
- 「除排雪に関して大変不満あります。町内によって除雪等する・しないの差がある。仕事柄、早朝出勤できないでいる(車が出られない)。」
- 「2021 年 8 月の豪雨災害がありました…それから、大雨がいっきにふるといつも家の前が冠水してしまいます。」
- 「道路の停止線、中央線等は危険なため定期的に上塗りをするべき。消えてしまった時に事故が起きないようにしていただきたい。」

③ 子育て・教育環境の課題

子育て・教育環境について、制度面・施設面・支援体制のいずれにも課題があるとの声が多く寄せられています。特に幼児教育においては、保育園・幼稚園・発達支援センターなどの選択肢が限られており、個性や発達特性を持つ子どもへの支援が十分ではないと感じる保護者が多くいます。

保育料の無償化制度についても、対象年齢の開始時期が分かりづらく、実際には「3 歳から」と言いながら「4 歳から」しか適用されていないなど、制度の運用に対する不満が見られます。また、学校施設の設備面では、猛暑時の冷房整備が遅れており、子どもたちの健康や学習環境に影響が出ているとの指摘もありました。

進学に関しては、家庭の経済状況によって進学を諦めざるを得ないケースがあり、返済不要の奨学金制度の創設を求める声が見られました。さらに、部活動の廃止による中学生の素行悪化や、いじめへの対応不足など、教育現場の人材・制度両面での改善が求める意見が挙げられています。

▸主な意見（原文抜粋）
- 「幼稚園、保育園、子ども支援発達センターはありますが、グレーゾーンと呼ばれる子どもや、個性や特徴を持った子どもたちへの支援が十分とは言えません。」
- 「高校の教育環境の不安。選択肢がなさすぎる。小児科がなさすぎる。あっても横柄で行きたくない。」
- 「進学に不安がある。（金銭的に。）」
- 「部活動がなくなり中学生の素行が悪すぎる。クラブチームと学校が連携して、悪い事をした子に対しては、クラブ内が謹慎。またはその子は試合に出られない等対策を打つ事が大切だと思います。」

④ 若者・働き世代への支援不足

若者や働き世代への支援について、雇用・生活・文化の各面で不十分であるとの声が多く寄せられています。まず、地元で働きたいという意欲があっても、職種の選択肢が少なく、求人も限られているため、希望する働き方が実現できないという現状があります。特に、短期雇用や柔軟な働き方に対応した求人が少なく、子育て世代や独身者にとっては生活設計が難しい状況であるといった意見が挙げられています。

また、給与水準が低く、家賃が高いことから、経済的な自立が困難であるという声も多く、若者が地域に定住するための環境が整っていないと感じられています。

娯楽施設や文化的な交流の場も不足しており、休日の過ごし方に困る若者が多く、結果として県外への移住を選ぶケースが増えています。

さらに、独身者への支援がほとんどなく、結婚や家庭を持つことが前提の制度設計に偏っているとの指摘もあります。若者が「ここで暮らしたい」と思えるような、仕事・住まい・遊びのバランスが取れた地域づくりが求められています。

▸主な意見（原文抜粋）
- 「地元で働きたいとは思っているものの仕事が少ない。働けたとしてもすでにグループができており、馴染めない。」
- 「求人の数が少ない。毎回、同じ企業しか求人が出ていない。雇用形態の選択が充実して欲しい。タクシーなどのような隙間時間で働けるような求人や短期など。」
- 「若者は特に楽しみがないと感じていると思う。そのため県外に移住してしまう。」
- 「独身が生きづらい。スターバックスやセブンイレブンがない。ライブをしに来てくれるアーティストがいない。」
- 「アパート等の家賃が高く、職種にもよるが給料が低い。ファミリー層の娯楽施設が少ない。」

⑤ 地域資源の活用

地域には豊かな自然や歴史的資源があるにもかかわらず、それらを十分に活かしきれていないという声が多く挙げられています。観光拠点としての整備が不十分で、道の駅や海の駅のような施設が存在しないことに対する不満が目立ちます。駅前や市内中心部においても、土産物店や飲食店が少なく、観光客が滞在しづらい環境となっており、地域の魅力が伝わりにくい状況です。

また、自然環境の管理が行き届いておらず、熊や猿などの野生動物の出没が増えていることに加え、景観を損なうような伐採や雑草の放置なども問題視されています。銭湯の減少によって、地域住民の交流の場や観光客の受け入れ体制が弱まっていることも懸念されています。

イベントについては、質や規模に対する疑問があり、「やらなくてもいいのでは」と感じる市民もいる一方で、冬季イベントや観光資源を生かした企画が不足しているとの指摘もあります。観光を

地域振興の柱とするには、資源の整備と魅力発信の両面での戦略的な取り組みが求められています。

大湊地区にある自衛隊基地との共存共栄にもっと力を入れ、若者のスケートボード練習場所を整備するなど、スポーツ活動などを通じた地域との協力を進めてはどうかという提案もされています。また、他県に依頼している整備を市内の自衛隊で対応することで地域雇用の拡大につなげるべきとの意見が挙げられています。

▸主な意見(原文抜粋)
- 「道の駅や海の駅がないのが残念。地場産品や観光地等のアピールは豊富な品揃えと、新鮮な青果等、そして食事。温泉とか併設されていればもっと集客があって賑やかになるのではと思います。」
- 「駅前とは思えない下北駅の周辺。いきなり空地に(列車待ちの)時間を過ごす所もない。明るさのない小さなお土産店があるだけで、まるで魅力を感じない。」
- 「下北縦貫道が完成しないとむずかしいのかもしれませんが、災害対応など、多目的なみんなが集える、大きな道の駅、行き易い場所に作ってもらい、若い人や子どもお年寄りも行きたくなるような所をみんなで考え参加して作って頂きたい。」
- 「銭湯が減る一方で、とても不自由を感じます。行政が運営する銭湯が欲しいです。」
- 「最近熊出没と猿の被害やアナグマ野ネズミの出没被害が多くなっています。山の自然がこの気候変動で壊されているせいなのでしょうが、それ以外目にするのは、釜臥山の裾の木々の伐採がやたら目につきます。」
- 「イベントの質や規模に対する疑問があり、『やらなくても…』と思うイベントもある。無駄遣いだと思うこともある。」
- 「1 年半で過ごした中で夏はねぶたや田名部祭りなど盛り上がるイベントがあるが、冬にイベントが少ない。雪まつりなど冬にも観光客が集まるようなイベントが欲しい。」
- 「ねぶた(大湊)の期間が短い。3 日間ほしい。これから先も花火大会がありますか？」
- 「もう少し自衛隊との共存共栄に力を入れ、スポーツ活動の協力などに取り組んで。若者のスケートボード練習施設を作ってあげて下さい。」
- 「せっかくむつ市内に自衛隊があるのに整備など他県に頼らなければならないこと。市内でできればもっと雇用が増えるのではないか。」

⑥ 行政への改善要望

市民からは、行政の対応に対する不信感や改善を求める声が多く挙げられています。市役所職員の対応に関しては、「冷たい」「投げやり」「見下されているように感じる」といった印象を持つ人が少なくなく、窓口対応の質の向上に関する意見が挙げられています。また、地域の実情に即した政策が打たれていないという指摘もあり、「未来志向が強すぎて足元の課題が置き去りにされている」との声も見られます。

情報提供の面では、防災無線の廃止や LINE 通知の不備により、高齢者が情報から取り残されているという懸念があり、紙媒体や音声放送など多様な手段による情報発信も必要であるとの意見が挙げられています。さらに、地域間格差（中心部優先）への不満や、市議会議員や行政職員が市民と接する機会が少なく、地域の声が政策に反映されていないと感じる意見もあり、対話の場の充実が期待されています。

▸主な意見(原文抜粋)
- 「市役所に何度も電話したが対応してくれなかった。今年の冬に向けて改善してほしい(品ノ木地区在住)。」
- 「市役所職員(臨時職員等も含む)方々の勤務態度やスリッパでパタパタ歩いたりなどあまりいい気持ちにはなりません。相談に行っても見下されているような気になります。」
- 「市内の放送がなくなったのか？熊の状況放送が欲しい。LINE では高齢者は気付きません。」
- 「いろんな政策を計画、実行しているようですが、ポイントがずれているように感じます。もっと地域の実状にあった政策から計画を立て、足元を盤石にし、そして未来に向けた政策に繋げていった方が市民の為になるのではないでしょうか。」
- 「むつ地区は何をするにも優先で、その他の地区は常に後回しのように見える。他の地区で利便性を感じなくなり県外へ出る若者が増えていると思います。」
- 「市内、地域のことを一番わかっているのは市議会議員ではなく市内各町内会だと思うので、市議会議員は市内各町内会長が兼務すれば良いと思います。県、日本、世界に先駆けてむつ市がこれをやって欲しい。少なくともここ 3 年、選挙以外で市議会議員と話をすることも、町で見かけることもありません。」

⑦ 生活環境･都市整備の課題

市民の生活に密接に関わる生活環境・都市整備については、商業施設の減少や空き家の増加、公共施設の使いづらさなど、日常の利便性や安全性に関する不満が多く寄せられています。特に、買い物ができる場所が限られていることから、車がない高齢者や一人暮らしの住民にとっては、日常生活そのものが困難になっているという意見が挙げられています。

また、空き家や空き地の管理が行き届いておらず、雑草が生い茂ることで景観が損なわれるだけでなく、防犯上の不安や熊などの野生動物の出没リスクも高まっていると指摘されています。ゴミ小屋の不足や不法投棄の増加も、地域の衛生環境や住民のモラルに関わる問題として深刻です。

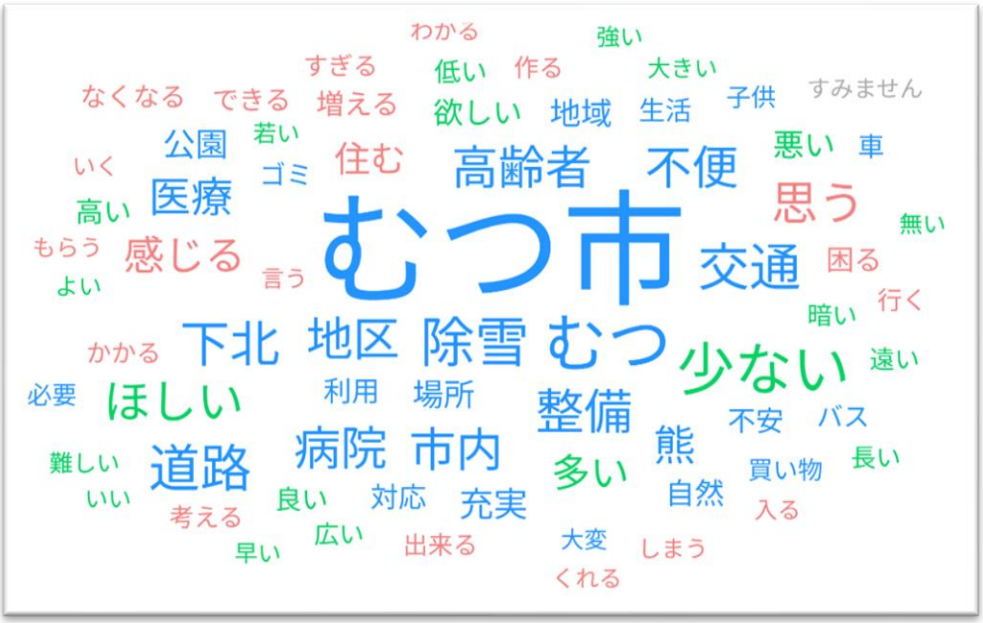
税金や保険料の負担が重い一方で、生活困窮者や年金生活者への支援が不十分であるという声もあり、制度の公平性や支援のあり方について再検討が求められています。さらに、町内会制度の運用に関する不公平感も指摘されており、住民参加の仕組みや自治のあり方について再検討が求める意見や、町内会制度や地域活動に関する不満もあり、参加の強制感や運営の不透明さが、住民の疎外感を生んでいるケースも見受けられます。

防災については、防災施設の不足や防災無線の整備不備（特に山間部）に対する意見が挙げられています。また、空き地・空き家の雑草放置によるヤブ化・森化が、熊の出没や防犯上のリスクを高める可能性があることから、地主による適切な管理や防犯カメラの設置など、防災と防犯の連携強化が必要とする意見が挙げられています。さらに、熊対策として、防災無線を活用した音響的な工夫（嫌がる音や周波数の発信）も提案されています。

道路整備については、夕方の時間帯の渋滞緩和のため、大湊地区から川内方面へのバイパス工事を進めてほしいといった意見が挙げられています。

▶主な意見(原文抜粋)
- 「買物等の足になるものがない。市内に何もない為、休日は青森、八戸に出掛けてしまう。」
- 「ゴミステーションがいつも満杯で入りきらない時がある。小屋を増やし地域の人で助けあい、カギ当番をしてきれいな町づくりをしたらいいと思う。」
- 「ごみ袋が高い。他の市では無料で中身が見えれば可としている。ごみ袋は不良品が多く、くっついて剥がれなかったり、破けやすい。」
- 「町内会で年 1･2 回のドブ清掃で出ないと罰金千円を取られるのは少し高過ぎると思う。出なかった人の名前が書かれて町内に回るので嫌だ。」
- 「空き地、空き家の雑草がありすぎる。ヤブ化、森化で防犯、熊が出やすくなっているので地主にはしっかり管理してほしい。防犯カメラの設置はむつ市にあるのですか？防災無線で熊のきらいな音や周波数を出没期間だけ流せないものでしょうか？」
- 「夕方 17 時前後の時間帯で、自衛隊基地周辺から田名部方面へ向かう際、常楽寺からバイパスの信号機まで渋滞することが多々あるため、川内方面へのバイパス工事を進めてほしい。」

■ テキストマイニングによるワードクラウド



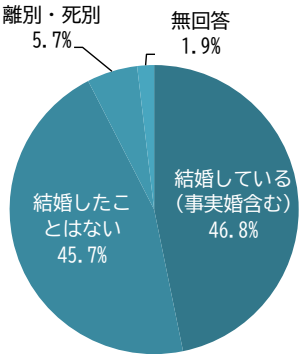
※ 「AI テキストマイニング（株式会社ユーザーローカル）」により作成

④結婚・出産に関する考え方について＜10代～40代対象＞【問16～19】

問16　あなたは結婚していますか。【SA】

10 代～40 代のうち、結婚については、「結婚している（事実婚を含む）」と回答した方の割合が 46.8%、「結婚したことはない」が 45.7%、「離別・死別」が 5.7%となっています。

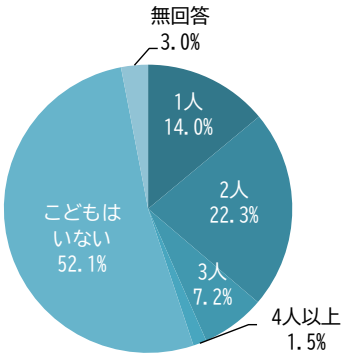
あなたは結婚していますか。 n=265



問17　あなたは現在、お子さんは何人いますか。【SA】

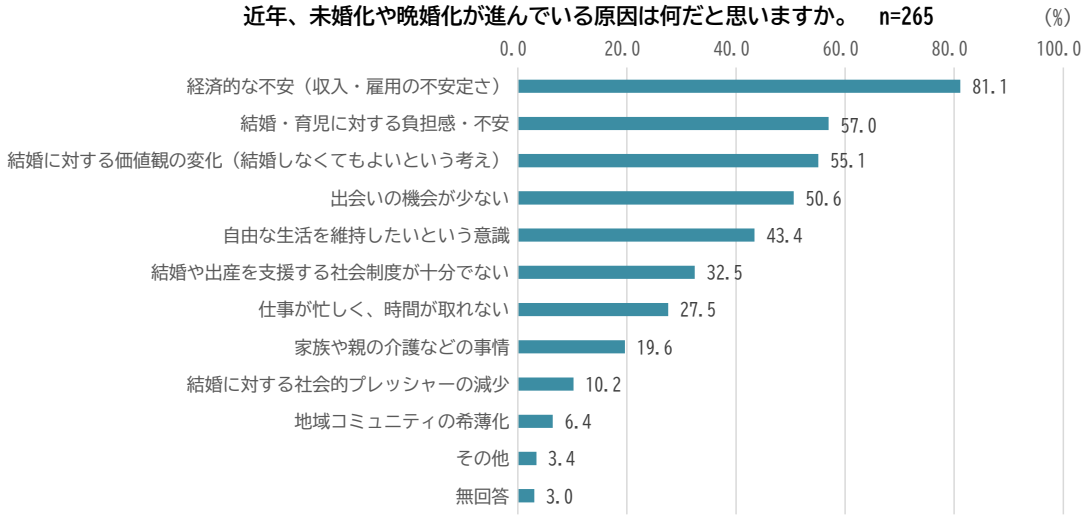
10 代～40 代のうち、こどもの数については、「１人」が 14.0%、「２人」が 22.3%、「３人」が 7.2%、「４人以上」が 1.5%、「こどもはいない」が 52.1%となっています。

あなたは現在、お子さんは何人いますか。 n=265



問18　生涯を通じて結婚をしない「未婚化」や結婚の時期が遅くなる「晩婚化」が全国的に進んでおり、出生数の減少にもつながっています。 むつ市でも若い世代の結婚や出産を支えることが重要な課題となっています。近年未婚化や晩婚化が進んでいる原因は何だと思いますか。【MA】

近年の未婚化や晩婚化が進行する原因については、「経済的な不安（収入・雇用の不安定さ）」と回答した方の割合が 81.1%で最も高く、次いで、「結婚・育児に対する負担感・不安」が 57.0%、「結婚に対する価値観の変化（結婚しなくてもよいという考え）」が 55.1%となっています。



「その他」の回答

・経済や価値観の変化など、複合的な理由が考えられるが、個人的には男女間におけるお互いへの不信感が原因だと思っている。
・出産できる産科不足、むつ病院のみで選択肢ない。
・妊娠、出産への不安や恐怖
・年配世代から現役世代への押し付けが辛いのかもしれない。価値観の乖離
・結婚への魅力がない。持てない。
・むつ市に安定した仕事がないとかかな？男性は仕事ないとかで外にでてしまうのかな？
・出会って会話をするコミュニティがない。

年代・居住年数等で異なる未婚化・晩婚化の要因についての認識
―若年層は経済不安・出会い不足、15～20年未満居住層で子育て支援への不安が影響と捉える―

近年の未婚化や晩婚化が進行する原因について、年代別にみると、20代で「経済的な不安（収入・雇用の不安定さ）」が89.4%、「出会いの機会が少ない」が59.6%、「仕事が忙しく、時間が取れない」が44.7%で全体と比較して高くなっています。

居住年数別にみると、15～20年未満で「結婚・育児に対する負担感・不安」が68.9%、「結婚や出産を支援する社会制度が十分でない」が48.9%で全体と比較して高くなっている一方、「自由な生活を維持したいという意識」が28.9%で低くなっています。また、20年～30年未満で「自由な生活を維持したいという意識」が55.4%で全体と比較して高くなっています。

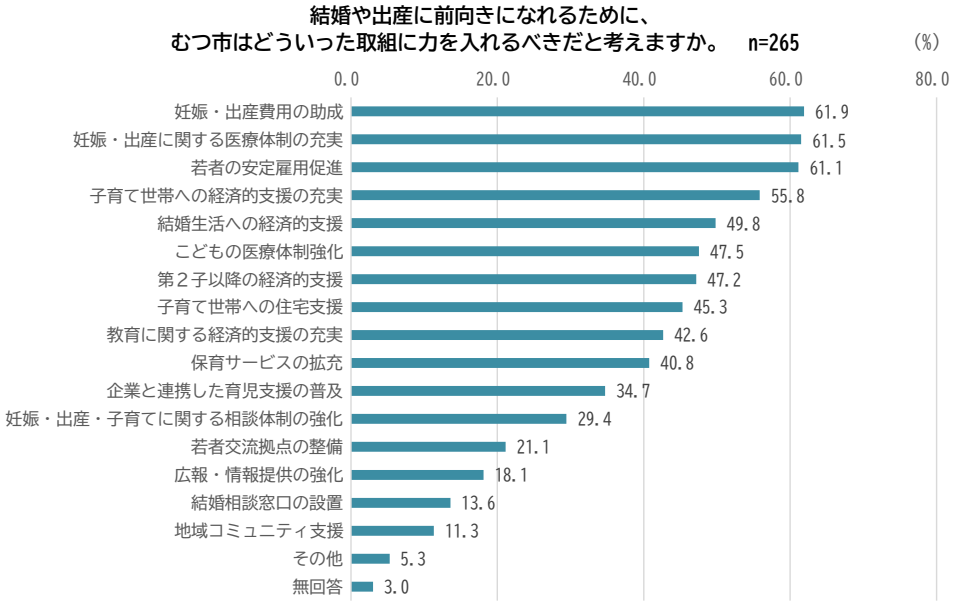
居住地区別・家族構成別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：近年の未婚化や晩婚化が進行する原因】

		全体	経済的な不安（収入・雇用の不安定さ）	出会いの機会が少ない	仕事が忙しく、時間が取れない	結婚・育児に対する負担感・不安	家族や親の介護などの事情	自由な生活を維持したいという意識	結婚に対する価値観の変化（結婚しなくてもよいという考え）	結婚に対する社会的プレッシャーの減少	地域コミュニティの希薄化	結婚や出産を支援する社会制度が十分でない	無回答	その他
全体		(265)	81.1	50.6	27.5	57.0	19.6	43.4	55.1	10.2	6.4	32.5	3.0	3.4
性別	男性	(121)	78.5	52.1	28.9	51.2	19.0	39.7	51.2	9.1	8.3	33.1	4.1	4.1
	女性	(143)	83.2	49.0	26.6	62.2	20.3	46.9	58.7	11.2	4.9	32.2	2.1	2.8
	その他	(1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10 代	(24)	75.0	50.0	29.2	66.7	20.8	29.2	50.0	16.7	8.3	41.7	4.2	0.0
	20 代	(47)	89.4	59.6	44.7	59.6	19.1	38.3	59.6	12.8	4.3	34.0	0.0	4.3
	30 代	(83)	80.7	47.0	28.9	56.6	25.3	47.0	50.6	9.6	10.8	34.9	2.4	1.2
	40 代	(111)	79.3	49.5	18.9	54.1	15.3	45.9	57.7	8.1	3.6	27.9	4.5	5.4
	50 代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60 代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70 代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80 代以上	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(208)	83.2	50.0	28.4	58.7	20.2	44.2	55.3	10.1	6.3	33.2	1.9	3.4
	川内地区	(24)	79.2	62.5	29.2	50.0	20.8	54.2	58.3	8.3	12.5	45.8	8.3	4.2
	大畑地区	(21)	61.9	47.6	23.8	57.1	14.3	38.1	47.6	14.3	0.0	19.0	4.8	4.8
	脇野沢地区	(5)	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	無回答	(7)	100.0	57.1	0.0	42.9	14.3	14.3	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(25)	68.0	52.0	36.0	36.0	16.0	40.0	36.0	12.0	12.0	24.0	8.0	0.0
	夫婦のみ	(21)	85.7	52.4	28.6	33.3	14.3	57.1	66.7	9.5	9.5	47.6	4.8	14.3
	２世代が同居（親と子）	(175)	84.6	50.3	24.6	63.4	22.9	43.4	55.4	12.0	6.3	31.4	1.7	2.9
	３世代が同居（親と子と孫）	(23)	78.3	47.8	39.1	60.9	8.7	34.8	69.6	0.0	0.0	39.1	0.0	4.3
	その他	(20)	65.0	50.0	30.0	45.0	15.0	40.0	45.0	5.0	0.0	25.0	10.0	0.0
	無回答	(1)	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(16)	81.3	43.8	43.8	43.8	37.5	50.0	37.5	25.0	18.8	43.8	0.0	6.3
	３年～５年未満	(11)	90.9	81.8	27.3	45.5	0.0	27.3	45.5	9.1	27.3	36.4	0.0	0.0
	５年～10 年未満	(22)	72.7	40.9	13.6	59.1	22.7	45.5	54.5	9.1	0.0	27.3	4.5	4.5
	10 年～15 年未満	(17)	76.5	35.3	35.3	47.1	11.8	52.9	82.4	17.6	5.9	29.4	0.0	0.0
	15 年～20 年未満	(45)	82.2	53.3	24.4	68.9	15.6	28.9	55.6	6.7	4.4	48.9	2.2	2.2
	20 年～30 年未満	(56)	83.9	55.4	37.5	60.7	23.2	55.4	64.3	12.5	1.8	35.7	0.0	3.6
	30 年以上	(98)	80.6	49.0	22.4	54.1	19.4	41.8	49.0	7.1	7.1	22.4	6.1	4.1
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問19　結婚や出産に前向きになれるために、むつ市はどういった取組に力を入れるべきだと考えますか？【MA】

結婚や出産に前向きになれるために力を入れるべき取組については、「妊娠・出産費用の助成」と回答した方の割合が 61.9%で最も高く、次いで、「妊娠・出産に関する医療体制の充実」が 61.5%、「若者の安定雇用促進」が 61.1%となっています。



「その他」の回答

- 定住化（公共交通の発展）
- 手取り 15 万前後で働いている若い世代多いと思います。普通無理でしょ。
- こんななにもない田舎で結婚を薦めるのは間違っている。
- むつ市で長く、繁栄したいと強く思える場所づくり
- そもそも現代のように男女共同参画、ビジネスチャンスの平等化等の自由無差別化社会に人口増加は望めない
- 地域存続の為の政策というのが(人口を増やそうというような)見えすぎると子供を生む、育てるというのは、個人の人生を豊かにする選択のひとつだと思うので、なんというか辟易としてしまうと思う。まずは個人が自分の人生の幸せについて希望を持って、考えていけるような空気感が地域にあるといいと思う。
- 産後仕事復帰時の支援。復帰しても子供が小さいとすぐ熱をだしまともに働けない。その状況を経験すると、2 人目、3 人目とはいけないかと思います。
- 手取り収入の増加。
- 結婚、出産の良さを伝えること（家庭を持つことの良さ）
- 不妊で 1 人でしか出産できす、だが収入が少なく学校への進学がムズかしい。３人目がいる世帯は支援があるのに少し不公平と言われます。前向きになれる取組の中に入れぜひ検討してもらいたい。
- 分からない。
- 無料のマッチングシステムの導入
- 結婚しなくてもいいと思います。

年代・居住年数等で異なる結婚・出産支援ニーズ
―若年層は結婚・新生活への経済支援を重視し、居住年数15～20年未満および20～30年未満では医療・教育支援への関心が高い―

結婚や出産に前向きになれるために力を入れるべき取組について、年代別にみると、20代で「結婚生活への経済的支援（結婚・新生活の立ち上げ費用を支援など）」が66.0%、「若者交流拠点の整備（若者が集える交流施設やコミュニティ形成の支援など）」が36.2%で全体と比較して高くなっています。また、40代で「妊娠・出産・子育てに関する相談体制の強化（専門相談員、24時間相談窓口など）」が18.0%で低くなっています。

居住年数別にみると、15～20年未満で「妊娠・出産費用の助成（不妊治療・不育症治療への助成、出産育児一時金など」が73.3%、「結婚生活への経済的支援（結婚・新生活の立ち上げ費用を支援など」が62.2%、「こどもの医療体制強化（休日・夜間診療、小児救急の拡充など）」が57.8%、また、20年～30年未満で「教育に関する経済的支援の充実（学校諸費の軽減、就学援助の拡充、給付型奨学金など）」が53.6%で全体と比較して高くなっています。一方で、30年以上で「結婚生活への経済的支援（結婚・新生活の立ち上げ費用を支援など）」が37.8%、「保育サービスの拡充（延長保育・一時預かり制度・夜間保育等の充実など）」が30.6%で低くなっています。

居住地区別・家族構成別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

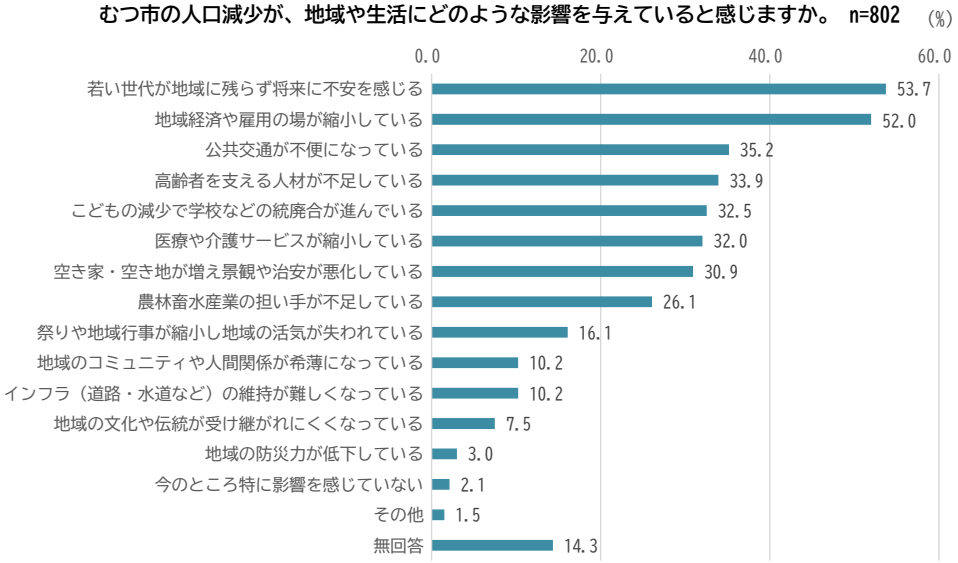
【クロス集計：結婚や出産に前向きになれるために力を入れるべき取組】

		全体	若者の安定雇用促進（正規雇用や就職を自治体が支援など）	若者交流拠点の整備（若者が集える交流施設やコミュニティ形成の支援など）	結婚相談窓口の設置（専門相談員によるカウンセリング、手続き支援など）	結婚生活への経済的支援（結婚・新生活の立ち上げ費用を支援など）	妊娠・出産費用の助成（不妊治療・不育症治療への助成、出産育児一時金など）	妊娠・出産に関する医療体制の充実（産婦人科・小児科の確保、無痛分娩など）	妊娠・出産・子育てに関する相談体制の強化（専門相談員、24時間相談窓口など）	子育て世帯への経済的支援の充実（保育料の無償化の拡充、奨学金の返済を一部助成など）	子育て世帯への住宅支援（公営住宅の優先入居、家賃補助、住宅購入助成など）	第2子以降の経済的支援	こどもの医療体制強化（休日・夜間診療、小児救急の拡充など）	保育サービスの拡充（延長保育・一時預かり制度・夜間保育等の充実など）	教育に関する経済的支援の充実（学校諸費の軽減、就学援助の拡充、給付型奨学金など）	企業と連携した育児支援の普及（短時間勤務導入、託児協力、産休・育休の取得促進など）	地域コミュニティ支援（親同士の交流機会、子育てサークル支援など）	広報・情報提供の強化（制度の周知、わかりやすい情報発信など）	無回答	その他
全体		(265)	61.1	21.1	13.6	49.8	61.9	61.5	29.4	55.8	45.3	47.2	47.5	40.8	42.6	34.7	11.3	18.1	3.0	5.3
性別	男性	(121)	58.7	26.4	17.4	52.9	54.5	53.7	28.9	50.4	44.6	43.0	43.0	43.0	41.3	29.8	12.4	16.5	4.1	7.4
	女性	(143)	62.9	16.8	10.5	46.9	67.8	67.8	29.4	60.1	45.5	51.0	51.0	39.2	43.4	38.5	10.5	18.9	2.1	3.5
	その他	(1)	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10 代	(24)	66.7	33.3	20.8	62.5	75.0	70.8	45.8	58.3	54.2	41.7	58.3	54.2	50.0	45.8	29.2	29.2	4.2	0.0
	20 代	(47)	66.0	36.2	21.3	66.0	59.6	53.2	34.0	51.1	38.3	44.7	42.6	44.7	42.6	31.9	17.0	21.3	0.0	8.5
	30 代	(83)	61.4	13.3	10.8	48.2	69.9	71.1	37.3	62.7	51.8	55.4	55.4	45.8	44.6	41.0	9.6	21.7	2.4	4.8
	40 代	(111)	57.7	18.0	10.8	41.4	54.1	55.9	18.0	52.3	41.4	43.2	41.4	32.4	39.6	28.8	6.3	11.7	4.5	5.4
	50 代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60 代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70 代	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80 代以上	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(208)	59.6	23.1	14.9	49.0	63.9	63.0	29.8	57.7	45.7	48.6	48.1	39.9	42.8	36.1	12.0	19.2	1.9	5.8
	川内地区	(24)	62.5	16.7	12.5	58.3	58.3	58.3	33.3	50.0	41.7	54.2	50.0	50.0	41.7	37.5	12.5	8.3	8.3	8.3
	大畑地区	(21)	71.4	19.0	4.8	52.4	57.1	57.1	23.8	47.6	42.9	33.3	42.9	52.4	47.6	28.6	9.5	23.8	4.8	0.0
	脇野沢地区	(5)	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	無回答	(7)	71.4	0.0	14.3	57.1	57.1	57.1	28.6	57.1	57.1	42.9	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(25)	60.0	12.0	20.0	40.0	32.0	36.0	24.0	28.0	24.0	36.0	40.0	36.0	28.0	16.0	8.0	12.0	8.0	8.0
	夫婦のみ	(21)	57.1	4.8	4.8	42.9	61.9	81.0	33.3	42.9	42.9	42.9	52.4	47.6	28.6	33.3	4.8	4.8	4.8	4.8
	２世代が同居（親と子）	(175)	60.6	23.4	13.1	52.6	66.3	64.6	30.9	61.1	48.0	48.0	49.7	40.0	44.0	37.7	12.6	20.0	1.7	4.0
	３世代が同居（親と子と孫）	(23)	65.2	34.8	8.7	43.5	65.2	60.9	21.7	60.9	47.8	56.5	39.1	47.8	56.5	34.8	8.7	17.4	0.0	4.3
	その他	(20)	65.0	10.0	20.0	50.0	55.0	45.0	25.0	50.0	45.0	45.0	40.0	35.0	45.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0
	無回答	(1)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(16)	50.0	25.0	18.8	43.8	50.0	56.3	37.5	43.8	43.8	43.8	50.0	56.3	50.0	37.5	18.8	31.3	0.0	12.5
	３年～５年未満	(11)	90.9	18.2	18.2	63.6	54.5	63.6	36.4	63.6	54.5	63.6	45.5	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
	５年～10 年未満	(22)	59.1	13.6	9.1	54.5	68.2	63.6	18.2	50.0	36.4	50.0	50.0	40.9	31.8	31.8	4.5	13.6	4.5	4.5
	10 年～15 年未満	(17)	70.6	23.5	5.9	47.1	58.8	52.9	23.5	52.9	47.1	41.2	41.2	29.4	41.2	47.1	0.0	17.6	0.0	5.9
	15 年～20 年未満	(45)	62.2	28.9	15.6	62.2	73.3	66.7	35.6	62.2	55.6	55.6	57.8	51.1	53.3	44.4	20.0	24.4	2.2	2.2
	20 年～30 年未満	(56)	57.1	25.0	19.6	58.9	62.5	60.7	30.4	55.4	44.6	55.4	46.4	50.0	53.6	33.9	12.5	17.9	0.0	7.1
	30 年以上	(98)	60.2	16.3	10.2	37.8	58.2	61.2	27.6	56.1	41.8	37.8	43.9	30.6	35.7	30.6	9.2	15.3	6.1	5.1
	無回答	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑤むつ市の今後のまちづくりについて【問 20～23】

問20　全国的に人口減少が課題とされるなかで、むつ市の人口も直近10年間で約9千人減少しています。むつ市の人口減少が、地域や生活にどのような影響を与えていると感じますか。【MA】

むつ市の人口減少が地域や生活に与えている影響については、「若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる」と回答した方の割合が53.7%で最も高く、次いで、「地域経済や雇用の場が縮小している」が52.0%、「公共交通が不便になっている」が35.2%となっています。



「その他」の回答

- 地域経済や雇用の低下原因の税金を減らすべき(国全体)。
- 魅力あるむつ市アピール移住者確保
- 人口が減少しているのは、むつ市に居ても先が見えないと感じる若い人達が、都会に進学したのちに地元に戻って来ないと言うのがあると感じる。
- 全部ですね。
- 祭りや地域行事以外での地域活性化が失われていると思います。
- 映画館、遊び場の少なさ
- むつ市の魅力を感じられない。
- 障害者福祉がまだ充実してない。
- 市立病院医療従事者の充実、診察待ち時間の短縮。
- わからない。
- このままでいい。
- よく分からない。

年代・居住年数等で異なる人口減少の市民生活への影響に対する認識
―現役世代は交通・雇用への影響を強く意識する一方、居住年数15～20年未満および20～30年未満では将来不安や地域機能低下（学校統廃合、若年層流出）を強く意識―

むつ市の人口減少が地域や生活に与えている影響について、年代別にみると、30代で「祭りや地域行事が縮小し地域の活気が失われている」が26.5%、40代で「地域経済や雇用の場が縮小している」が63.1%、50代で「公共交通が不便になっている」が47.5%、60代で「公共交通が不便になっている」が45.2%、「空き家・空き地が増え景観や治安が悪化している」が41.8%で全体と比較して高くなっています。一方で、20代で「医療や介護サービスが縮小している」が17.0%、80代以上で「若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる」が43.2%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる」が66.7%、「農林畜水産業の担い手が不足している」が40.4%、大畑地区で「空き家・空き地が増え景観や治安が悪化している」が45.7%で全体と比較して高くなっています。

家族構成別にみると、３世帯が同居（親と子と孫）で「こどもの減少で学校などの統廃合が進んでいる」が47.8%で全体と比較して高くなっています。一方で、ひとり暮らしで「若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる」で42.4%、「地域経済や雇用の場が縮小している」で41.7%、「こどもの減少で学校などの統廃合が進んでいる」が21.6%で低くなっています。

居住年数別にみると、15年～20年未満で「こどもの減少で学校などの統廃合が進んでいる」が42.6%、20年～30年未満で「若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる」が65.0%で全体と比較

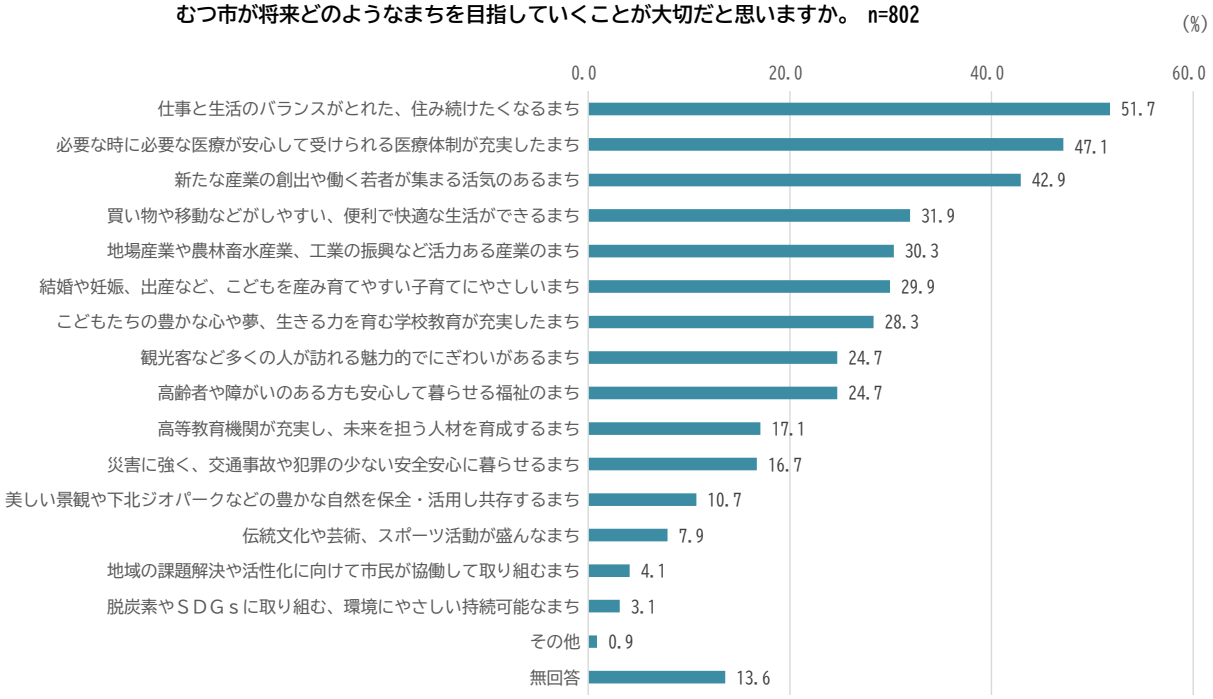
して高くなっています。一方で、５年～10年未満で「地域経済や雇用の場が縮小している」が41.9%、「若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる」が38.7%で低くなっています。

【クロス集計：むつ市の人口減少が地域や生活に与えている影響】

		全体	地域経済や雇用の場が縮小している	農林畜水産業の担い手が不足している	若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる	高齢者を支える人材が不足している	医療や介護サービスが縮小している	公共交通が不便になっている	空き家・空き地が増え景観や治安が悪化している	地域の防災力が低下している	こどもの減少で学校などの統廃合が進んでいる	地域のコミュニティや人間関係が希薄になっている	祭りや地域行事が縮小し地域の活気が失われている	地域の文化や伝統が受け継がれにくくなっている	インフラ（道路・水道など）の維持が難しくなっている	今のところ特に影響を感じていない	無回答	その他
全体		(802)	52.0	26.1	53.7	33.9	32.0	35.2	30.9	3.0	32.5	10.2	16.1	7.5	10.2	2.1	14.3	1.5
性別	男性	(364)	56.0	29.4	52.5	28.3	28.8	33.2	29.4	3.0	34.1	11.0	18.4	6.6	12.9	1.1	14.0	2.2
	女性	(429)	49.2	23.5	55.0	38.5	35.2	36.8	32.6	3.0	31.5	9.8	14.5	8.2	8.2	3.0	14.2	0.9
	その他	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(8)	25.0	12.5	50.0	50.0	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
年代	10 代	(24)	33.3	25.0	75.0	41.7	45.8	33.3	25.0	0.0	50.0	12.5	20.8	16.7	8.3	4.2	4.2	0.0
	20 代	(47)	46.8	31.9	48.9	38.3	17.0	25.5	27.7	4.3	34.0	10.6	21.3	2.1	8.5	8.5	0.0	4.3
	30 代	(83)	56.6	30.1	62.7	27.7	37.3	34.9	33.7	2.4	39.8	7.2	26.5	10.8	7.2	1.2	2.4	0.0
	40 代	(111)	63.1	25.2	60.4	36.0	35.1	27.9	25.2	0.9	31.5	9.9	20.7	7.2	9.0	0.0	4.5	3.6
	50 代	(120)	56.7	26.7	54.2	38.3	35.8	47.5	25.0	2.5	40.0	10.8	20.8	9.2	13.3	1.7	10.0	2.5
	60 代	(146)	57.5	19.9	53.4	39.7	34.9	45.2	41.8	2.7	28.1	11.6	10.3	4.1	13.7	2.1	15.8	0.7
	70 代	(179)	43.0	29.1	49.2	28.5	30.2	30.2	31.3	4.5	29.1	10.6	12.3	8.4	9.5	0.6	25.7	0.0
	80 代以上	(88)	44.3	23.9	43.2	27.3	22.7	26.1	28.4	4.5	23.9	9.1	6.8	5.7	8.0	4.5	29.5	2.3
	無回答	(4)	50.0	25.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(641)	51.5	25.3	52.0	33.5	31.8	33.5	29.6	3.0	31.0	10.6	15.6	5.8	10.5	2.3	15.1	1.4
	川内地区	(57)	50.9	40.4	66.7	31.6	36.8	38.6	26.3	0.0	38.6	7.0	24.6	14.0	7.0	1.8	10.5	0.0
	大畑地区	(70)	58.6	18.6	58.6	31.4	34.3	42.9	45.7	4.3	38.6	12.9	14.3	14.3	12.9	1.4	11.4	4.3
	脇野沢地区	(16)	37.5	56.3	68.8	43.8	25.0	62.5	43.8	6.3	37.5	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0
	無回答	(18)	61.1	11.1	44.4	55.6	22.2	27.8	22.2	5.6	38.9	5.6	16.7	22.2	5.6	0.0	16.7	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(139)	41.7	23.0	42.4	31.7	24.5	34.5	30.9	1.4	21.6	7.9	10.8	5.0	7.9	2.2	21.6	2.2
	夫婦のみ	(233)	52.4	27.0	56.2	36.9	36.9	41.2	36.1	3.9	30.0	12.4	13.7	4.3	12.4	1.7	15.0	0.9
	２世代が同居（親と子）	(334)	56.6	26.9	56.9	33.2	32.3	33.2	28.4	3.3	36.5	10.2	20.4	8.7	9.0	2.4	10.5	1.5
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	58.7	23.9	60.9	28.3	34.8	30.4	28.3	4.3	47.8	10.9	19.6	13.0	13.0	0.0	10.9	4.3
	その他	(44)	38.6	22.7	45.5	29.5	27.3	22.7	25.0	0.0	29.5	4.5	11.4	13.6	13.6	4.5	22.7	0.0
	無回答	(6)	66.7	50.0	50.0	83.3	16.7	50.0	33.3	0.0	66.7	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	39.1	21.7	73.9	17.4	13.0	43.5	21.7	0.0	30.4	4.3	13.0	4.3	4.3	4.3	8.7	4.3
	３年～５年未満	(14)	78.6	42.9	64.3	35.7	42.9	28.6	35.7	0.0	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0
	５年～10 年未満	(31)	41.9	19.4	38.7	38.7	41.9	32.3	35.5	0.0	29.0	6.5	16.1	3.2	6.5	0.0	9.7	0.0
	10 年～15 年未満	(20)	60.0	45.0	55.0	30.0	45.0	30.0	30.0	0.0	45.0	5.0	30.0	20.0	20.0	0.0	5.0	0.0
	15 年～20 年未満	(54)	42.6	29.6	61.1	37.0	33.3	38.9	24.1	0.0	42.6	5.6	18.5	11.1	13.0	3.7	1.9	0.0
	20 年～30 年未満	(100)	54.0	29.0	65.0	39.0	29.0	33.0	33.0	4.0	41.0	10.0	23.0	6.0	10.0	3.0	4.0	3.0
	30 年以上	(557)	52.4	24.6	50.8	33.0	32.1	35.4	31.4	3.6	29.8	11.5	14.5	7.2	10.2	1.6	18.7	1.4
	無回答	(3)	100.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

問21　あなたは、むつ市が将来どのようなまちを目指していくことが大切だと思いますか。【MA】

むつ市が将来目指すべきまちについては、「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」と回答した方の割合が51.7%で最も高く、次いで、「必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち」が47.1%、「新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち」が42.9%となっています。



「その他」の回答

- むつ市の人間は保守的で陰湿なので外から人が入ってくることはない。ジムに行けるバスが増えればそれで良い。
- いいですね、全部です
- 生涯勉強を念頭に、学びたいにストイックであれるまち
- 過疎の一途をたどろうと栄えようと土地に敬いを持って、個々人が美しく保とうとしたほうが良いと思う(ゴミのポイ捨てが多いから…)。
- 将来なくていい。

年代・居住年数等により異なる将来のまちづくり像の捉え方
―若者・子育て世代は仕事と生活の両立や教育・子育てを重視、高年層では医療体制を重視。川内地区や三世代同居世帯では学校教育への期待が高く、居住年数が短い層や中程度の層では「仕事と生活の両立」「教育」「子育て」「自然・文化」など生活環境全般を意識―

むつ市が将来目指すべきまちについて、年代別にみると、20代で「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が63.8%、「結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち」が46.8%、「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が40.4%で全体と比較して高くなっている一方、「必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち」が31.9%で低くなっています。30代では、「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が63.9%、「結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち」が55.4%、「こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち」が44.6%で全体と比較して高くなっている一方、「新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち」が32.5%で低くなっています。また、40代では「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が65.8%、50代では「必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち」が57.5%でそれぞれ全体と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち」が38.6%で全体と比較して高くなっている一方、「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が14.0%で低くなっています。

家族構成別にみると、３世帯が同居（親と子と孫）で「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が65.2%、「こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち」が43.5%で全体と比較して高くなっています。

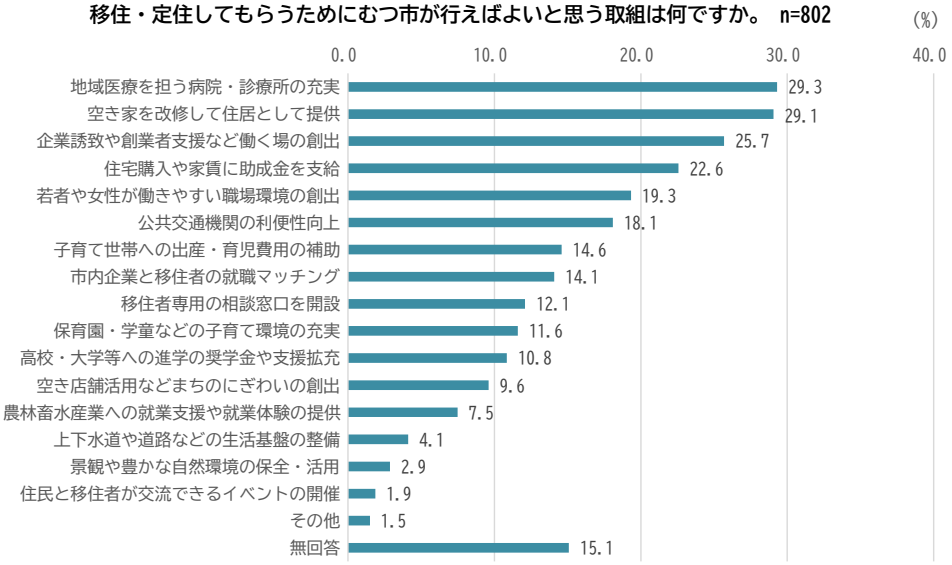
居住年数別にみると、５年～10年未満で「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が67.7%、「こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち」が38.7%で全体と比較して高くなっている一方、「地場産業や農林畜水産業、工業の振興など活力ある産業のまち」が16.1%、「高等教育機関が充実し、未来を担う人材を育成するまち」が6.5%で低くなっています。また、15年～20年未満では、「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が66.7%、「こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち」が46.3%、「結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち」が40.7%、「美しい景観や下北ジオパークなどの豊かな自然を保全・活用し共存するまち」が22.2%、「伝統文化や芸術、スポーツ活動が盛んなまち」が18.5%で全体と比較して高くなっています。

【クロス集計：むつ市が将来目指すべきまち】

		全体	地場産業や農林畜水産業、工業の振興など活力ある産業のまち	新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち	観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち	仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち	美しい景観や下北ジオパークなどの豊かな自然を保全・活用し共存するまち	脱炭素やＳＤＧｓに取り組む、環境にやさしい持続可能なまち	こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち	高等教育機関が充実し、未来を担う人材を育成するまち	伝統文化や芸術、スポーツ活動が盛んなまち	結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち	必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち	高齢者や障がいのある方も安心して暮らせる福祉のまち	買い物や移動などがしやすい、便利で快適な生活ができるまち	災害に強く、交通事故や犯罪の少ない安全安心に暮らせるまち	地域の課題解決や活性化に向けて市民が協働して取り組むまち	無回答	その他
全体		(802)	30.3	42.9	24.7	51.7	10.7	3.1	28.3	17.1	7.9	29.9	47.1	24.7	31.9	16.7	4.1	13.6	0.9
性別	男性	(364)	34.3	47.3	25.8	50.8	9.9	3.0	27.2	15.9	9.9	29.1	41.2	21.2	29.4	16.8	5.2	14.3	1.4
	女性	(429)	27.0	39.6	24.0	53.1	11.7	3.3	29.4	18.4	6.1	30.8	52.7	27.3	34.0	17.0	3.3	12.4	0.5
	その他	(1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(8)	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	25.0	37.5	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
年代	10 代	(24)	12.5	37.5	37.5	58.3	25.0	8.3	54.2	37.5	20.8	54.2	33.3	12.5	33.3	4.2	4.2	4.2	4.2
	20 代	(47)	27.7	44.7	40.4	63.8	12.8	0.0	36.2	17.0	6.4	46.8	31.9	23.4	34.0	17.0	0.0	0.0	4.3
	30 代	(83)	30.1	32.5	28.9	63.9	13.3	4.8	44.6	13.3	9.6	55.4	54.2	19.3	37.3	10.8	6.0	1.2	1.2
	40 代	(111)	31.5	51.4	28.8	65.8	8.1	0.9	36.0	22.5	8.1	32.4	46.8	15.3	25.2	9.0	2.7	4.5	0.9
	50 代	(120)	28.3	46.7	31.7	54.2	7.5	0.8	22.5	15.0	10.0	25.8	57.5	28.3	41.7	20.8	6.7	8.3	0.0
	60 代	(146)	29.5	45.9	21.2	52.1	10.3	2.7	25.3	16.4	6.2	25.3	49.3	28.1	33.6	21.2	3.4	15.1	0.7
	70 代	(179)	36.9	39.1	17.9	40.2	11.2	5.0	20.7	14.5	5.6	20.7	42.5	25.1	27.9	19.0	3.4	26.3	0.0
	80 代以上	(88)	25.0	39.8	13.6	35.2	11.4	4.5	20.5	18.2	6.8	17.0	43.2	34.1	25.0	17.0	5.7	26.1	1.1
	無回答	(4)	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(641)	28.7	42.7	25.9	50.5	10.9	2.7	27.3	17.5	7.3	29.8	46.3	24.8	30.3	16.8	4.1	14.4	0.9
	川内地区	(57)	38.6	42.1	14.0	61.4	10.5	3.5	38.6	15.8	7.0	28.1	49.1	19.3	31.6	15.8	5.3	12.3	0.0
	大畑地区	(70)	32.9	41.4	25.7	55.7	11.4	7.1	30.0	17.1	8.6	34.3	50.0	25.7	38.6	15.7	4.3	10.0	1.4
	脇野沢地区	(16)	31.3	37.5	31.3	56.3	6.3	0.0	31.3	12.5	6.3	18.8	56.3	31.3	68.8	31.3	0.0	6.3	0.0
	無回答	(18)	50.0	61.1	5.6	44.4	5.6	5.6	22.2	11.1	27.8	33.3	50.0	27.8	33.3	5.6	5.6	11.1	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(139)	25.2	36.7	20.1	44.6	12.2	1.4	16.5	12.2	6.5	15.1	40.3	25.9	33.1	18.7	4.3	20.9	1.4
	夫婦のみ	(233)	33.0	45.1	22.7	44.2	11.2	1.7	29.6	15.9	7.3	30.9	51.1	30.5	31.3	20.2	4.7	14.6	0.9
	２世代が同居（親と子）	(334)	32.0	44.6	26.6	59.3	9.3	4.5	31.1	19.5	8.4	35.6	48.5	21.3	33.2	13.5	3.6	9.6	0.3
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	28.3	43.5	30.4	65.2	15.2	4.3	43.5	26.1	4.3	34.8	41.3	21.7	23.9	15.2	2.2	10.9	2.2
	その他	(44)	20.5	34.1	25.0	45.5	11.4	4.5	18.2	13.6	13.6	20.5	40.9	18.2	31.8	18.2	4.5	20.5	2.3
	無回答	(6)	33.3	66.7	50.0	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	50.0	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	26.1	43.5	52.2	43.5	13.0	0.0	21.7	21.7	17.4	34.8	21.7	13.0	30.4	8.7	0.0	8.7	4.3
	３年～５年未満	(14)	28.6	50.0	21.4	85.7	14.3	0.0	42.9	14.3	7.1	50.0	42.9	21.4	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0
	５年～10 年未満	(31)	16.1	41.9	32.3	67.7	9.7	0.0	38.7	6.5	9.7	35.5	54.8	16.1	32.3	9.7	0.0	9.7	0.0
	10 年～15 年未満	(20)	55.0	35.0	20.0	70.0	5.0	0.0	40.0	40.0	5.0	50.0	60.0	5.0	30.0	10.0	0.0	5.0	0.0
	15 年～20 年未満	(54)	22.2	38.9	29.6	66.7	22.2	3.7	46.3	25.9	18.5	40.7	40.7	18.5	40.7	7.4	3.7	1.9	1.9
	20 年～30 年未満	(100)	33.0	47.0	34.0	54.0	11.0	2.0	34.0	22.0	9.0	33.0	48.0	28.0	31.0	22.0	4.0	3.0	2.0
	30 年以上	(557)	30.3	42.7	21.4	48.1	9.7	3.8	24.2	15.1	6.1	26.4	47.9	26.4	31.6	17.4	4.5	17.8	0.5
	無回答	(3)	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問22　移住･定住してもらうためにむつ市が行えばよいと思う取組は何ですか。【MA】

むつ市に移住・定住してもらうために行うべき取組については、「地域医療を担う病院・診療所の充実」と回答した方の割合が 29.3%で最も高く、次いで、「空き家を改修して住居として提供」が29.1%、「企業誘致や創業者支援など働く場の創出」が 25.7%となっています。



「その他」の回答

- 移住支援をした所で、就業してからの賃金が都会に比べると半分とは言わないが少ないので、住み続けるための補償が必要だと感じる。
- 移住は無理だと思います。
- 産業革命を興すべき
- 電力関連企業や国等から入ってくるお金をもっと市民に還元していただきたい。
- 就職氷河期世代の雇用の充実
- ありません。
- 労働基準法遵守(除雪時間は勤務時間に含まれる、健康診断は義務など)。
- 誰も来ない。
- しなくていい。
- 高齢なのであまり考えた事がない。

年代・居住年数等により異なる移住・定住促進策の重視点
―若年層は交通など生活基盤の確保や子育て住環境に直結する施策を重視。居住年数が短い層や中程度の層で住宅・子育て・医療支援など、居住の長期化に伴い関心が生活の安心へ移行―

むつ市に移住・定住してもらうために行うべき取組について、年代別にみると、20代で「公共交通機関の利便性向上」が29.8%、30代で「住宅購入や家賃に助成金を支給」が43.4%、「子育て世帯への出産・育児費用の補助」が38.6%、40代で「空き家を改修して住居として提供」が43.2%で、それぞれ全体と比較して高くなっています。

家族構成別にみると、３世帯が同居（親と子と孫）で「高校・大学等への進学の奨学金や支援拡充」が21.7%で全体と比較して高くなっています。

居住年数別にみると、５年～10年未満で「住宅購入や家賃に助成金を支給」が48.4%、「子育て世帯への出産・育児費用の補助」が25.8%、「保育園・学童などの子育て環境の充実」が22.6%で全体と比較して高くなっている一方、「若者や女性が働きやすい職場環境の創出」が6.5%で低くなっています。また、15年～20年未満では、「子育て世帯への出産・育児費用の補助」が31.5%、「高校・大学等への進学の奨学金や支援拡充」が27.8%、「保育園・学童などの子育て環境の充実」が22.2%で高くなっている一方、「地域医療を担う病院・診療所の充実」が13.0%で低くなっています。20年～30年未満では、「地域医療を担う病院・診療所の充実」が40.0%で全体と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

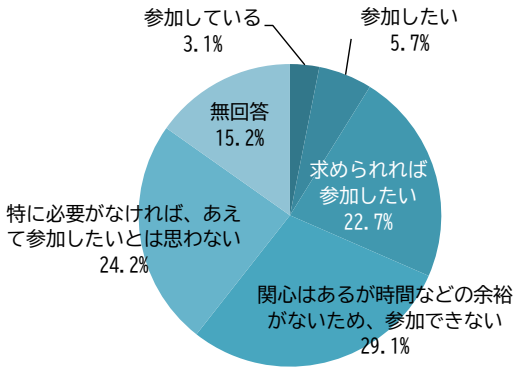
【クロス集計：むつ市に移住・定住してもらうために行うべき取組】

		全体	移住者専用の相談窓口を開設	空き家を改修して住居として提供	住宅購入や家賃に助成金を支給	市内企業と移住者の就職マッチング	企業誘致や創業者支援など働く場の創出	農林畜水産業への就業支援や就業体験の提供	地域医療を担う病院・診療所の充実	子育て世帯への出産・育児費用の補助	保育園・学童などの子育て環境の充実	高校・大学等への進学の奨学金や支援拡充	若者や女性が働きやすい職場環境の創出	公共交通機関の利便性向上	上下水道や道路などの生活基盤の整備	景観や豊かな自然環境の保全・活用	空き店舗活用などまちのにぎわいの創出	住民と移住者が交流できるイベントの開催	無回答	その他
全体		(802)	12.1	29.1	22.6	14.1	25.7	7.5	29.3	14.6	11.6	10.8	19.3	18.1	4.1	2.9	9.6	1.9	15.1	1.5
性別	男性	(364)	13.5	24.7	23.4	13.5	28.0	8.2	27.7	13.7	13.7	11.0	18.4	16.5	4.9	3.6	7.4	1.9	14.3	2.2
	女性	(429)	10.7	33.3	22.4	14.7	24.0	6.8	30.8	15.6	10.0	11.0	20.0	19.8	3.3	2.3	11.7	1.9	14.9	0.9
	その他	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(8)	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
年代	10代	(24)	12.5	37.5	29.2	12.5	25.0	4.2	8.3	41.7	37.5	37.5	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	0.0
	20代	(47)	12.8	31.9	29.8	19.1	17.0	6.4	12.8	21.3	12.8	17.0	23.4	29.8	2.1	6.4	17.0	2.1	0.0	4.3
	30代	(83)	6.0	34.9	43.4	14.5	19.3	8.4	30.1	38.6	19.3	10.8	16.9	13.3	3.6	2.4	8.4	2.4	1.2	2.4
	40代	(111)	7.2	43.2	31.5	15.3	26.1	10.8	24.3	18.9	10.8	18.9	17.1	13.5	1.8	3.6	10.8	0.9	5.4	1.8
	50代	(120)	11.7	27.5	24.2	15.8	29.2	6.7	35.0	10.0	11.7	9.2	20.0	22.5	5.8	3.3	15.0	0.0	10.0	1.7
	60代	(146)	15.1	27.4	21.9	16.4	28.8	8.2	33.6	7.5	11.0	8.2	21.2	16.4	4.1	0.7	8.2	2.1	16.4	1.4
	70代	(179)	15.1	25.1	10.6	11.2	25.1	5.6	30.7	7.8	7.3	5.0	17.9	21.2	6.1	3.4	8.4	2.2	27.9	0.0
	80代以上	(88)	11.4	15.9	8.0	9.1	27.3	6.8	31.8	6.8	8.0	9.1	22.7	15.9	2.3	3.4	5.7	2.3	30.7	2.3
	無回答	(4)	50.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(641)	11.7	28.4	22.8	14.2	25.4	6.1	28.7	14.4	12.2	10.3	19.5	18.4	3.9	2.8	9.7	1.9	15.9	1.6
	川内地区	(57)	8.8	38.6	21.1	14.0	24.6	14.0	38.6	17.5	5.3	15.8	14.0	14.0	3.5	5.3	7.0	1.8	12.3	0.0
	大畑地区	(70)	17.1	34.3	21.4	11.4	24.3	10.0	25.7	17.1	12.9	12.9	17.1	17.1	8.6	0.0	10.0	2.9	12.9	2.9
	脇野沢地区	(16)	6.3	6.3	25.0	12.5	25.0	18.8	37.5	12.5	12.5	6.3	31.3	31.3	0.0	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0
	無回答	(18)	22.2	22.2	22.2	22.2	44.4	16.7	27.8	5.6	5.6	11.1	27.8	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(139)	12.2	19.4	20.9	12.2	20.1	5.8	21.6	11.5	6.5	6.5	15.8	23.7	7.9	4.3	7.2	2.2	22.3	2.9
	夫婦のみ	(233)	14.2	27.9	18.0	15.0	27.0	7.7	35.6	7.3	13.7	8.6	22.7	18.5	4.7	3.0	9.9	2.1	15.9	0.4
	２世代が同居（親と子）	(334)	10.2	33.8	27.2	14.1	29.3	8.7	30.2	19.5	11.4	13.8	18.3	16.5	3.3	1.8	9.9	1.8	11.1	1.2
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	10.9	34.8	23.9	15.2	19.6	4.3	19.6	21.7	13.0	21.7	26.1	13.0	0.0	4.3	13.0	0.0	10.9	4.3
	その他	(44)	15.9	25.0	18.2	11.4	11.4	4.5	20.5	20.5	18.2	4.5	11.4	15.9	0.0	4.5	9.1	2.3	22.7	2.3
	無回答	(6)	16.7	16.7	0.0	33.3	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	8.7	30.4	26.1	26.1	30.4	4.3	13.0	26.1	4.3	13.0	13.0	30.4	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0
	３年～５年未満	(14)	7.1	42.9	28.6	14.3	21.4	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	28.6	21.4	0.0	0.0	28.6	7.1	0.0	0.0
	５年～10年未満	(31)	9.7	38.7	48.4	19.4	19.4	0.0	19.4	25.8	22.6	12.9	6.5	16.1	3.2	0.0	3.2	0.0	9.7	0.0
	10年～15年未満	(20)	15.0	25.0	40.0	20.0	25.0	15.0	20.0	20.0	15.0	15.0	25.0	15.0	5.0	5.0	10.0	0.0	5.0	0.0
	15年～20年未満	(54)	13.0	38.9	31.5	14.8	24.1	7.4	13.0	31.5	22.2	27.8	18.5	20.4	1.9	1.9	7.4	3.7	1.9	1.9
	20年～30年未満	(100)	11.0	27.0	26.0	13.0	25.0	7.0	40.0	14.0	10.0	12.0	27.0	20.0	1.0	5.0	11.0	2.0	7.0	2.0
	30年以上	(557)	12.2	27.8	18.9	13.1	26.0	7.5	30.9	11.5	10.1	8.6	18.3	17.2	5.0	2.7	9.9	1.8	19.2	1.6
	無回答	(3)	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問23　あなたは、「まちづくり」の取組や活動などに参加したいと思いますか。【SA】

「まちづくり」の取組や活動などへの参加意向については、「関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない」と回答した方の割合が29.1%で最も高く、次いで、「特に必要がなければ、あえて参加したいとは思わない」が24.2%、「求められれば参加したい」が22.7%となっています。

「まちづくり」の取組や活動などに参加したいと思いますか。
n=802



年代・家族構成・居住年数等により異なるまちづくり活動への参加意向
―50代では時間的制約が課題となる一方、居住年数15～20年未満では参加のきっかけを待つ姿勢、呼びかけ次第で参加が期待される―

「まちづくり」の取組や活動などへの参加意向について、年代別にみると、50代で「関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない」が40.0%で全体と比較して高くなっています。

家族構成別にみると、３世代同居（親と子と孫）で「特に必要がなければ、あえて参加したいとは思わない」が8.7%で全体と比較して低くなっています。

居住年数別にみると、15年～20年未満は、「求められれば参加したい」が33.3%で全体と比較して高くなっています。

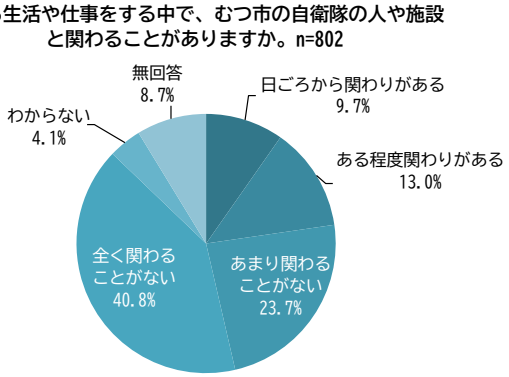
【クロス集計：「まちづくり」の取組や活動などへの参加意向】

		全体	参加している	参加したい	求められれば参加したい	関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない	特に必要がなければ、あえて参加したいとは思わない	無回答
全体		(802)	3.1	5.7	22.7	29.1	24.2	15.2
性別	男性	(364)	4.1	8.2	25.3	26.9	20.6	14.8
	女性	(429)	2.3	3.7	20.5	31.0	27.5	14.9
	その他	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(8)	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	50.0
年代	10代	(24)	8.3	12.5	41.7	16.7	16.7	4.2
	20代	(47)	6.4	10.6	29.8	27.7	25.5	0.0
	30代	(83)	2.4	7.2	21.7	38.6	28.9	1.2
	40代	(111)	3.6	5.4	25.2	32.4	28.8	4.5
	50代	(120)	2.5	6.7	20.8	40.0	20.8	9.2
	60代	(146)	3.4	8.2	22.6	28.1	21.9	15.8
	70代	(179)	2.2	1.7	22.9	20.1	24.6	28.5
	80代以上	(88)	2.3	3.4	14.8	22.7	22.7	34.1
	無回答	(4)	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
居住地区	むつ地区	(641)	2.8	6.4	22.6	28.5	23.2	16.4
	川内地区	(57)	1.8	1.8	21.1	36.8	28.1	10.5
	大畑地区	(70)	7.1	4.3	24.3	21.4	31.4	11.4
	脇野沢地区	(16)	0.0	0.0	31.3	31.3	31.3	6.3
	無回答	(18)	5.6	5.6	16.7	50.0	11.1	11.1
家族構成	ひとり暮らし	(139)	2.9	5.8	18.0	25.9	25.2	22.3
	夫婦のみ	(233)	3.9	5.6	21.5	30.5	22.3	16.3
	２世代が同居（親と子）	(334)	2.4	5.7	24.9	29.3	26.3	11.4
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	6.5	8.7	32.6	34.8	8.7	8.7
	その他	(44)	2.3	4.5	15.9	22.7	31.8	22.7
	無回答	(6)	0.0	0.0	33.3	33.3	16.7	16.7
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	4.3	13.0	13.0	39.1	21.7	8.7
	３年～５年未満	(14)	14.3	21.4	14.3	28.6	21.4	0.0
	５年～10年未満	(31)	0.0	6.5	32.3	35.5	16.1	9.7
	10年～15年未満	(20)	5.0	0.0	30.0	45.0	15.0	5.0
	15年～20年未満	(54)	3.7	9.3	33.3	20.4	31.5	1.9
	20年～30年未満	(100)	4.0	10.0	21.0	32.0	26.0	7.0
	30年以上	(557)	2.7	4.1	21.9	27.6	24.2	19.4
	無回答	(3)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

⑥むつ市内に配置されている自衛隊について【問24・25】

問24　あなたは日ごろ生活や仕事をする中で、むつ市の自衛隊の人や施設と関わることがありますか。【SA】

日ごろ生活や仕事をする中での、むつ市の自衛隊の人や施設と関わりの有無については、「全く関わることがない」と回答した方の割合が40.8%で最も高く、次いで、「あまり関わることがない」が23.7%、「ある程度関わりがある」が13.0%となっています。



年代・居住地区・居住年数等により異なる自衛隊との関わり
―20～30代や居住年数5～10年未満では日常的な関わりがみられる一方、川内・大畑地区では接点が少ない傾向―

日ごろ生活や仕事をする中での、むつ市の自衛隊の人や施設と関わりの有無について、年代別にみると、20代・30代で「日ごろから関わりがある」がそれぞれ21.3%、22.9%で全体と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、川内地区・大畑地区で「全く関わることがない」がそれぞれ52.6%、52.9%で全体と比較して高くなっています。

居住年数別にみると、５年～10年未満は、「日ごろから関わりがある」が32.3%で全体と比較して高くなっている一方、「あまり関わることがない」が12.9%で低くなっています。

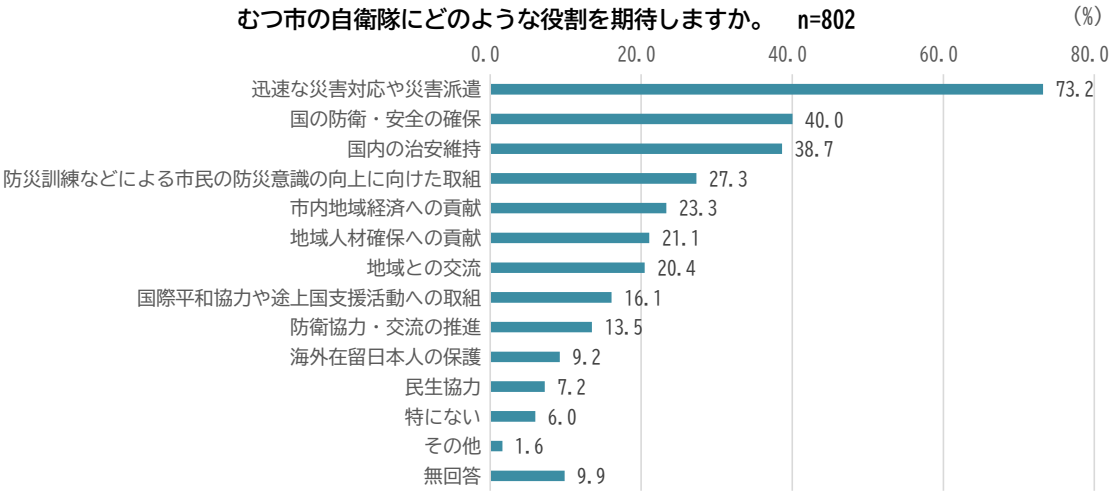
家族構成別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：日ごろ生活や仕事をする中での、むつ市の自衛隊の人や施設と関わりの有無】

		全体	日ごろから関わりがある	ある程度関わりがある	あまり関わることがない	全く関わることがない	わからない	無回答
全体		(802)	9.7	13.0	23.7	40.8	4.1	8.7
性別	男性	(364)	14.3	15.7	23.1	36.0	3.0	8.0
	女性	(429)	6.1	10.7	23.8	45.2	4.9	9.3
	その他	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無回答	(8)	0.0	12.5	50.0	12.5	12.5	12.5
年齢	10代	(24)	16.7	8.3	29.2	29.2	12.5	4.2
	20代	(47)	21.3	12.8	19.1	40.4	6.4	0.0
	30代	(83)	22.9	13.3	25.3	32.5	6.0	0.0
	40代	(111)	11.7	10.8	25.2	48.6	1.8	1.8
	50代	(120)	13.3	17.5	26.7	37.5	2.5	2.5
	60代	(146)	6.8	15.8	20.5	44.5	2.1	10.3
	70代	(179)	2.2	11.2	26.3	38.5	4.5	17.3
	80代以上	(88)	2.3	8.0	17.0	45.5	6.8	20.5
	無回答	(4)	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(641)	11.2	14.5	23.2	37.8	3.7	9.5
	川内地区	(57)	1.8	3.5	29.8	52.6	5.3	7.0
	大畑地区	(70)	5.7	5.7	21.4	52.9	7.1	7.1
	脇野沢地区	(16)	0.0	12.5	12.5	75.0	0.0	0.0
	無回答	(18)	5.6	16.7	38.9	33.3	5.6	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(139)	10.8	7.2	18.0	40.3	8.6	15.1
	夫婦のみ	(233)	8.2	20.6	26.2	34.8	2.6	7.7
	２世代が同居（親と子）	(334)	11.1	10.8	24.9	44.6	2.4	6.3
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	8.7	13.0	30.4	34.8	2.2	10.9
	その他	(44)	6.8	6.8	11.4	52.3	13.6	9.1
	無回答	(6)	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	34.8	13.0	8.7	39.1	4.3	0.0
	３年～５年未満	(14)	28.6	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0
	５年～10年未満	(31)	32.3	6.5	12.9	35.5	6.5	6.5
	10年～15年未満	(20)	10.0	10.0	40.0	35.0	0.0	5.0
	15年～20年未満	(54)	14.8	11.1	24.1	37.0	11.1	1.9
	20年～30年未満	(100)	12.0	10.0	27.0	42.0	4.0	5.0
	30年以上	(557)	6.1	14.0	23.9	41.5	3.6	11.0
	無回答	(3)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

問25 あなたは、むつ市の自衛隊にどのような役割を期待しますか。【MA】

むつ市の自衛隊に期待する役割については、「迅速な災害対応や災害派遣」と回答した方の割合が73.2%で最も高く、次いで、「国の防衛・安全の確保」が40.0%、「国内の治安維持」が38.7%となっています。



「その他」の回答

- 不問
- 本来業務に支障をきたすような過度な民政協力や支援を求めるべきではない。自衛官も日本国国民であり、むつ市民です。家族と過ごす休日に駆り出されるのは迷惑な部分もあります。
- 自衛隊に何をして欲しいとは思っていません、国を守るとの任務がありので、地域の事は市役所で行ってくれれば良いとおもいます。
- いつもお疲れ様です
- 有事の際の市内基地、関連施設の防衛と少なくともむつ市内の防衛。
- 自衛隊があるだけで、地域経済に貢献できていて、良いことである。
- むつ市のために努力して欲しい。
- 大湊地方隊創設 70 周年のイベント？に数年前参加してみて、とても楽しかったです。いつもありがとうございます。また行きたい！
- わかりません。
- 熊対策。
- 高齢者の除雪に関わってほしい。
- クマ対策

年代・居住年数等により異なる自衛隊に期待する役割
―20代は治安維持や地域交流を重視し、居住年数15～20年未満では防衛協力・国際的役割への期待が高い―

むつ市の自衛隊に期待する役割について、年代別にみると、20代で「国内の治安維持」が51.1%、「地域との交流（イベントや地域コミュニティ活動への参加、自衛隊グルメの魅力発信など）」が36.2%で全体と比較して高くなっています。

居住年数別にみると、15年～20年未満で「防衛協力・交流の推進（各国防衛当局との会談・協議や共同訓練の実施、防衛装備協力など）」が25.9%で全体と比較して高くなっています。また、５年～10年未満では、「国内の治安維持」が25.8%、「市内地域経済への貢献（防衛関連産業の新規誘致や地元企業の受注機会の拡大など）」が12.9%で全体と比較して低くなっています。

居住年数別・家族構成別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：むつ市の自衛隊に期待する役割】

		全体	迅速な災害対応や災害派遣（災害の時の救援活動や緊急の患者輸送など）	防災訓練などによる市民の防災意識の向上に向けた取組	市内地域経済への貢献（防衛関連産業の新規誘致や地元企業の受注機会の拡大など）	地域との交流（イベントや地域コミュニティ活動への参加、自衛隊グルメの魅力発信など）	民生協力（ジオパーク活動の推進、国民スポーツ大会への支援など）	地域人材確保への貢献（退職自衛官の地元での再就職など）	国内の治安維持	海外在留日本人の保護	国の防衛・安全の確保（周辺海空域における安全確保や民間船舶を海賊行為から防護する取組	国際平和協力や途上国支援活動への取組（国連ＰＫＯや国際緊急援助活動など）	防衛協力・交流の推進（各国防衛当局との会談・協議や共同訓練の実施、防衛装備協力など）	特にない	無回答	その他
全体		(802)	73.2	27.3	23.3	20.4	7.2	21.1	38.7	9.2	40.0	16.1	13.5	6.0	9.9	1.6
性別	男性	(364)	73.4	28.6	28.0	22.5	8.0	26.6	36.5	11.3	43.7	20.3	18.4	6.0	8.8	1.9
	女性	(429)	73.7	26.8	19.8	18.6	6.8	16.6	41.0	7.7	37.3	12.6	9.3	6.1	10.3	1.4
	その他	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	(8)	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
年齢	10 代	(24)	75.0	50.0	20.8	29.2	12.5	20.8	50.0	16.7	50.0	16.7	37.5	0.0	4.2	0.0
	20 代	(47)	78.7	29.8	21.3	36.2	8.5	12.8	51.1	4.3	48.9	23.4	23.4	10.6	0.0	2.1
	30 代	(83)	72.3	22.9	20.5	26.5	7.2	16.9	41.0	3.6	38.6	14.5	15.7	6.0	1.2	1.2
	40 代	(111)	76.6	26.1	22.5	17.1	5.4	12.6	35.1	7.2	39.6	11.7	10.8	10.8	1.8	1.8
	50 代	(120)	74.2	22.5	24.2	22.5	5.8	20.0	38.3	11.7	35.0	15.0	12.5	9.2	3.3	3.3
	60 代	(146)	78.8	26.0	28.8	20.5	7.5	28.1	42.5	15.8	47.9	23.3	14.4	2.1	9.6	1.4
	70 代	(179)	67.6	29.6	21.8	15.6	5.0	21.8	38.5	6.1	38.5	15.1	10.1	3.9	21.2	1.1
	80 代以上	(88)	65.9	29.5	21.6	14.8	13.6	27.3	25.0	9.1	30.7	11.4	10.2	5.7	21.6	1.1
	無回答	(4)	100.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(641)	72.4	26.7	23.4	20.9	7.2	20.6	36.7	9.0	39.9	16.1	13.3	5.6	10.8	1.6
	川内地区	(57)	73.7	28.1	24.6	14.0	10.5	15.8	45.6	5.3	33.3	19.3	19.3	7.0	7.0	1.8
	大畑地区	(70)	70.0	35.7	22.9	21.4	2.9	27.1	48.6	14.3	47.1	15.7	14.3	10.0	8.6	2.9
	脇野沢地区	(16)	93.8	12.5	12.5	12.5	6.3	18.8	31.3	6.3	31.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0
	無回答	(18)	94.4	27.8	27.8	27.8	16.7	33.3	55.6	11.1	44.4	16.7	11.1	0.0	0.0	0.0
家族構成	ひとり暮らし	(139)	64.7	20.9	22.3	22.3	5.8	19.4	33.1	7.9	36.7	18.0	10.1	5.8	17.3	4.3
	夫婦のみ	(233)	76.4	27.9	26.6	20.2	9.4	25.3	43.3	12.0	44.6	19.3	13.3	4.3	9.0	1.3
	２世代が同居（親と子）	(334)	76.0	28.4	22.8	20.4	6.0	18.3	38.0	7.8	38.3	13.5	14.4	6.6	7.5	0.9
	３世代が同居（親と子と孫）	(46)	65.2	30.4	19.6	19.6	8.7	26.1	34.8	2.2	37.0	13.0	15.2	6.5	8.7	2.2
	その他	(44)	68.2	34.1	18.2	15.9	6.8	18.2	36.4	15.9	43.2	13.6	15.9	11.4	9.1	0.0
	無回答	(6)	83.3	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	66.7	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
むつ市にお住まいになって何年になりますか？	１年～３年未満	(23)	78.3	30.4	30.4	34.8	13.0	21.7	39.1	4.3	52.2	30.4	26.1	4.3	0.0	8.7
	３年～５年未満	(14)	85.7	21.4	28.6	28.6	7.1	7.1	57.1	14.3	57.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0
	５年～10 年未満	(31)	71.0	22.6	12.9	19.4	9.7	12.9	25.8	6.5	38.7	16.1	12.9	12.9	6.5	0.0
	10 年～15 年未満	(20)	80.0	25.0	20.0	20.0	0.0	25.0	40.0	10.0	40.0	20.0	15.0	10.0	0.0	0.0
	15 年～20 年未満	(54)	79.6	37.0	20.4	24.1	9.3	18.5	46.3	13.0	46.3	13.0	25.9	3.7	1.9	0.0
	20 年～30 年未満	(100)	67.0	23.0	20.0	26.0	6.0	16.0	40.0	5.0	37.0	13.0	13.0	11.0	7.0	2.0
	30 年以上	(557)	72.9	27.6	24.6	18.3	7.2	22.8	37.9	9.9	39.0	16.5	11.8	5.0	12.4	1.6
	無回答	(3)	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑦むつ市の将来のまちづくりについての自由意見

むつ市の将来のまちづくりで、特に重要だと思っていることや日ごろ市政に関して考えていること、次世代に残していきたいまちの魅力や地域資源、オンライン化してほしい行政サービス・手続き、まちづくりへの提案やアイディアなど、ご自由に記入してください。【FA】

むつ市の将来のまちづくりについては、202 人より回答を得ました。産業振興・雇用創出や子育て・教育への支援による若者の定住促進、医療・福祉、交通・インフラの整備など生活環境の向上、地域の誇りや将来像の重要性などについて多くの意見が挙げられています。

主なポイントは以下のとおりです。

① 産業振興・雇用創出

むつ市における最大の課題の一つは、若者の流出と定住率の低さです。その背景には、地元に安定した雇用先が少ないことがあり、特に若年層やU・Iターン希望者にとって魅力的な職場が不足している、などの意見が多く挙げられています。

原子力関連以外の産業に依存しない多様な産業構造の構築が求められており、特に医薬品・半導体・水産業（養殖）・農業・観光業・IT関連などの分野での企業誘致が期待されています。また、大手物流企業やテーマパークの誘致など、大規模な雇用創出を見込める提案もありました。

さらに、起業支援や職業教育の充実（全寮制高校の設立など）を通じて、地元でのキャリア形成を支援する仕組みづくりが必要とされています。特に「出ていかないようにする」のではなく、一度むつ市を出ても「戻ってこられるまち」にするための政策が求められています。

また、在宅ワークや副業の推進、リモートワーク拠点の整備など、時代に合った働き方への対応も重要視されています。

▸主な意見（原文抜粋）
- 「むつ市の就職口や給与では次世代はむつ市に残らない。」
- 「企業の誘致、水産業の振興（養殖など）を積極的に進めてほしい。」
- 「若者がむつ市に帰って来たい！と思える様なまちづくりをしたい。」
- 「むつ市は働く場所が少なく、若者が市外に出ていってしまう現状があります。」
- 「当市周りの産業を見渡してもエネルギー関連産業が大を成してるので、それに付随した新規産業を更に積極的に進めて行き、市側が参加し営業利益を生み出して、それを財源に組み入れてもう少し細かい所まで豊かにしてほしい。」
- 「若者はいったん県外へ出て世の中を学び、むつに帰ってきて地域の古い考えを一新して欲しい。出ていくなではなくて、むつに戻ってこられるような政策があればよい。」
- 「やはり雇用が全てかなと思います。お金がなければ、自然の豊かさとか人が温かいとか、まやかしです。」
- 「むつ市の魅力を高めて、企業の考えを変えるような積極的な広報が大事。」
- 「個人で独立開業や起業しても続かないイメージがあります。起業を希望している人に対しての支援や、実際に起業している方の成功例などを気軽に知ることができるシステムが欲しいです。」
- 「むつ市にも若者が多くいる町、仕事があるむつ市になってほしい。」
- 「むつ市に勤め先があれば、県外に出た子どもが戻ってきて同居できるのにと、老々介護をしながら思います。」
- 「若者が働ける場を作ることが最優先だと思います。」
- 「むつ市には仕事がないので、転出は止められないと思います。」
- 「大企業の誘致を。災害に強い町づくりとともに、下北の独立性を高めるためにも必要。」
- 「むつ市の産業（まさかり共和国）として、農業・漁業・観光・エネルギーを柱にすべき。」

② 子育て・教育への支援

むつ市で子育てをすることに対して、多くの市民が経済的・制度的な不安を抱えていることが明らかになりました。特に、出産・育児にかかる費用の負担軽減や、保育園・学校の選択肢の少なさに対する不満などの意見が多く挙げられています。

また、無痛分娩の導入を求める声があり、出産時の身体的・精神的負担を軽減することで、出産に前向きになれる環境づくりが求められています。これは、人口減少対策としても有効であるとの意見も見られました。

教育面では、高校・大学進学の選択肢が少ないことや、奨学金制度の拡充を求める声があり、地

元で学び、地元に残る・戻るための仕組みづくりが必要とされています。
　さらに、若者の出会いの場や結婚支援、シングルマザーへの理解と支援など、家族の多様性に対応した政策の必要性も指摘されています。

▸主な意見（原文抜粋）
・「むつ市で子育てしたいと思う人の気持ちも聞いてください。むつ市は好きなのに、子育て不安すぎます。」
・「今から子育て世代なので、とにかく子育て世代へのサポートを厚くしてほしいです。お金の面では言葉にできない漠然とした不安があります。」
・「無痛分娩できる病院があるとうれしいです。むつ市にはないので、青森まで行ってる方がたくさんいます。」
・「子育て支援＝保育園の完全無償化。」
・「子供は宝物です。子供に関わる費用は小・中・高卒業まで無料に出来ないのでしょうか。」
・「学校も減っているし、子どもの選択肢が少ないです。」
・「進学希望者に対する、むつ市の独自の奨学制度。借りやすい奨学金、返しやすい奨学金制度が必要です。」
・「少子化だけが問題ならシングルでも子供を産んで良いというふうになれば良い。偏見がなく、ある程度補助金があれば、子供だけは増えると思う。」
・「若い男女の出会いの場をふやしてほしい。飲みの場だけでなく真剣な交際から結婚までのサポートや支援をして欲しい。」
・「むつ市の子供たち全員がなんの不自由もない生活をしてほしいです。」
・「子育て世代をターゲットにした政策やまちづくりをするのが重要だと思います。」
・「子育て世代や若者に重点を置いた施策で結構ですが、もう少し高齢者への配慮もほしいと思うこともあります。」

③ 医療・福祉の充実

　むつ市における医療と福祉の課題は、高齢化の進行と医療資源の不足が複雑に絡み合っており、特に深刻な問題として多くの意見が挙げられています。
　まず、むつ総合病院の老朽化と医師不足が大きな不安要素となっており、診療科によっては常勤医が不在で、診察日が限られているため、長時間の待機や遠方への通院を余儀なくされているという実態があります。特に、眼科や小児科など、地域に必要な診療科の不足が挙げられています。
　また、高齢者の通院・移動手段の確保も大きな課題となっています。免許返納後の移動手段が限られ、バスやタクシーの本数・範囲が不十分であることから、医療機関へのアクセスが困難になっているという意見が多く挙げられています。
　さらに、高齢者施設の不足や介護人材の不足も深刻で、老々介護や在宅介護を担う家庭の負担が大きくなっています。介護職への参入を促すための資格取得支援や研修施設の整備も求められています。
　一方で、医療の質の向上に関しては、南九州市のように少人数でも高い専門性を持つ医師を高待遇で招聘する事例を参考に、むつ市でも優秀な医師を確保するための戦略的な採用が必要だという意見もありました。

▸主な意見（原文抜粋）
・「むつ市で一番困るのは医療の問題です。混雑しており、待ち時間が長い。」
・「むつ市は住むにはとても良い所ですが、医療だけはとても不安です。」
・「むつ総合病院の老朽化。医療が受けられなければ安心して暮らせない。」
・「むつ病院に眼科の先生を誘致して下さい。私達は青森市まで高齢ながら通院しています。」
・「医療機関が少なく医師も患者も負担が大きいです。個人病院は大変な混雑で診療時間は限られてしまいます。」
・「常勤医師はどの科にも増やして欲しいです。」
・「高齢者への交通費の補助。仙台の病院へ通う交通費が年金生活者には負担。」
・「入院できる病院がむつ病院しかないのはとても不便である。」
・「老人が入居できる施設が足りない。介護が必要でも受け入れてくれる施設がない。」
・「介護の資格が取れる施設や、初めて介護をやってみたい人のための学校があると良い。」
・「防衛省の病院が市民にも利用できるようにしてもらえれば、老人の多い桜木町はもっと活力のある街になると思います。」
・「日曜日にむつ病院を受診できるようにしてほしい。働く人のために月曜休診でも良い。」

・「南九州市の松岡救急クリニックのように、少人数でも高待遇で優秀な医師を招聘する方法を検討してほしい。」
・「医療と子供の教育を充実してほしい。」
・「医療制度や子どもへの制度などが不足しているように感じるため、対策をして欲しい。」

④ 交通・インフラ整備

むつ市では、高齢化の進行と広域な地理的条件により、交通インフラの整備と再構築が喫緊の課題となっています。特に、免許返納後の高齢者の移動手段の確保に関する声が非常に多く、バスやタクシーの本数・運行範囲の拡充、小型バスの導入、ICカードやスマホ決済への対応など、利便性と柔軟性のある公共交通の再設計が求められています。

また、下北縦貫道路（下北道）の早期完成や、大湊線の維持・強化、夜行バスの導入など、他地域とのアクセス改善に関する要望も多く、むつ市の「陸の孤島」状態を打破するための広域交通網の整備が強く望まれています。

インフラ面では、下水道の未整備地域の解消、道路の白線や信号の整備、街灯の増設、防犯カメラの設置など、日常生活に直結する基盤整備の要望が多く寄せられました。特に、災害時の優先道路整備や業者との連携体制の構築など、レジリエンス強化に関する提案も見られました。

▶主な意見（原文抜粋）
・「高齢者への交通費の補助。仙台の病院へ通う交通費が年金生活者には負担。」
・「むつ市で小型バスを走らせていますが、私の町内は走りません。不公平と思います。」
・「MUVE バス（市内ループ路線バス）をもっと多くの地域に走らせてほしい。免許返納を考えているが、移動手段がないと生活できない。」
・「交通の便が悪すぎるので充実を希望します。」
・「公共交通（バス）の支払いを、十和田のバスみたいに専用カードや SUICA、PASMO などのカードやスマホ払いでも使用できるようにしてほしい。」
・「下北道の早期開通が大事だと思う。」
・「むつ市は現状、電車もしくはバス、車で来てもらうことになるが、どの手段を取っても青森県の主要市町村から少なくても 2 時間はかかるため、足が遠のく原因の一つとなっている。」
・「七戸駅からのシャトルバスは無理なのか？毎日ではなくてもいい。試験的に夏場だけでも。」
・「野辺地駅での待ち時間が苦痛で不便。新幹線は便利だがそのせいでむつ市の交通の便が悪くなり残念。」
・「感応式信号の反応が遅い場所がある。（下北文化会館の近くの信号）」
・「街灯が少なく、しかも街灯もうす暗く真っ暗過ぎて地元以外から来られる方は怖い道だと思います。」
・「下水道工事を進めてほしい。まだすべての町内で終わっていない。」
・「災害時に道路、電気、土木業者と連携する。決め事をしておく。幹線道路を優先してつくる。」
・「除雪予定のオンライン化（除雪、排雪の予定）をしてほしい。」
・「新田名部川沿いを自動車は走行できないようにして、ランニング、ウォーキング専用に整備して欲しい。」

⑤ 地域活性化・観光振興

むつ市の地域活性化に関しては、観光資源の活用と地域経済の循環強化を求める意見が多く挙げられています。むつ市が持つ豊かな自然や文化資源（恐山、釜臥山、大湊ねぶた、ジオパークなど）を生かしきれていないと感じており、観光地としての魅力の再発見と発信の強化が必要だとしています。

特に、宿泊施設の不足が観光客の受け入れにおける大きな障壁となっており、イベントやスポーツ大会の誘致においても、宿泊場所の確保がネックになっているとの指摘がありました。また、道の駅の新設やテーマパークの誘致、ショッピングモールの整備など、観光と地域経済を結びつける施設整備の要望も多く見られました。

さらに、地域イベントの充実や有名アーティストの公演誘致、地元の伝統行事の継承と活用など、地域のにぎわいを創出する取り組みへの期待も高まっています。観光客だけでなく、市民自身が楽しめるまちづくりを通じて、「住んで楽しい」「帰ってきたくなる」まちを目指すべきという意見が目立ちました。

また、自衛隊の存在を地域活性化にもっと活かしてほしいという声が挙げられています。特に、基地関連業務の多くが市外・県外企業に委託されている現状に対し、地元企業の育成・誘致による雇

用創出を求める意見が見られます。
　また、大湊基地に配属された県外出身者の離職率や定住率の低さに触れ、地域の魅力向上が課題とされています。さらに、自衛隊退職者の地域貢献（公共交通の担い手など）への期待も挙げられています。

▸主な意見（原文抜粋）
・「道の駅は作ってほしいです。観光、雇用の場は広がります。」
・「土地は余っているから大きなテーマパークの建設（沖縄県のジャングリラのような）で、青森県外からの集客を行う事によりサービス業の発展、就職先の増加等を目指すといいんじゃないかなと思います。」
・「ジオパーク等の観光を目的として来てくれる方用の宿泊施設が圧倒的に足りないと、県外の友人にいわれる。」
・「観光資源やイベントの活かし方。市町村の垣根を越えて情報を集約した発信があると助かる。」
・「むつ市の夜景を活用して観光客を集客してはどうか。」
・「釜臥山展望台の施設の充実（トイレしかないから）。」
・「恐山や釜臥山展望台までの道を GW 前に開通させて、観光客を増やしてみては？」
・「むつ市の型や推している夜景の揚羽蝶等、宣伝になる配りやすいお菓子等お土産が少ないと思います。」
・「むつ市にはムチュランだけでなく、幅広い層に向けた土産品の開発が必要。」
・「有名アーティストの公演を下北文化会館で開催してほしい。六ヶ所村では実現しているのに、むつでは少ない。」
・「イベントをもっと開催して、よりむつ市が賑わってほしい。」
・「むつ市に来たらとても癒される…みたいな、県外からのリピーターを増やせたらいいと思います。」
・「自然の中で遊ぶことが少なくなっているので、自然の巨大迷路や謎解きゲームなどのイベントがあると良い。」
・「むつ市の自然や文化は素晴らしいが、それが活かされていない。赤字だからとすぐに廃止せず、守る方法を考えてほしい。」
・「むつ市の魅力をもっと外に発信して、観光や移住者を増やしてほしい。」
・「自衛隊や原子力関連施設の定期点検、修理に多くの市外、県外の企業が下請け、孫請け企業として参加しているのが現状です。」
・「自衛隊に関して、県外出身で大湊に配属された人の離職率が非常に高い（大湊に魅力がないから）。県外出身で定年退職した人の定住率が低い（魅力がないから）。」
・「自衛隊退職者に免許を取ってもらい、バスの本数を増やすとか、タクシー運転手を増やして免許返納しても不便を感じないようにして欲しいです。」

⑥ 行政サービス・デジタル化への対応

　むつ市の行政運営に対しては、市民との距離感や公平性、職員対応の質、情報発信の在り方に関する多くの意見が挙げられています。
　特に、行政サービスが旧むつ市内に偏っているという声が複数あり、川内・大畑・脇野沢など周辺地域への分散と公平なサービス提供が求められています。
　また、市職員の接遇や対応のばらつきに対する指摘もあり、窓口対応の質の向上や、職員間のスキル差をなくすための研修強化が必要とされています。一方で、「職員が明るく親切になった」との評価もあり、改善の兆しも見られます。
　デジタル化に関しては、オンライン手続きの拡充や行政情報の電子配信を求める声がある一方で、高齢者やデジタル弱者への配慮が足りないという懸念も強く示されました。特に、防災無線の撤去やLINE通知への一本化に対して、「スマホを使えない高齢者が情報から取り残されている」との不安が多く、アナログとデジタルの併用による情報伝達の多層化が必要とされています。
　さらに、市政だよりの電子化、マイナンバー手続きのオンライン完結、病院のオンライン受付など、利便性向上に向けた具体的な提案も多く見られました。

▸主な意見（原文抜粋）
・「行政サービスが旧むつ市内に集中しすぎている。川内、大畑、脇野沢にも分散してほしい。」
・「市民課の方のレベルを上げてほしい。人により出来ること出来ないことに偏りがある。」
・「市役所で働く方々が明るく優しく親切になったととても感じます。」
・「市政だよりは携帯で見られるようにしてほしい（紙はいらない）。」

・「マイナンバーカードの最終手続きまで、オンラインで完結できるようになるとありがたい。」
・「むつ病院を受診する際のオンライン受付ができるようにしてほしい。」
・「防災無線が聞こえなくなって不安。スマホだけでは不十分。」
・「町内放送が取り外され、桜木町は陸の孤島です。助けてください。」
・「防災情報などを誰もが無料・平等に受信できる方法を考えてほしい。ポケベルの周波数帯やケーブルテレビの活用など。」
・「行政サービスが平日以外でも月 1 回でも開庁していたりすると助かるかも。」
・「質問が高齢者に難しすぎるので、もう少し簡単にして欲しい。」
・「スマホを使えない高齢者が多いのに、LINE での通知だけでは不十分。」
・「Wi-Fi を市として拡充すれば、スマホ普及がさらに進むのではないか。」

⑦ 暮らしやすさ・生活環境の向上

むつ市での暮らしやすさに関する意見は、日常生活の安心・安全・快適さをどう確保するかという視点から多岐にわたっています。特に多かったのは、空き家の利活用、物価高騰への支援、買い物や移動の困難さへの対応といった、生活に直結する課題です。

空き家や空き店舗の増加に対しては、景観の悪化や防犯上の不安、利活用の難しさが指摘されており、高齢者向け住宅や若者の定住支援住宅としての活用が提案されています。特に「数人単位での高齢者同居型住宅」など、孤立を防ぎつつ自立を支える新しい住まい方への期待も見られました。空き家の放置による防災・防犯上の懸念も挙げられており、早急な対策が求められています。

また、物価高騰や生活費の負担増に対する不安も大きく、特に年金生活者や子育て世代からは、日々の暮らしを支える経済的支援を求める意見が多く挙げられています。

買い物や移動手段の確保については、免許返納後の高齢者や車を持たない人々にとって、移動販売車や買い物バス、配達サービスの充実が必要とされています。さらに、地域コミュニティの再構築や孤立防止のための居場所づくり、清潔で安全なまちづくり（ゴミ拾い、街灯、防犯カメラ）など、地域全体で支え合うしくみづくりへの期待も高まっています。

防災については、防災情報の伝達手段に関する意見が多く挙げられています。従来、各家庭に設置されていた防災スピーカーが撤去されたことで、災害時の情報が届かず不安を感じているとの声が多く、特に高齢者は携帯電話やスマートフォンの使用が困難であるため、情報格差が生じているといった意見が挙げられており、他自治体のように、工事費の一部自己負担でもよいので、各家庭に無線受信機を設置する仕組みの導入を求める提案が挙げられています。

また、防災無線に対する指摘もあり、LINEなどのデジタル手段だけでなく、音声による情報発信を強化すべきとの意見が挙げられています。さらに、デジタル化された防災放送が聞こえにくくなり、特に山間部ではクマの出没情報が届かず不安であるといった意見が挙げられています。

▸主な意見（原文抜粋）
・「空家を活用した高齢者向け住宅を提供。数人単位で同居もあり（孤立を避け、自立と協同の中間を目指す）。」
・「むつ市も子供の数が減っており、子育て世帯への補助や補償はとても大切。介護施設も足りない。」
・「車のない人や老人が食料品を買いに行けるところが近くにあると大変助かる。定期的な買い物バスや配達サービスがあると良い。」
・「移動販売車を充実してみてはどうでしょうか。昔は町内の小道まで来てくれていた。」
・「使わないものや消費期限の近い食料の回収先や受取が簡単にできる仕組みづくりをしてほしい。」
・「ジャージ、制服なども地元の中で譲り合う仕組みがあれば良い。」
・「街として清潔でないし、決してきれいな街とは思えませんでした。ゴミを拾うなど、住民の意識改革も必要。」
・「むつ市で生まれた子供はむつ市で一生過ごせる。少なくとも県内で一番むつ市が住みやすいと思われるまちづくりを期待します。」
・「毎日のように物価高で、パートの時給も 1,200 円ぐらいだと、一人暮らしでもパートで働けば日常生活も少しは楽に生活していけると思います。」
・「高齢者の一人暮らしの人々のコミュニケーション（運動も）が図れる楽しい教室がもっとあるといいです。」
・「市民がここは楽しいことがたくさんあり、住みやすいと思っていたら、自ずとむつ市に行ってみたいとなると思う。」

・「むつ市は住むにはとても良い所。山あり海あり温泉あり、自然がいっぱい。ただ、若い人達や子ども達の楽しむ場所が少ないのが残念。」
・「従来各町内に市役所からの放送スピーカーにて各種連絡を行っていたが、今年より取りやめとなった。特に脇野沢、川内地区は従来、家にスピーカーがあり、連絡がスムーズに行われていたが、今年より取外してしまったので、災害等の連絡がない。」
・「各家庭に無線受信機を設置してほしい。工事費半分は自己負担でも良い。」
・「色々な事柄は LINE 等では目にしていますが、LINE のないお年寄りでも市からの情報がすぐ耳に入るように、防災無線で情報発信するのもいいのではないでしょうか。」
・「山間部では防災放送が聞こえず、クマの出没情報が届かない。」

⑧ 地域の誇りと将来像の重要性

むつ市に対する市民の思いには、「このまちを良くしたい」「誇れるまちにしたい」という強い願いが込められていました。一方で、「むつ市の魅力を市民自身が理解していない」「将来が見えない」といった自己評価の低さや将来への不安も多く見られました。

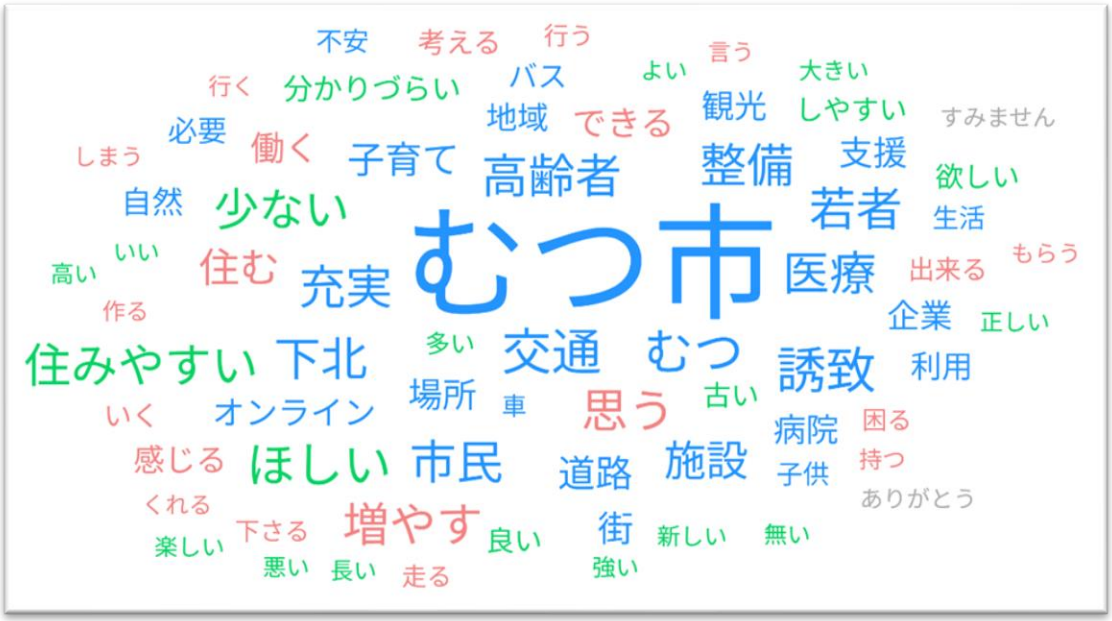
また、「むつ市は自然も文化も豊かで住みやすいが、外に発信できていない」「市民自身がその価値に気づいていない」といった意見が多く、観光資源や地域資産を生かすには、まず市民が自らのまちに誇りを持つことが出発点であるという意見が挙げられています。

また、若者が戻ってこられるまちにするための将来像の提示や、地域の将来を市民とともに考える場の創出も求められています。むつ市の将来像を「誰かが決める」のではなく、「みんなで描く」ことの重要性が強調されていました。

さらに、地域の伝統や文化を守りながらも、時代に合った変化を受け入れる柔軟性が必要であり、「他市の真似ではなく、むつ市らしさを生かした独自のまちづくり」を望む意見も多くありました。

▶主な意見（原文抜粋）
・「むつ市の魅力はむつ市民が一番分かっていない。他県の方々からの意見がとてもうれしく感じます。」
・「むつ市は住むにはとても良い所。山あり海あり温泉あり、自然がいっぱい。ただ、若い人達や子ども達の楽しむ場所が少ないのが残念。」
・「むつ市で生まれた子供はむつ市で一生過ごせる。少なくとも県内で一番むつ市が住みやすいと思われるまちづくりを期待します。」
・「むつ市は 10 年後どうなっているんだろうといつも思います。」
・「むつ市の市民は、良いところがたくさんあるのに“黙っていてもわかってもらえる”と思っている。もっと発信すべき。」
・「むつ市の良いところを活かして、他市の真似ではなく、むつ市らしいまちづくりをしてほしい。」
・「むつ市の自然や文化は素晴らしいが、それが活かされていない。赤字だからとすぐに廃止せず、守る方法を考えてほしい。」
・「むつ市の将来像を市民と一緒に考える場が必要。」
・「むつ市の魅力をもっと外に発信して、観光や移住者を増やしてほしい。」
・「むつ市が“始まりの街”として、全国とつながる拠点になってほしい。」

■ テキストマイニングによるワードクラウド



※ 「AI テキストマイニング（株式会社ユーザーローカル）」により作成

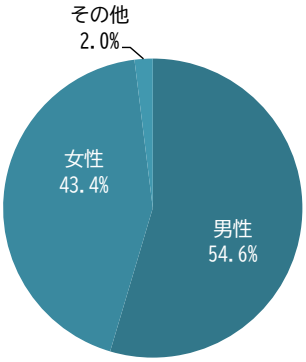
（２）学生アンケート（市内高校生・大学生対象）

①回答者について【問1～4】

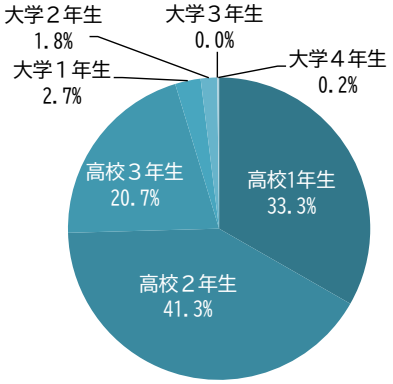
問1 ～ 問４ 調査回答者の性別･学年･居住地区･むつ市での居住経験【SA】

本調査へ回答のあった方の基本属性は以下のとおりです。

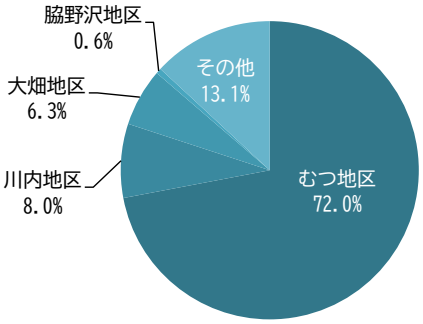
回答者の性別　n=511



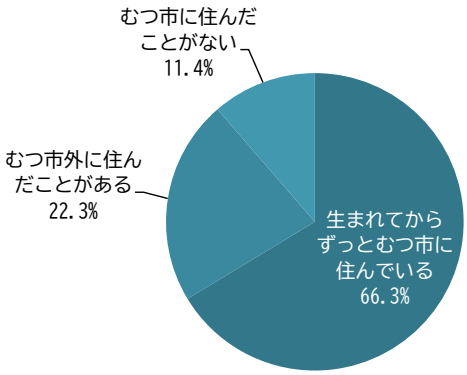
回答者の学年　n=511



回答者の居住地区　n=511



回答者のむつ市での居住経験　n=511



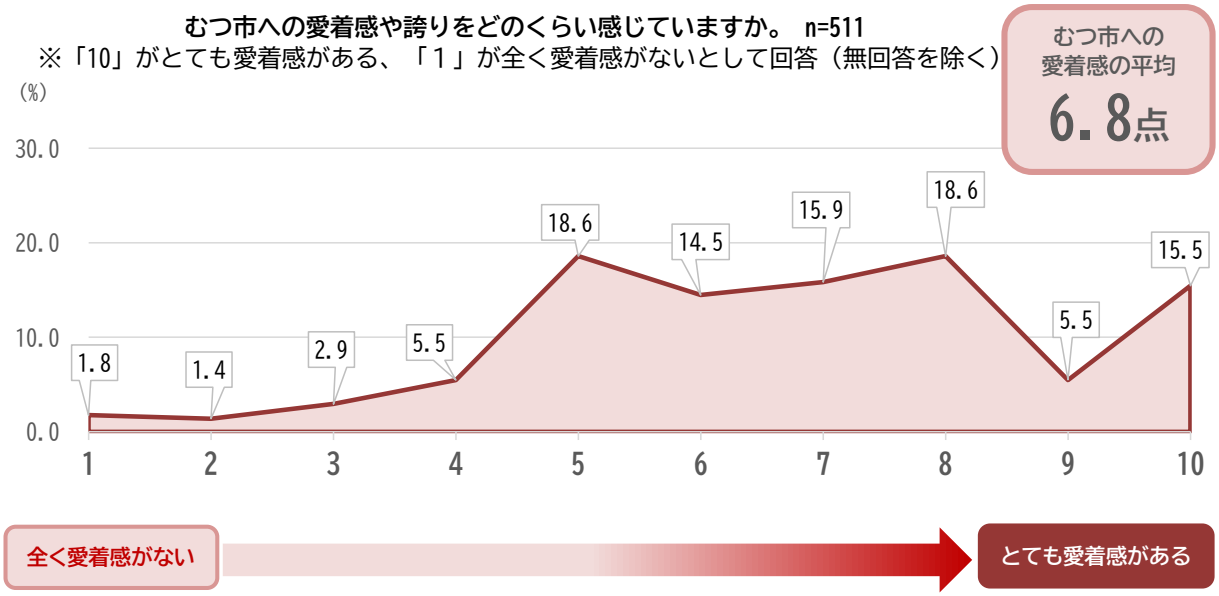
回答者の居住地区「その他」の回答

- 東通村　44 件
- 横浜町　15 件
- 六ヶ所村　2 件
- 下北地区　1 件
- 野辺地町　1 件

②むつ市への愛着や誇りについて【問5】

問5 むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じていますか。【SA】

むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じているかについては、10段階のうち、「８点」および「５点」と回答した方の割合が18.6%で最も高く、比較的愛着感が強い「８～10点」と回答した層の割合の合計は39.6%となっています。また、中間層の「４～７点」と回答した層の割合の合計は54.5%、愛着感が弱い「１～３点」と回答した層の割合の合計は6.1%となっています。学生全体のむつ市への愛着感の平均点は「6.8点」でした。



居住地区・居住経験等により異なるむつ市への愛着度
―川内地区や生まれてから継続して居住している層で愛着感・平均点が高く、むつ市に住んだことがない層や高校2・3年生、女性では「5点前後」の評価が中心となる傾向―

むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じているかについて、居住地区別にみると、川内地区で「ととても愛着がある(10点)」が36.6%で全体と比較して高くなっています。

居住経験別にみると、むつ市に住んだことがないとした回答で「５点」が34.5%で全体と比較して高くなっている一方、「８点」が6.9%、「10点」が3.4%で低くなっています。

性別・学年別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

属性別の平均点をみると、性別では男性が7.0点で高く、女性で6.6点と低くなっています。学年別では高校1年生が7.0点で高く、高校２年生で6.6点、高校３年生で6.7点と低くなっています。

また、居住年数別では生まれてからずっとむつ市に住んでいるとした回答が7.1点と高くなっている一方、むつ市外に住んだことがあるとした回答で6.4%と低くなっています。

【クロス集計：むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じているか】

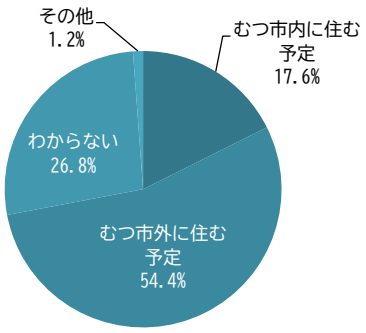
		全体	1 全く愛着感がない	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても愛着感がある	平均点
全体		(511)	1.8	1.4	2.9	5.5	18.6	14.5	15.9	18.6	5.5	15.5	6.8
性別	男性	(279)	1.8	1.1	2.9	5.4	14.7	15.8	15.4	18.6	5.4	19.0	7.0
	女性	(222)	1.4	1.8	2.7	5.9	22.5	13.5	17.1	17.6	5.9	11.7	6.6
	その他	(10)	10.0	0.0	10.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	5.6
学年	高校１年生	(170)	0.6	1.2	2.9	4.7	17.6	15.9	14.7	17.1	5.3	20.0	7.0
	高校２年生	(211)	3.3	0.9	3.3	5.7	22.3	12.3	13.7	19.4	4.3	14.7	6.6
	高校３年生	(106)	0.9	2.8	2.8	6.6	13.2	16.0	22.6	18.9	6.6	9.4	6.7
	大学１年生	(14)	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	14.3	21.4	21.4	0.0	14.3	6.9
	大学２年生	(9)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	22.2	33.3	11.1	7.8
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－
	大学４年生	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	10.0
居住地区	むつ地区	(368)	1.9	0.8	2.2	5.7	16.6	14.4	14.9	21.7	6.3	15.5	6.9
	川内地区	(41)	2.4	0.0	4.9	2.4	12.2	12.2	12.2	12.2	4.9	36.6	7.5
	大畑地区	(32)	0.0	0.0	3.1	3.1	12.5	21.9	18.8	18.8	9.4	12.5	7.1
	脇野沢地区	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	6.3
	その他	(67)	1.5	6.0	6.0	7.5	35.8	13.4	19.4	6.0	0.0	4.5	5.5
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	1.5	0.9	2.1	3.8	15.6	13.3	15.6	21.8	6.8	18.6	7.1
	むつ市外に住んだことがある	(114)	2.6	0.9	5.3	8.8	19.3	17.5	14.0	14.9	4.4	12.3	6.4
	むつ市に住んだことがない	(58)	1.7	5.2	3.4	8.6	34.5	15.5	20.7	6.9	0.0	3.4	5.6

③卒業後の定住意向・進路・就職について【問6～13】

問6　現在通学されているところを卒業後に、どちらにお住まいになる予定ですか。【SA】

現在の学校を卒業後に住む予定の場所については、「むつ市外に住む予定」と回答した方の割合が54.4%で最も高く、次いで、「わからない」が26.8%、「むつ市内に住む予定」が17.6%となっています。

現在通学されているところを卒業後に、どちらにお住まいになる予定ですか。n=511



「その他」の回答

- 東京都　２件
- 県内　２件
- 青森県外　１件
- 北海道　１件

性別・学年・居住経験等により異なる卒業後の居住予定
―女性や高校３年生では市外居住志向が強く、むつ市での居住経験がない層では市内居住意向が低い傾向、高校１年生では進路未定層が多い。大畑地区では市内居住予定が相対的に高い―

現在の学校を卒業後に住む予定の場所について、性別でみると、女性で「むつ市外に住む予定」が60.4%で全体と比較して高くなっている一方、「わからない」が18.5%で低くなっています。

学年別にみると、高校１年生で「わからない」が40.6%で全体と比較して高くなっている一方、「むつ市外に住む予定」が42.4%で低くなっています。高校３年生では、「むつ市外に住む予定」が72.6%で全体と比較して高くなっている一方、「わからない」が2.8%で低くなっています。

居住地区別にみると、大畑地区で「むつ市内に住む予定」が31.3%で全体と比較して高くなっています。その他の地区では「むつ市内に住む予定」が低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市に住んだことがないとした回答で「むつ市に住む予定」が1.7%で全体と比較して低くなっています。

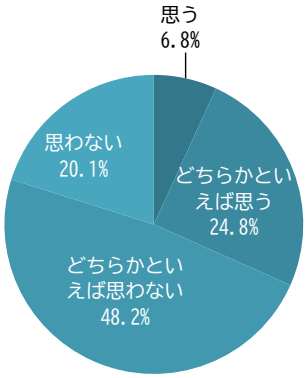
【クロス集計：現在の学校を卒業後に住む予定の場所】

		全体	むつ市内に住む予定	むつ市外に住む予定	わからない	その他
全体		(511)	17.6	54.4	26.8	1.2
性別	男性	(279)	16.8	48.7	33.7	0.7
	女性	(222)	19.4	60.4	18.5	1.8
	その他	(10)	0.0	80.0	20.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	15.3	42.4	40.6	1.8
	高校２年生	(211)	11.4	59.2	28.9	0.5
	高校３年生	(106)	23.6	72.6	2.8	0.9
	大学１年生	(14)	78.6	7.1	7.1	7.1
	大学２年生	(9)	33.3	33.3	33.3	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	18.8	54.6	26.4	0.3
	川内地区	(41)	24.4	56.1	19.5	0.0
	大畑地区	(32)	31.3	46.9	18.8	3.1
	脇野沢地区	(3)	0.0	33.3	66.7	0.0
	その他	(67)	1.5	56.7	35.8	6.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	20.4	51.6	27.4	0.6
	むつ市外に住んだことがある	(114)	17.5	61.4	20.2	0.9
	むつ市に住んだことがない	(58)	1.7	56.9	36.2	5.2

問7　将来、むつ市に住みたいと思いますか。【SA】

将来におけるむつ市への居住意向については、「どちらかといえば思わない」と回答した方の割合が48.2%で最も高く、次いで、「どちらかといえば思う」が24.8%、「思わない」が20.1%、「思う」が6.8%となっています。

将来、むつ市に住みたいと思いますか。n=511



居住経験により異なる将来のむつ市居住意向
―生まれてから継続して居住している層では否定的意向が低い一方、市外居住経験層や未居住層では消極的・否定的な居住意向の傾向―

将来におけるむつ市への居住意向について、むつ市での居住経験別でみると、生まれてからずっとむつ市に住んでいるとした回答で「(むつ市に住みたいと) 思わない」が14.9%で全体と比較して低くなっています。また、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「思わない」が30.0%で全体と比較して高くなっている一方、「(むつ市に住みたいと) どちらかといえば思う」が18.6%で低くなっています。むつ市に住んだことがないとした回答では、「(むつ市に住みたいと) どちらかといえば思わない」が54.5%、「思わない」が27.3%で全体と比較して高くなっている一方、「思う」が0.0%、「思わない」が18.2%で低くなっています。

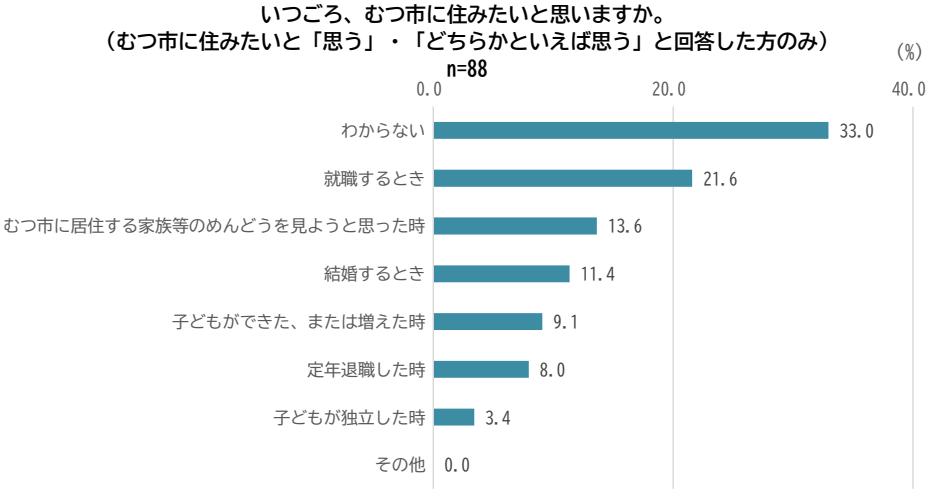
性別・学年別・居住地区別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：将来におけるむつ市への居住意向】

		全体	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない
全体		(278)	6.8	24.8	48.2	20.1
性別	男性	(136)	7.4	29.4	47.8	15.4
	女性	(134)	6.7	21.6	47.8	23.9
	その他	(8)	0.0	0.0	62.5	37.5
学年	高校１年生	(72)	4.2	26.4	52.8	16.7
	高校２年生	(125)	7.2	24.8	44.8	23.2
	高校３年生	(77)	7.8	23.4	49.4	19.5
	大学１年生	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0
	大学２年生	(3)	33.3	33.3	33.3	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(201)	6.5	26.4	47.3	19.9
	川内地区	(23)	21.7	26.1	34.8	17.4
	大畑地区	(15)	6.7	26.7	60.0	6.7
	脇野沢地区	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	(38)	0.0	15.8	55.3	28.9
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(175)	8.6	28.6	48.0	14.9
	むつ市外に住んだことがある	(70)	5.7	18.6	45.7	30.0
	むつ市に住んだことがない	(33)	0.0	18.2	54.5	27.3

問8　いつごろ、むつ市に住みたいと思いますか。【SA】

将来においてむつ市への居住意向のある方のうち、居住する時期については、「わからない」と回答した方の割合が33.0%で最も高く、次いで、「就職するとき」が21.6%、「むつ市に居住する家族等のめんどうを見ようと思った時」が13.6%、「結婚するとき」が11.4%となっています。



将来のむつ市居住時期についての属性差は限定的
―居住意向がある人の居住時期については、性別・学年・居住地区・居住経験による大きな差はみられず、全体と同様の傾向―

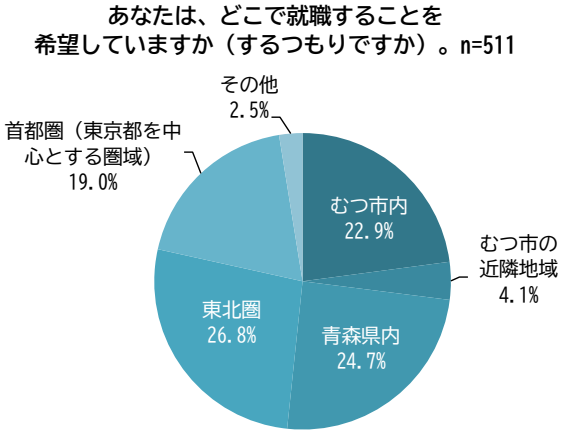
将来においてむつ市への居住意向のある方のうち、居住する時期については性別・学年別・居住地区別・むつ市での居住経験別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：将来においてむつ市への居住意向のある方のうち、居住する時期】

		全体	就職するとき	結婚するとき	子どもができた、または増えた時	子どもが独立した時	定年退職した時	むつ市に居住する家族等のめんどうを見ようと思った時	わからない	その他
全体		(88)	21.6	11.4	9.1	3.4	8.0	13.6	33.0	0.0
性別	男性	(50)	24.0	14.0	6.0	2.0	8.0	12.0	34.0	0.0
	女性	(38)	18.4	7.9	13.2	5.3	7.9	15.8	31.6	0.0
	その他	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	高校１年生	(22)	31.8	22.7	9.1	0.0	0.0	13.6	22.7	0.0
	高校２年生	(40)	20.0	7.5	7.5	5.0	12.5	15.0	32.5	0.0
	高校３年生	(24)	16.7	8.3	12.5	4.2	4.2	12.5	41.7	0.0
	大学１年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学２年生	(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(66)	21.2	12.1	10.6	3.0	9.1	16.7	27.3	0.0
	川内地区	(11)	27.3	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0
	大畑地区	(5)	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0
	脇野沢地区	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(6)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(65)	23.1	13.8	6.2	4.6	7.7	12.3	32.3	0.0
	むつ市外に住んだことがある	(17)	11.8	5.9	23.5	0.0	11.8	23.5	23.5	0.0
	むつ市に住んだことがない	(6)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

問9　将来、どこで就職することを希望していますか(するつもりですか)。【SA】

将来において就職を希望する地域については、「東北圏」と回答した方の割合が26.8%で最も高く、次いで、「青森県内」が24.7%、「むつ市内」が22.9%、「首都圏（東京都を中心とする地域)」19.0%となっています。



「その他」の回答

- 北海道　４件
- 海外　１件
- 青森県外　１件
- 関東　１件
- 横浜　１件
- 東海／愛知周辺　１件
- 近畿　１件
- 青森県内か首都圏らへん　１件
- わからない　１件

居住地区・居住経験により異なる将来の就職希望地域
―川内・大畑地区ではむつ市内や近隣地域志向が相対的に高い一方、その他の地区やむつ市未居住層では県内広域・市外志向が強い傾向―

将来において就職を希望する地域について、居住地区別にみると、川内地区で「むつ市内」が31.7%、「むつ市の近隣地域」が9.8%で全体と比較して高くなっている一方、「東北圏」が14.6%で低くなっています。また、大畑地区で「むつ市内」が34.4%で、その他の地区で「青森県内」が46.3%で全体と比較して高くなっています。さらに、その他の地区では「むつ市内」が4.5%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市に住んだことがないとした回答で「青森県内」が50.0%で全体と比較して高くなっている一方、「むつ市内」が3.4%で低くなっています。

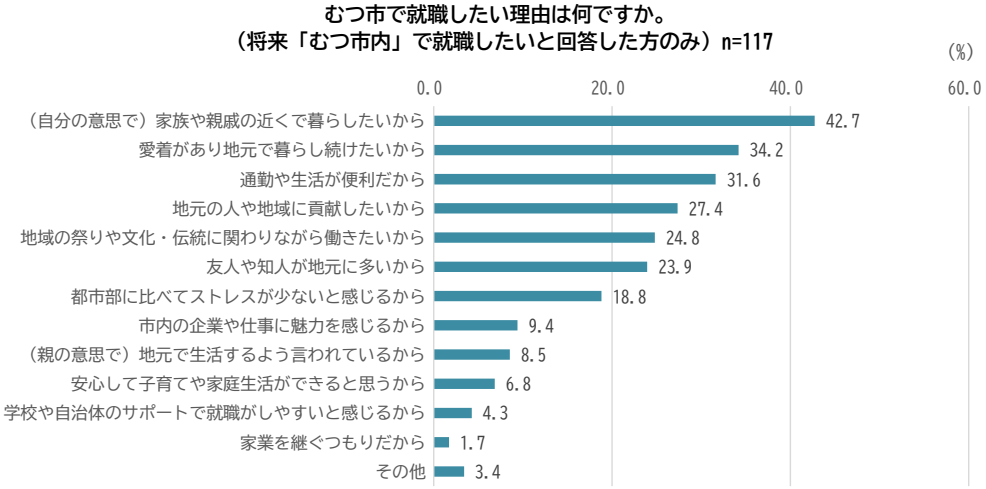
性別・学年別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：将来において就職を希望する地域】

		全体	むつ市内	むつ市の近隣地域	青森県内	東北圏	首都圏（東京都を中心とする圏域）	その他
全体		(511)	22.9	4.1	24.7	26.8	19.0	2.5
性別	男性	(279)	23.7	6.1	22.6	28.7	16.5	2.5
	女性	(222)	23.0	1.8	27.0	23.9	21.6	2.7
	その他	(10)	0.0	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	20.6	5.3	31.8	25.3	14.7	2.4
	高校２年生	(211)	18.0	4.7	23.2	29.9	21.3	2.8
	高校３年生	(106)	26.4	1.9	18.9	27.4	23.6	1.9
	大学１年生	(14)	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	大学２年生	(9)	33.3	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	24.5	3.3	20.9	29.1	19.8	2.4
	川内地区	(41)	31.7	9.8	22.0	14.6	19.5	2.4
	大畑地区	(32)	34.4	3.1	18.8	25.0	18.8	0.0
	脇野沢地区	(3)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(67)	4.5	6.0	46.3	23.9	14.9	4.5
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	27.4	3.5	21.2	26.3	19.5	2.1
	むつ市外に住んだことがある	(114)	19.3	4.4	21.9	32.5	18.4	3.5
	むつ市に住んだことがない	(58)	3.4	6.9	50.0	19.0	17.2	3.4

問10　むつ市で就職したい理由は何ですか。【MA】

将来においてむつ市内での就職意向のある方のうち、むつ市内での就職を希望する理由については、「(自分の意志で)家族や親戚の近くで暮らしたいから」と回答した方の割合が42.7%で最も高く、次いで、「愛着があり地元で暮らし続けたいから」が34.2%、「通勤や生活が便利だから」が31.6%、「地元の人や地域に貢献したいから」が27.4%となっています。



「その他」の回答

- 海上自衛隊で、大湊で働きたいから。
- 現住所から外に出るつもりがない。
- スポーツがやりたいから。
- 奨学金を借りているから。

性別・学年により異なるむつ市内就職希望の理由
―男性は地域文化への関与や生活上の負担感の少なさを重視する一方、女性は家族・親族との近接を重視。高校１年生では人間関係、高校２年生では生活環境の安定性を理由とする傾向―

将来においてむつ市内での就職意向のある方のうち、むつ市内での就職を希望する理由について、性別別にみると、男性で「地域の祭りや文化・伝統に関わりながら働きたいから」が30.3%、「都市部に比べてストレスが少ないと感じるから」が25.8%で全体と比較して高くなっている一方、「(自分の意思で）家族や親戚の近くで暮らしたいから」が36.4%で低くなっています。女性では、「(自分の意思で）家族や親戚の近くで暮らしたいから」が51.0%、「(親の意思で）地元で生活するよう言われているから」が13.7%で全体と比較して高くなっている一方、「地域の祭りや文化・伝統に関わりながら働きたいから」が17.6%、「都市部に比べてストレスが少ないと感じるから」が9.8%で低くなっています。

学年別にみると、高校１年生で「友人や知人が地元に多いから」が34.3%で全体と比較して高くなっている一方、「愛着があり地元で暮らし続けたいから」が22.9%、「地元の人や地域に貢献したいから」が17.1%で低くなっています。また、高校２年生で「都市部に比べてストレスが少ないと感じるから」が28.9%で全体と比較して高くなっています。

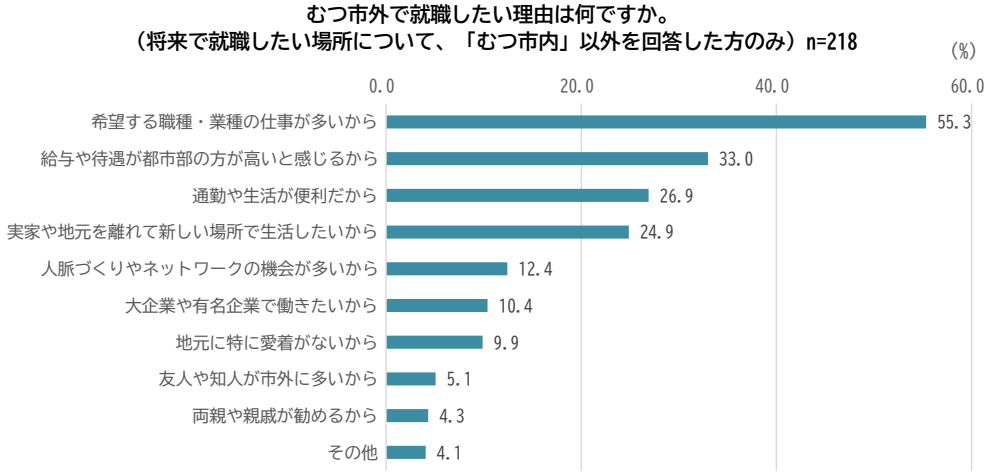
居住地区・むつ市での居住経験別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：将来においてむつ市内での就職意向のある方のうち、むつ市内での就職を希望する理由】

		全体	（自分の意思で）家族や親戚の近くで暮らしたいから	（親の意思で）地元で生活するよう言われているから	愛着があり地元で暮らし続けたいから	通勤や生活が便利だから	市内の企業や仕事に魅力を感じるから	地元の人や地域に貢献したいから	安心して子育てや家庭生活ができると思うから	友人や知人が地元に多いから	都市部に比べてストレスが少ないと感じるから	家業を継ぐつもりだから	地域の祭りや文化・伝統に関わりながら働きたいから	学校や自治体のサポートで就職がしやすいと感じるから	その他
全体		(117)	42.7	8.5	34.2	31.6	9.4	27.4	6.8	23.9	18.8	1.7	24.8	4.3	3.4
性別	男性	(66)	36.4	4.5	34.8	34.8	10.6	30.3	3.0	25.8	25.8	1.5	30.3	1.5	3.0
	女性	(51)	51.0	13.7	33.3	27.5	7.8	23.5	11.8	21.6	9.8	2.0	17.6	7.8	3.9
	その他	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	高校１年生	(35)	42.9	11.4	22.9	31.4	5.7	17.1	5.7	34.3	20.0	2.9	28.6	2.9	0.0
	高校２年生	(38)	44.7	10.5	36.8	31.6	7.9	23.7	7.9	21.1	28.9	2.6	21.1	2.6	0.0
	高校３年生	(28)	39.3	7.1	39.3	28.6	3.6	35.7	3.6	21.4	7.1	0.0	28.6	3.6	7.1
	大学１年生	(12)	33.3	0.0	33.3	33.3	41.7	50.0	8.3	8.3	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7
	大学２年生	(3)	66.7	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(90)	43.3	8.9	32.2	34.4	8.9	23.3	6.7	22.2	22.2	1.1	18.9	5.6	3.3
	川内地区	(13)	53.8	7.7	53.8	7.7	23.1	30.8	7.7	30.8	0.0	0.0	38.5	0.0	0.0
	大畑地区	(11)	36.4	9.1	36.4	36.4	0.0	63.6	0.0	27.3	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0
	脇野沢地区	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(3)	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(93)	43.0	9.7	37.6	33.3	7.5	29.0	7.5	24.7	19.4	1.1	28.0	2.2	3.2
	むつ市外に住んだことがある	(22)	45.5	4.5	22.7	22.7	18.2	22.7	0.0	18.2	18.2	4.5	13.6	13.6	4.5
	むつ市に住んだことがない	(2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問11　むつ市外で就職したい理由は何ですか。【MA】

将来においてむつ市外での就職意向のある方のうち、むつ市外での就職を希望する理由については、「希望する職種・業種の仕事が多いから」と回答した方の割合が55.3%で最も高く、次いで、「給与や待遇が都市部の方が高いと感じるから」が33.0%、「通勤や生活が便利だから」が26.9%となっています。



「その他」の回答

・生活を安定させたいから。
・横浜町で育ったから横浜町で働きたい。
・興味があるもの。
・今の若者が好きなものがむつ以外にあるから。
・大学が関東の方だからそのまま関東に。
・趣味のため。
・プロスポーツチームや日本代表チームに所属したいから。
・いろいろな人と出会いたいから。
・行きたい大学があるから。
・青森市で仕事をしたい夢があるから。
・むつ病院が混み過ぎている。
・むつ市に希望する職業が無いから。
・むつ市での就職ではない。
・やりたい職業がむつ市にないから。
・よくわからない。
・特になし

学年・居住経験により異なるむつ市外就職希望の理由
―高校１年生では希望職種・業種の多さを重視する傾向が強い一方、高校３年生では給与・待遇や企業規模、人脈形成などキャリア面を理由とする傾向が顕著。市外居住経験層では地元への愛着の弱さが一因となる一方、未居住層では就業機会や待遇面を重視する傾向―

将来においてむつ市外での就職意向のある方のうち、むつ市外での就職を希望する理由について、学年別にみると、高校１年生で「希望する職種・業種の仕事が多いから」が63.0%で全体と比較して高くなっている一方、「給与や待遇が都市部の方が高いと感じるから」が25.2%、「人脈づくりやネットワークの機会が多いから」が7.4%で低くなっています。また、高校３年生で「大企業や有名企業で働きたいから」が24.4%、「給与や待遇が都市部の方が高いと感じるから」が39.7%、「人脈づくりやネットワークの機会が多いから」が20.5%で全体と比べて高くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「地元に特に愛着がないから」が15.2%で全体と比較して高くなっている一方、「実家や地元を離れて新しい場所で生活したいから」が19.6%で低くなっています。また、むつ市に住んだことがないとした回答で「希望する職種・業種の仕事が多いから」が46.4%、「給与や待遇が都市部の方が高いと感じるから」が26.8%、「実家や地元を離れて新しい場所で生活したいから」が19.6%、「人脈づくりやネットワークの機会が多いから」が7.1%で全体と比較して低くなっています。

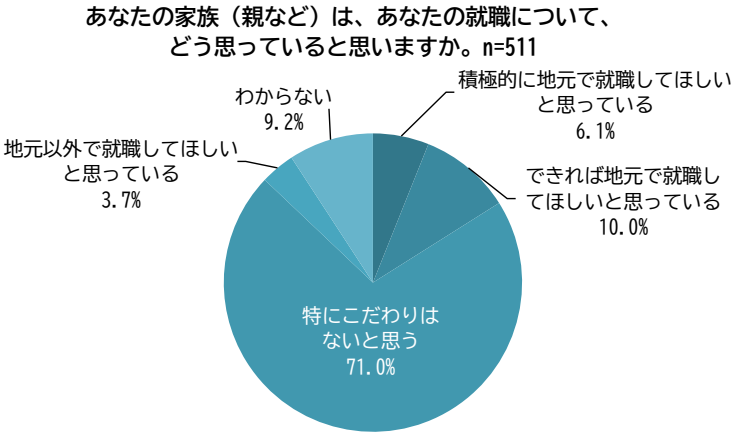
性別・居住地区別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：将来においてむつ市外での就職意向のある方のうち、むつ市外での就職を希望する理由】

		全体	希望する職種・業種の仕事が多いから	給与や待遇が都市部の方が高いと感じるから	大企業や有名企業で働きたいから	人脈づくりやネットワークの機会が多いから	通勤や生活が便利だから	実家や地元を離れて新しい場所で生活したいから	友人や知人が市外に多いから	地元に特に愛着がないから	両親や親戚が勧めるから	その他
全体		(394)	55.3	33.0	10.4	12.4	26.9	24.9	5.1	9.9	4.3	4.1
性別	男性	(213)	53.1	33.8	10.3	11.7	25.8	23.9	4.7	8.5	4.7	4.7
	女性	(171)	57.3	32.2	10.5	12.9	28.1	24.0	5.3	11.1	3.5	3.5
	その他	(10)	70.0	30.0	10.0	20.0	30.0	60.0	10.0	20.0	10.0	0.0
学年	高校１年生	(135)	63.0	25.2	6.7	7.4	23.0	21.5	4.4	7.4	5.2	3.0
	高校２年生	(173)	51.4	35.8	7.5	11.6	29.5	27.2	5.8	12.7	4.0	4.6
	高校３年生	(78)	51.3	39.7	24.4	20.5	28.2	23.1	2.6	9.0	3.8	5.1
	大学１年生	(2)	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	大学２年生	(6)	50.0	50.0	0.0	33.3	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(278)	56.5	33.1	10.8	14.4	25.5	27.3	4.7	11.2	3.6	4.3
	川内地区	(28)	53.6	46.4	10.7	10.7	35.7	10.7	0.0	7.1	7.1	0.0
	大畑地区	(21)	61.9	33.3	9.5	4.8	23.8	23.8	9.5	0.0	4.8	0.0
	脇野沢地区	(3)	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	その他	(64)	48.4	28.1	9.4	6.3	29.7	20.3	6.3	9.4	6.3	6.3
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(246)	56.9	33.7	11.4	13.0	26.0	28.0	5.3	7.7	4.5	3.3
	むつ市外に住んだことがある	(92)	56.5	34.8	7.6	14.1	28.3	19.6	5.4	15.2	2.2	4.3
	むつ市に住んだことがない	(56)	46.4	26.8	10.7	7.1	28.6	19.6	3.6	10.7	7.1	7.1

問12　あなたの家族(親など)は、あなたの就職について、どう思っていると思いますか。【SA】

回答者の就職に対する親など家族の意向については、「特にこだわりはないと思う」と回答した方の割合が71.6%で最も高く、次いで、「できれば地元で就職してほしいと思っている」が10.0%、「わからない」が9.2%となっています。



居住地区により異なる家族の就職に対する意向の捉え方
―大畑地区では「特にこだわりはない」とする認識が高く、家族の意向が比較的中立的に受け止められている一方、強い地元就職志向を感じている層は少ない傾向―

回答者の就職に対する親など家族の意向について、居住地区別にみると、大畑地区で「特にこだわりはないと思う」が78.1%、「できれば地元で就職してほしいと思っている」が15.6%で全体と比較して高くなっている一方、「わからない」が3.1%、「積極的に地元で就職してほしいと思っている」が0.0%で低くなっています。

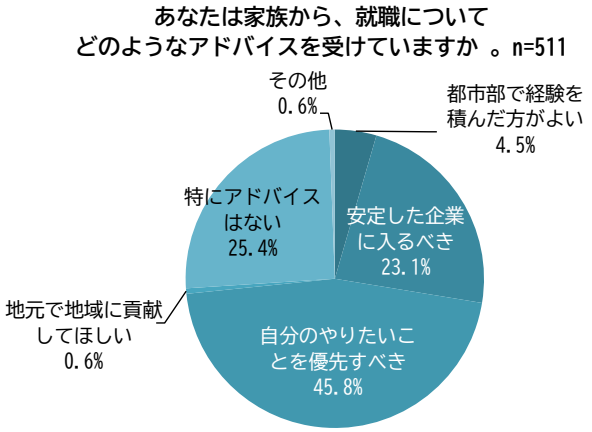
性別・学年別・むつ市での居住経験別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：回答者の就職に対する親など家族の意向】

		全体	積極的に地元で就職してほしいと思っている	できれば地元で就職してほしいと思っている	特にこだわりはないと思う	地元以外で就職してほしいと思っている	わからない
全体		(511)	6.1	10.0	71.0	3.7	9.2
性別	男性	(279)	4.7	8.6	73.1	2.9	10.8
	女性	(222)	7.7	12.2	68.5	5.0	6.8
	その他	(10)	10.0	0.0	70.0	0.0	20.0
学年	高校１年生	(170)	3.5	7.1	72.4	2.4	14.7
	高校２年生	(211)	6.6	10.4	71.1	3.8	8.1
	高校３年生	(106)	5.7	14.2	73.6	4.7	1.9
	大学１年生	(14)	21.4	14.3	50.0	7.1	7.1
	大学２年生	(9)	22.2	0.0	55.6	0.0	22.2
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	6.5	10.6	69.3	3.8	9.8
	川内地区	(41)	7.3	9.8	68.3	4.9	9.8
	大畑地区	(32)	0.0	15.6	78.1	3.1	3.1
	脇野沢地区	(3)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	(67)	6.0	4.5	77.6	3.0	9.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	5.9	11.2	69.6	3.2	10.0
	むつ市外に住んだことがある	(114)	6.1	8.8	72.8	5.3	7.0
	むつ市に住んだことがない	(58)	6.9	5.2	75.9	3.4	8.6

問13　あなたは家族から、就職についてどのようなアドバイスを受けていますか。【SA】

回答者の就職に対する親など家族からのアドバイスについては、「自分のやりたいことを優先すべき」と回答した方の割合が45.8%で最も高く、次いで、「特にアドバイスはない」が25.4%、「安定した企業に入るべき」が23.1%となっています。



「その他」の回答

- 出張でもなんでもいいから都会で仕事してほしい。
- 人間関係は良好に。
- わからない。

学年・居住地区・居住経験により異なる家族からの就職アドバイス
―高校３年生や大畑地区、市外居住経験層では「自分のやりたいことを優先すべき」との助言が多い一方、川内地区では「安定した企業」を勧める傾向がみられる。未居住層では「特にアドバイスはない」とする割合が相対的に高い―

回答者の就職に対する親など家族からのアドバイスについて、学年別にみると、高校３年生で「自分のやりたいことを優先すべき」が52.8%で全体と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「安定した企業に入るべき」が31.7%で全体と比較して高くなっている一方、「特にアドバイスはない」が14.6%で低くなっています。また、大畑地区で「自分のやりたいことを優先すべき」が56.3%で全体と比較して高くなっている一方、「特にアドバイスはない」が18.8%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「自分のやりたいことを優先すべき」が50.9%で全体と比較して高くなっています。また、むつ市に住んだことがないとした回答で「特にアドバイスはない」が32.8%で全体と比較して高くなっている一方、「自分のやりたいことを優先すべき」が37.9%で低くなっています。

性別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：回答者の就職に対する親など家族からのアドバイス】

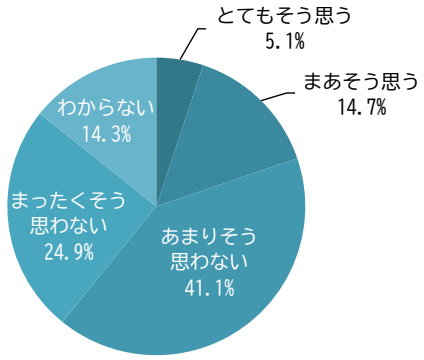
		全体	都市部で経験を積んだ方がよい	安定した企業に入るべき	自分のやりたいことを優先すべき	地元で地域に貢献してほしい	特にアドバイスはない	その他
全体		(511)	4.5	23.1	45.8	0.6	25.4	0.6
性別	男性	(279)	4.3	24.4	47.3	0.4	23.3	0.4
	女性	(222)	4.1	21.6	44.6	0.9	27.9	0.9
	その他	(10)	20.0	20.0	30.0	0.0	30.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	1.8	24.1	42.4	0.6	30.0	1.2
	高校２年生	(211)	6.6	21.8	46.9	0.5	23.7	0.5
	高校３年生	(106)	4.7	19.8	52.8	0.9	21.7	0.0
	大学１年生	(14)	7.1	42.9	21.4	0.0	28.6	0.0
	大学２年生	(9)	0.0	33.3	44.4	0.0	22.2	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	4.9	22.8	45.7	0.3	25.5	0.8
	川内地区	(41)	7.3	31.7	46.3	0.0	14.6	0.0
	大畑地区	(32)	3.1	18.8	56.3	3.1	18.8	0.0
	脇野沢地区	(3)	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	その他	(67)	1.5	22.4	41.8	1.5	32.8	0.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	4.4	23.0	45.4	0.6	25.7	0.9
	むつ市外に住んだことがある	(114)	6.1	21.9	50.9	0.0	21.1	0.0
	むつ市に住んだことがない	(58)	1.7	25.9	37.9	1.7	32.8	0.0

④起業意向について【問 14～15】

問14　あなたは将来、自分で会社やお店を始めるなど、起業したいと思いますか。【SA】

将来における起業への意向については、「あまりそう思わない」と回答した方の割合が41.1%で最も高く、次いで、「全くそう思わない」が24.9%、「まあそう思う」が14.7%となっています。

あなたは将来、自分で会社やお店を始めるなど、起業したいと思いますか。n=511



性別・居住地区により異なる将来の起業意向
―女性では起業に否定的な回答が相対的に多く、大畑地区では起業意向が弱い傾向がみられる一方、学年や居住経験による大きな差はみられない―

将来における起業への意向について、性別でみると、女性で「まったくそう思わない」が30.2%で全体と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、大畑地区で「あまりそう思わない」が53.1%で全体と比較して高くなっている一方、「そう思う」が0.0%、「まあそう思う」が9.4%で低くなっています。

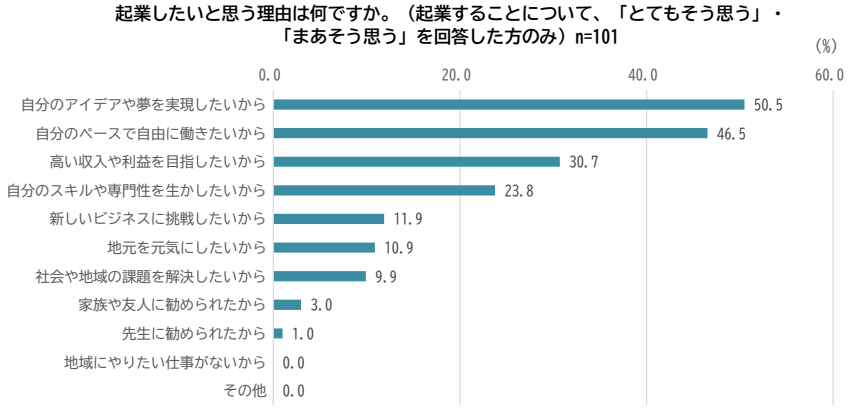
学年別・むつ市での居住経験別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：将来における起業への意向】

		全体	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない
全体		(511)	5.1	14.7	41.1	24.9	14.3
性別	男性	(279)	3.9	15.8	42.7	21.1	16.5
	女性	(222)	5.9	12.6	40.1	30.2	11.3
	その他	(10)	20.0	30.0	20.0	10.0	20.0
学年	高校１年生	(170)	6.5	15.3	45.3	21.2	11.8
	高校２年生	(211)	4.7	12.8	43.6	25.6	13.3
	高校３年生	(106)	4.7	18.9	32.1	26.4	17.9
	大学１年生	(14)	0.0	7.1	28.6	50.0	14.3
	大学２年生	(9)	0.0	11.1	22.2	22.2	44.4
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	6.3	14.9	39.4	25.0	14.4
	川内地区	(41)	4.9	14.6	39.0	24.4	17.1
	大畑地区	(32)	0.0	9.4	53.1	21.9	15.6
	脇野沢地区	(3)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	その他	(67)	0.0	16.4	46.3	25.4	11.9
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	5.6	14.5	40.4	25.4	14.2
	むつ市外に住んだことがある	(114)	5.3	14.0	42.1	22.8	15.8
	むつ市に住んだことがない	(58)	1.7	17.2	43.1	25.9	12.1

問15 起業したいと思う理由は何ですか。【MA】

将来における起業への意向がある方のうち、起業したいと思う理由については、「自分のアイデアや夢を実現したいから」と回答した方の割合が50.5%で最も高く、次いで、「自分のペースで自由に働きたいから」が46.5%、「高い収入や利益を目指したいから」が30.7%となっています。



性別・学年・居住経験等により異なる起業意欲の動機
―女性や高校1年生では「自分のアイデアや夢を実現したい」意欲が強く、高校2年生や生まれてからむつ市に住んでいる層では「スキルや専門性を生かしたい」「新しいビジネスに挑戦したい」「地元を元気にしたい」といった動機が相対的に高い―

将来における起業への意向がある方のうち、起業したいと思う理由について、性別にみると、女性で「自分のアイデアや夢を実現したいから」が56.1%、「自分のスキルや専門性を生かしたいから」が31.7%で全体と比較して高くなっています。

学年別にみると、高校１年生で「自分のアイデアや夢を実現したいから」が59.5%で全体と比較して高くなっている一方、「高い収入や利益を目指したいから」が13.5%で低くなっています。また、高校２年生で「自分のスキルや専門性を生かしたいから」が29.7%、「新しいビジネスに挑戦したいから」が18.9%、「地元を元気にしたいから」が16.2%で全体と比較して高くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、生まれてからずっとむつ市に住んでいるとした回答で「自分のスキルや専門性を生かしたいから」が30.9%で全体と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

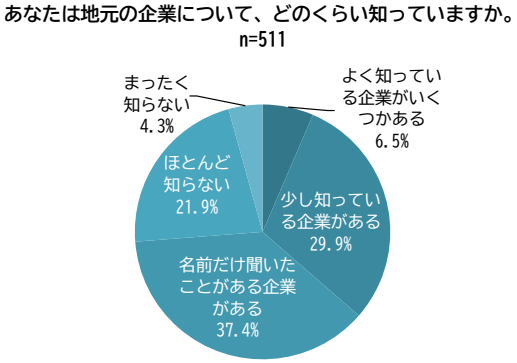
【クロス集計：将来における起業への意向がある方のうち、起業したいと思う理由】

		全体	自分のアイデアや夢を実現したいから	自分のペースで自由に働きたいから	高い収入や利益を目指したいから	社会や地域の課題を解決したいから	地元を元気にしたいから	新しいビジネスに挑戦したいから	自分のスキルや専門性を生かしたいから	地域にやりたい仕事がないから	家族や友人に勧められたから	先生に勧められたから	その他
全体		(101)	50.5	46.5	30.7	9.9	10.9	11.9	23.8	0.0	3.0	1.0	0.0
性別	男性	(55)	47.3	45.5	32.7	5.5	14.5	9.1	16.4	0.0	1.8	0.0	0.0
	女性	(41)	56.1	43.9	26.8	12.2	7.3	9.8	31.7	0.0	4.9	2.4	0.0
	その他	(5)	40.0	80.0	40.0	40.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学年	高校１年生	(37)	59.5	45.9	13.5	2.7	5.4	10.8	21.6	0.0	5.4	0.0	0.0
	高校２年生	(37)	45.9	51.4	35.1	13.5	16.2	18.9	29.7	0.0	0.0	2.7	0.0
	高校３年生	(25)	44.0	36.0	52.0	12.0	8.0	4.0	20.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	大学１年生	(1)	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学２年生	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(78)	50.0	48.7	28.2	10.3	11.5	10.3	28.2	0.0	2.6	0.0	0.0
	川内地区	(8)	37.5	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	大畑地区	(3)	100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	脇野沢地区	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	(11)	54.5	45.5	45.5	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(68)	47.1	42.6	30.9	11.8	8.8	8.8	30.9	0.0	2.9	1.5	0.0
	むつ市外に住んだことがある	(22)	59.1	54.5	27.3	9.1	22.7	22.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	むつ市に住んだことがない	(11)	54.5	54.5	36.4	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0

⑤むつ市の地元企業について【問 16～18】

問16 あなたは地元の企業について、どのくらい知っていますか。【SA】

地元の企業に対する認知については、「名前だけ聞いたことがある企業がある」と回答した方の割合が37.4%で最も高く、次いで、「少しだけ知っている企業がある」が29.9%、「ほとんど知らない」が21.9%となっています。



性別・居住地区・居住経験等により異なる地元企業の認知状況
―女性や大畑地区では「名前だけ聞いたことがある」の認知が高く、川内地区では「少し知っている」が多い。一方、むつ市での居住経験がない層では「ほとんど知らない」が多い―

地元の企業に対する認知について、性別にみると、女性で「名前だけ聞いたことがある企業がある」が42.8%で全体と比較して高くなっている一方、「少し知っている企業がある」が24.8%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「少し知っている企業がある」が36.6%で全体と比較して高くなっています。また、大畑地区で「名前だけ聞いたことがある企業がある」が46.9%で全体と比較して高くなっている一方、「ほとんど知らない」が15.6%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、「ほとんど知らない」が27.6%で全体と比較して高くなっています。

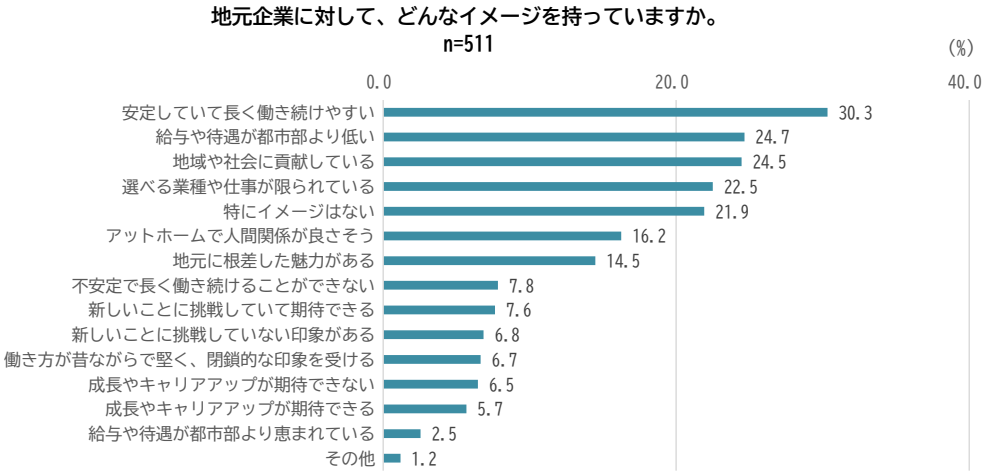
学年別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計:地元の企業に対する認知】

		全体	よく知っている企業がいくつかある	少し知っている企業がある	名前だけ聞いたことがある企業がある	ほとんど知らない	まったく知らない
全体		(511)	6.5	29.9	37.4	21.9	4.3
性別	男性	(279)	9.3	34.1	33.0	20.1	3.6
	女性	(222)	2.7	24.8	42.8	24.8	5.0
	その他	(10)	10.0	30.0	40.0	10.0	10.0
学年	高校１年生	(170)	6.5	26.5	40.0	22.9	4.1
	高校２年生	(211)	7.1	30.3	35.5	22.7	4.3
	高校３年生	(106)	5.7	33.0	39.6	17.0	4.7
	大学１年生	(14)	0.0	28.6	28.6	35.7	7.1
	大学２年生	(9)	11.1	44.4	22.2	22.2	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	7.3	29.6	36.7	22.3	4.1
	川内地区	(41)	4.9	36.6	36.6	19.5	2.4
	大畑地区	(32)	3.1	28.1	46.9	15.6	6.3
	脇野沢地区	(3)	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	その他	(67)	4.5	29.9	35.8	23.9	6.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	7.1	29.5	38.3	21.8	3.2
	むつ市外に住んだことがある	(114)	6.1	31.6	36.0	19.3	7.0
	むつ市に住んだことがない	(58)	3.4	29.3	34.5	27.6	5.2

問17　地元企業に対して、どんなイメージを持っていますか。【MA】

地元企業に対するイメージについては、「安定していて長く働き続けやすい」と回答した方の割合が30.3%で最も高く、次いで、「給与や待遇が都市部より低い」が24.7%、「地域や社会に貢献している」が24.5%となっています。



「その他」の回答

- 労働者の高齢化が、一般企業では著しい。
- 地元出身の人が多いから親しい感じ。
- コミュニティが狭いから他の人に細かいところまで足を踏み入れられそうで人間関係が面倒くさそう。
- 考え方が古そう
- いい印象が無い。
- ブラックそう。

性別・学年・居住地区・居住経験等により異なる地元企業のイメージ
―男性や高校３年生、川内地区では「安定していて長く働き続けやすい」「地域や社会に貢献している」とのイメージが強い傾向。一方、女性や高校１年生、むつ市未居住層では「特にイメージはない」とする割合が高く、イメージが定まっていない傾向が見られる。大畑地区では「給与や待遇の低さ」「地域や社会への貢献」が目立つ―

地元企業に対するイメージについて、性別にみると、男性で「安定していて長く働き続けやすい」が35.8%で全体と比較して高くなっている一方、女性では23.9%で低くなっています。

学年別にみると、高校１年生で「特にイメージはない」が27.6%で全体と比較して高くなっています。また、高校３年生で「安定していて長く働き続けやすい」が35.8%、「地域や社会に貢献している」が31.1%で全体と比較して高くなっている一方、「特にイメージはない」が13.2%、「地元に根差した魅力がある」が7.5%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「安定していて長く働き続けやすい」が48.8%、「成長やキャリアアップが期待できない」が12.2%で全体と比較して高くなっている一方、「給与や待遇が都市部より低い」が14.6%、「選べる業種や仕事が限られている」が17.1%で低くなっています。また、大畑地区で「給与や待遇が都市部より低い」が37.5%、「地域や社会に貢献している」が34.4%で全体と比較して高くなっている一方、「安定していて長く働き続けやすい」が25.0%、「アットホームで人間関係が良さそう」が9.4%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「地域や社会に貢献している」が30.7%で全体と比較して高くなっています。また、むつ市に住んだことがないとした回答で「特にイメージはない」が31.0%、「新しいことに挑戦していない印象がある」が12.1%で全体と比較して高くなっている一方、「地域や社会に貢献している」が19.0%、「給与や待遇が都市部より低い」が15.5%が低くなっています。

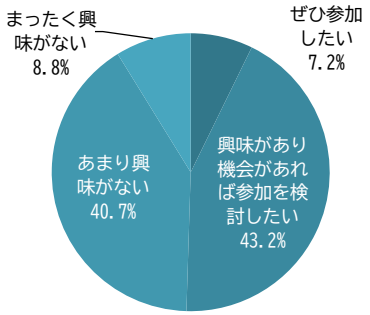
【クロス集計：地元企業に対するイメージ】

		全体	安定していて長く働き続けやすい	不安定で長く働き続けることができない	給与や待遇が都市部より恵まれている	給与や待遇が都市部より低い	成長やキャリアアップが期待できる	成長やキャリアアップが期待できない	新しいことに挑戦していて期待できる	新しいことに挑戦していない印象がある	地域や社会に貢献している	働き方が昔ながらで堅く、閉鎖的な印象を受ける	アットホームで人間関係が良さそう	地元に根差した魅力がある	選べる業種や仕事が限られている	特にイメージはない	その他
全体		(511)	30.3	7.8	2.5	24.7	5.7	6.5	7.6	6.8	24.5	6.7	16.2	14.5	22.5	21.9	1.2
性別	男性	(279)	35.8	8.6	2.9	27.2	7.9	5.7	7.5	7.9	25.4	5.4	16.1	16.1	19.7	20.4	1.8
	女性	(222)	23.9	5.9	2.3	20.7	3.2	6.3	7.7	5.0	23.9	7.7	17.1	11.7	25.2	23.9	0.5
	その他	(10)	20.0	30.0	0.0	40.0	0.0	30.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	30.0	40.0	20.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	32.4	5.3	2.4	24.1	5.3	2.9	8.8	8.2	20.6	4.1	14.7	13.5	19.4	27.6	0.6
	高校２年生	(211)	27.0	11.8	2.4	26.1	5.7	7.6	7.1	8.1	24.2	8.1	20.4	19.0	26.5	21.8	0.5
	高校３年生	(106)	35.8	5.7	3.8	24.5	3.8	9.4	5.7	3.8	31.1	8.5	11.3	7.5	18.9	13.2	1.9
	大学１年生	(14)	14.3	0.0	0.0	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	28.6	0.0	7.1	7.1	28.6	28.6	14.3
	大学２年生	(9)	33.3	0.0	0.0	33.3	22.2	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	28.3	7.1	2.7	25.8	6.3	6.0	7.3	5.7	23.9	6.8	17.1	15.5	22.6	21.5	1.4
	川内地区	(41)	48.8	7.3	2.4	14.6	4.9	12.2	9.8	9.8	29.3	7.3	12.2	12.2	17.1	17.1	0.0
	大畑地区	(32)	25.0	9.4	0.0	37.5	6.3	3.1	12.5	3.1	34.4	6.3	9.4	12.5	21.9	21.9	0.0
	脇野沢地区	(3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	その他	(67)	31.3	11.9	3.0	19.4	3.0	7.5	6.0	13.4	19.4	4.5	16.4	11.9	25.4	28.4	1.5
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	31.3	6.8	3.2	25.7	5.9	5.6	7.4	5.3	23.3	8.0	18.0	14.5	23.3	20.1	0.6
	むつ市外に住んだことがある	(114)	28.1	8.8	0.9	26.3	6.1	9.6	9.6	8.8	30.7	4.4	11.4	14.9	18.4	22.8	3.5
	むつ市に住んだことがない	(58)	29.3	12.1	1.7	15.5	3.4	5.2	5.2	12.1	19.0	3.4	15.5	13.8	25.9	31.0	0.0

問18　起業や、地元企業について学んだり、知ることができる機会があれば、参加してみたいと思いますか。【SA】

起業や地元企業に関する学んだり、知る機会への参加意向については、「興味があり機会があれば参加を検討したい」と回答した方の割合が43.2%で最も高く、次いで、「あまり興味がない」が40.7%、「ぜひ参加したい」が7.2%となっています。

起業や、地元企業について学んだり、知ることができる機会があれば、参加してみたいと思いますか。n=511



学年・居住地区・居住経験等により異なる起業や地元企業に関する学び・知る機会への参加意向
―高校１年生や大畑地区、むつ市未居住層では「興味があり、機会があれば参加を検討したい」とする意向が高い傾向。一方、高校２年生や川内地区、むつ市外居住経験者では「興味がない」「まったく興味がない」とする割合が比較的高く、参加意向は控えめな傾向―

起業や地元企業に関する学んだり、知る機会への参加意向について、学年別にみると、高校１年生で「興味があり機会があれば参加を検討したい」が48.8%で全体と比較して高くなっている一方、高校２年生が37.0%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「あまり興味がない」が46.3%で全体と比較して高くなっている一方、「まったく興味がない」が2.4%で低くなっています。また、大畑地区で「興味があり機会があれば参加を検討したい」が59.4%で全体と比較して高くなっている一方、「まったく興味がない」が0.0%となっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「まったく興味がない」が14.9%で全体と比較して高くなっている一方、「興味があり機会があれば参加を検討したい」が33.3%で低くなっています。また、むつ市に住んだことがないとした回答で「興味があり機会があれば参加を検討したい」が51.7%で全体と比較して高くなっています。

男女別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

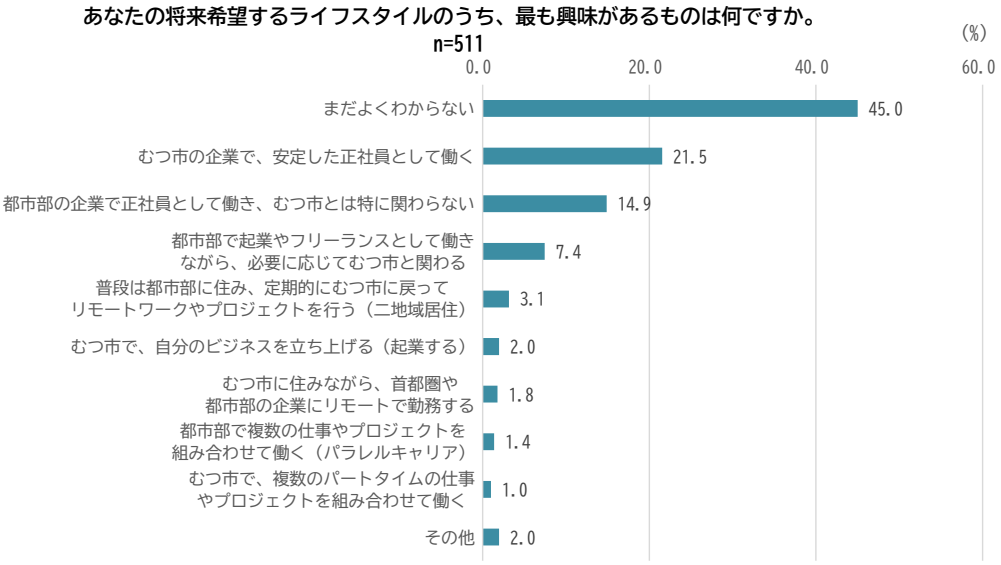
【クロス集計：起業や地元企業に関する学んだり、知る機会への参加意向】

		全体	ぜひ参加したい	興味があり機会があれば参加を検討したい	あまり興味がない	まったく興味がない
全体		(511)	7.2	43.2	40.7	8.8
性別	男性	(279)	8.2	46.6	38.0	7.2
	女性	(222)	5.9	38.3	44.6	11.3
	その他	(10)	10.0	60.0	30.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	5.9	48.8	39.4	5.9
	高校２年生	(211)	7.6	37.0	43.6	11.8
	高校３年生	(106)	9.4	44.3	39.6	6.6
	大学１年生	(14)	7.1	28.6	42.9	21.4
	大学２年生	(9)	0.0	88.9	11.1	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	100.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	8.2	41.6	40.5	9.8
	川内地区	(41)	7.3	43.9	46.3	2.4
	大畑地区	(32)	3.1	59.4	37.5	0.0
	脇野沢地区	(3)	0.0	33.3	33.3	33.3
	その他	(67)	4.5	44.8	40.3	10.4
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	7.4	45.1	40.7	6.8
	むつ市外に住んだことがある	(114)	8.8	33.3	43.0	14.9
	むつ市に住んだことがない	(58)	3.4	51.7	36.2	8.6

⑥希望するライフスタイルについて【問 19～21】

問19　あなたの将来希望するライフスタイルのうち、最も興味があるものは何ですか。【SA】

最も興味のある、将来希望するライフスタイルについては、「まだよくわからない」と回答した方の割合が45.0%で最も高く、次いで、「むつ市の企業で、安定した正社員として働く」が21.5%、「都市部の企業で正社員として働き、むつ市とは特に関わらない」が14.9%となっています。



「その他」の回答

・むつ市に住んで、むつ市外の企業で働く。
・むつ市外の地域で起業したい。
・数年、出稼ぎに行ってむつに戻ってくる。
・首都圏で働いて休暇でむつに帰ってくる。
・社会人として働きつつ、空いている時間があればゴミ拾い活動などをする。
・一度むつ市を出て知識や実務経験を積んで、その後むつ市に還元する
・東北圏内で就職して長い休みが取れたら帰ってくる。
・青森市で働く。
・海外に住みたい。
・海外で働きたい。

学年・居住地区・居住経験等により異なる将来希望するライフスタイルの志向
―高校３年生では「都市部の企業で正社員として働き、むつ市とは特に関わらない」とする志向が高い一方、「まだよくわからない」は低い傾向。川内地区では「むつ市の企業で安定した正社員として働く」が高い傾向―

最も興味のある、将来希望するライフスタイルについて、学年別にみると、高校３年生で「都市部の企業で正社員として働き、むつ市とは特に関わらない」が22.6%で全体と比較して高くなっている一方、「まだよくわからない」が38.7%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「むつ市の企業で、安定した正社員として働く」が41.5%で全体と比較して高くなっている一方、「まだよくわからない」が36.6%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市に住んだことがないとした回答で「まだよくわからない」が53.4%で全体と比較して高くなっている一方、「むつ市の企業で、安定した正社員として働く」が12.1%で低くなっています。

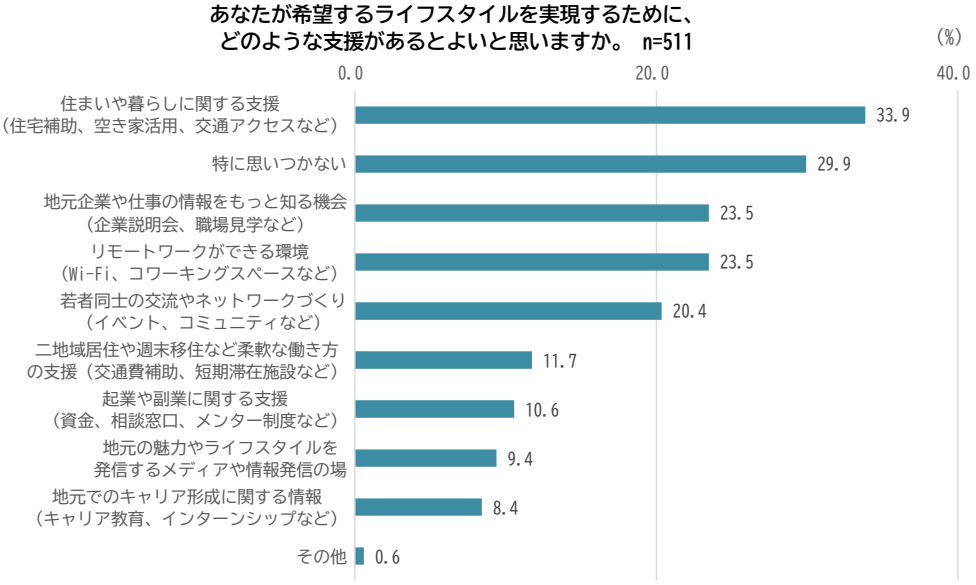
性別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計:最も興味のある、将来希望するライフスタイル】

		全体	むつ市の企業で、安定した正社員として働く	むつ市に住みながら、首都圏や都市部の企業にリモートで勤務する	むつ市で、自分のビジネスを立ち上げる（起業する）	むつ市で、複数のパートタイムの仕事やプロジェクトを組み合わせて働く	普段は都市部に住み、定期的にむつ市に戻ってリモートワークやプロジェクトを行う（二地域居住）	都市部の企業で正社員として働き、むつ市とは特に関わらない	都市部で起業やフリーランスとして働きながら、必要に応じてむつ市と関わる	都市部で複数の仕事やプロジェクトを組み合わせて働く（パラレルキャリア）	まだよくわからない	その他
全体		(511)	21.5	1.8	2.0	1.0	3.1	14.9	7.4	1.4	45.0	2.0
性別	男性	(279)	21.9	2.5	1.8	1.1	3.9	12.2	8.6	1.8	43.7	2.5
	女性	(222)	21.6	0.9	2.3	0.9	2.3	18.9	5.9	0.9	45.5	0.9
	その他	(10)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	70.0	10.0
学年	高校１年生	(170)	21.8	1.8	2.4	1.8	2.9	13.5	8.8	1.2	45.3	0.6
	高校２年生	(211)	18.0	1.4	1.9	0.9	2.8	13.7	8.1	1.4	49.3	2.4
	高校３年生	(106)	21.7	0.9	1.9	0.0	3.8	22.6	5.7	1.9	38.7	2.8
	大学１年生	(14)	64.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0
	大学２年生	(9)	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	20.4	1.1	2.2	1.4	3.8	14.1	7.9	1.4	45.4	2.4
	川内地区	(41)	41.5	2.4	4.9	0.0	0.0	12.2	2.4	0.0	36.6	0.0
	大畑地区	(32)	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	15.6	6.3	3.1	43.8	0.0
	脇野沢地区	(3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	(67)	14.9	3.0	0.0	0.0	3.0	20.9	9.0	1.5	46.3	1.5
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	23.3	1.8	2.4	0.6	2.7	13.3	7.1	1.5	45.7	1.8
	むつ市外に住んだことがある	(114)	21.1	0.9	1.8	2.6	4.4	18.4	7.9	0.9	38.6	3.5
	むつ市に住んだことがない	(58)	12.1	3.4	0.0	0.0	3.4	17.2	8.6	1.7	53.4	0.0

問20 あなたが希望するライフスタイルを実現するために、どのような支援があるとよいと思いますか。【MA】

希望するライフスタイルの実現のための必要と思う支援については、「住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）」と回答した方の割合が33.9%で最も高く、次いで、「特に思いつかない」が29.9%、「地元企業や仕事の情報をもっとする機会（企業説明会、職場見学など）」が23.5%となっています。



「その他」の回答

- 支援は不要。もっと大事なことに力入れて下さい。
- 防災についての支援(ペットも避難できる避難所)
- よくわからない。

学年・居住地区・居住経験等により異なるライフスタイル実現のために希望する支援の意向
―高校１年生では住宅・暮らし支援や若者交流へ支援の関心は低い一方、高校３年生では起業・副業支援への関心が高い。川内地区では住宅・暮らし支援や地元企業情報・リモートワーク環境の整備などの支援への関心が高い―

希望するライフスタイルの実現のための必要と思う支援について、学年別にみると、高校１年生で「住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）」が27.6%、「若者同士の交流やネットワークづくり（イベント、コミュニティなど）」が14.1%で全体と比較して低くなっています。また、高校３年生で「起業や副業に関する支援（資金、相談窓口、メンター制度など）」が16.0%で全体と比較して高くなっている一方、「特に思いつかない」が24.5%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）」が43.9%、「地元企業や仕事の情報をもっと知る機会（企業説明会、職場見学など）」、「リモートワークができる環境（Wi-Fi、コワーキングスペースなど）」がそれぞれ36.6%で全体と比較して高くなっている一方、「特に思いつかない」が12.2%で低くなっています。また、大畑地区で「住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）」が59.4%、「二地域居住や週末移住など柔軟な働き方の支援（交通費補助、短期滞在施設など）」が21.9%で全体と比較して高くなっている一方、「特に思いつかない」が6.3%、「リモートワークができる環境（Wi-Fi、コワーキングスペースなど）」が15.6%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、「むつ市に住んだことがない」とした回答で「特に思いつかない」が39.7%で全体と比較して高くなっている一方、「住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）」が25.9%、「二地域居住や週末移住など柔軟な働き方の支援（交通費補助、短期滞在施設など）」が5.2%、「地元の魅力やライフスタイルを発信するメディアや情報発信の場」が0.0%で低くなっています。

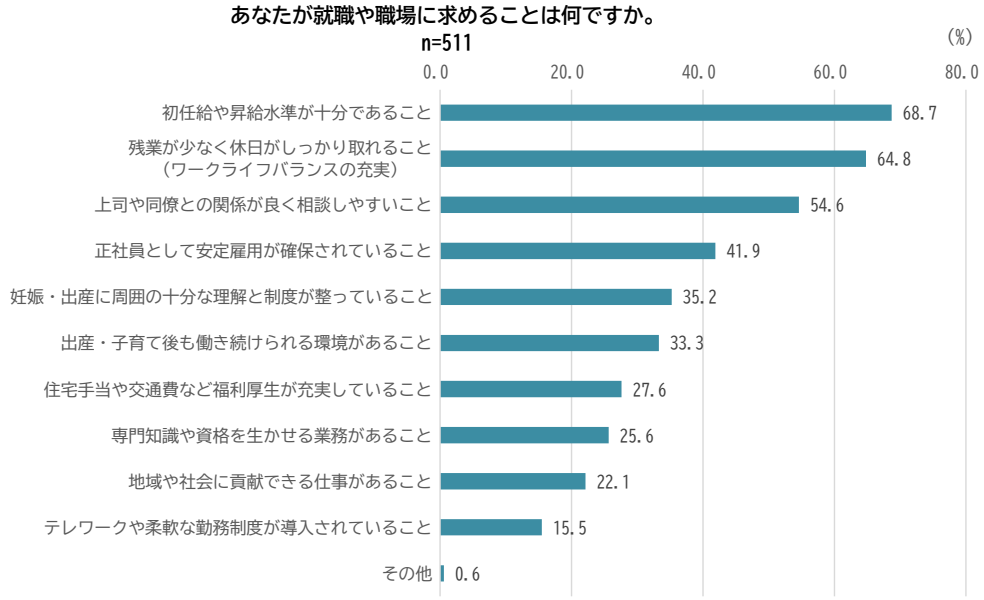
性別にみると、それぞれおおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計：希望するライフスタイルの実現のための必要と思う支援】

		全体	地元企業や仕事の情報をもっと知る機会（企業説明会、職場見学など）	リモートワークができる環境（Wi-Fi、コワーキングスペースなど）	起業や副業に関する支援（資金、相談窓口、メンター制度など）	住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）	若者同士の交流やネットワークづくり（イベント、コミュニティなど）	地元でのキャリア形成に関する情報（キャリア教育、インターンシップなど）	二地域居住や週末移住など柔軟な働き方の支援（交通費補助、短期滞在施設など）	地元の魅力やライフスタイルを発信するメディアや情報発信の場	特に思いつかない	その他
全体		(511)	23.5	23.5	10.6	33.9	20.4	8.4	11.7	9.4	29.9	0.6
性別	男性	(279)	24.7	21.5	12.5	29.7	20.8	9.7	11.8	11.1	33.0	0.7
	女性	(222)	21.6	25.2	7.7	38.3	19.4	6.3	10.4	7.7	27.0	0.5
	その他	(10)	30.0	40.0	20.0	50.0	30.0	20.0	40.0	0.0	10.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	24.1	24.7	7.6	27.6	14.1	4.1	9.4	8.8	33.5	0.6
	高校２年生	(211)	21.3	21.3	10.9	36.5	22.3	9.5	15.2	8.5	30.8	0.0
	高校３年生	(106)	24.5	23.6	16.0	35.8	24.5	10.4	8.5	12.3	24.5	1.9
	大学１年生	(14)	35.7	28.6	0.0	50.0	21.4	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0
	大学２年生	(9)	22.2	33.3	11.1	33.3	44.4	22.2	33.3	11.1	33.3	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	21.7	22.6	10.6	31.8	19.6	8.4	11.4	10.6	32.3	0.8
	川内地区	(41)	36.6	36.6	9.8	43.9	26.8	7.3	17.1	12.2	12.2	0.0
	大畑地区	(32)	31.3	15.6	6.3	59.4	28.1	15.6	21.9	9.4	6.3	0.0
	脇野沢地区	(3)	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	その他	(67)	20.9	25.4	13.4	26.9	16.4	4.5	4.5	1.5	38.8	0.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	23.6	23.6	9.7	33.6	21.8	8.6	13.0	11.2	28.9	0.6
	むつ市外に住んだことがある	(114)	23.7	22.8	10.5	38.6	18.4	10.5	11.4	8.8	28.1	0.9
	むつ市に住んだことがない	(58)	22.4	24.1	15.5	25.9	15.5	3.4	5.2	0.0	39.7	0.0

問21　あなたが就職や職場に求めることは何ですか。【MA】

就職や職場に求めることについては、「初任給や昇給水準が十分であること」と回答した方の割合が68.7%で最も高く、次いで、「残業が少なく休日がしっかり取れること（ワークライフバランスの充実)」が64.8%、「上司や同僚との関係が良く相談しやすいこと」が54.6%となっています。



「その他」の回答

- やりたい事かどうか。
- 自分のやりたいことができること。
- 自分が働いててやりがいを感じるか。

性別・学年・居住地区・居住経験等により異なる就職・職場に求める条件
―女性や高校３年生は妊娠・出産や子育て後も働き続けられる環境を重視。川内地区では相談しやすい職場や子育て環境、大畑地区ではワークライフバランスや地域貢献への関心が高い―

就職や職場に求めることについて、性別にみると、女性で「妊娠・出産に周囲の十分な理解と制度が整っていること」が48.6%、「出産・子育て後も働き続けられる環境があること」が46.8%で全体と比較して高くなっている一方、男性ではそれぞれ24.7%、22.6%で低くなっています。

学年別にみると、高校３年生で「妊娠・出産に周囲の十分な理解と制度が整っていること」が41.5%、「地域や社会に貢献できる仕事があること」が31.1%で全体と比較して高くなっている一方、「上司や同僚との関係が良く相談しやすいこと」が49.1%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「上司や同僚との関係が良く相談しやすいこと」が68.3%、「妊娠・出産に周囲の十分な理解と制度が整っていること」が48.8%、「出産・子育て後も働き続けられる環境があること」が43.9%で全体と比較して高くなっています。また、大畑地区では、「残業が少なく休日がしっかり取れること（ワークライフバランスの充実)」が75.0%、「地域や社会に貢献できる仕事があること」が31.3%で全体と比較して高くなっている一方、「出産・子育て後も働き続けられる環境があること」が21.9%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市に住んだことがないとした回答で「住宅手当や交通費など福利厚生が充実していること」が22.4%、「専門知識や資格を生かせる業務があること」が17.2%で全体と比較して低くなっています。

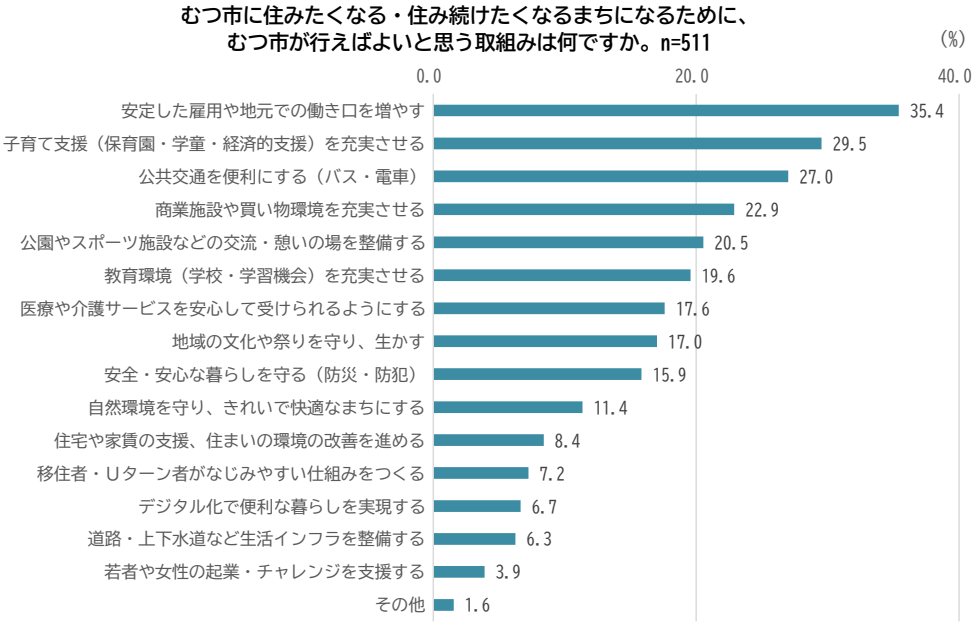
【クロス集計：就職や職場に求めること】

		全体	初任給や昇給水準が十分であること	正社員として安定雇用が確保されていること	残業が少なく休日がしっかり取れること（ワークライフバランスの充実）	上司や同僚との関係が良く相談しやすいこと	地域や社会に貢献できる仕事があること	専門知識や資格を生かせる業務があること	住宅手当や交通費など福利厚生が充実していること	テレワークや柔軟な勤務制度が導入されていること	妊娠・出産に周囲の十分な理解と制度が整っていること	出産・子育て後も働き続けられる環境があること	その他
全体		(511)	68.7	41.9	64.8	54.6	22.1	25.6	27.6	15.5	35.2	33.3	0.6
性別	男性	(279)	68.5	44.1	66.3	52.7	22.2	21.5	29.0	16.8	24.7	22.6	0.7
	女性	(222)	68.5	38.3	62.6	57.2	21.6	29.7	25.2	13.1	48.6	46.8	0.5
	その他	(10)	80.0	60.0	70.0	50.0	30.0	50.0	40.0	30.0	30.0	30.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	70.0	42.4	62.4	56.5	20.6	21.8	22.9	12.9	28.8	30.6	0.6
	高校２年生	(211)	68.7	38.4	67.3	53.6	17.1	26.5	25.6	12.8	35.1	32.2	0.9
	高校３年生	(106)	66.0	44.3	63.2	49.1	31.1	28.3	32.1	19.8	41.5	36.8	0.0
	大学１年生	(14)	85.7	57.1	71.4	64.3	42.9	50.0	71.4	28.6	71.4	64.3	0.0
	大学２年生	(9)	44.4	55.6	55.6	88.9	33.3	11.1	33.3	44.4	22.2	22.2	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	67.4	41.6	64.4	52.7	21.2	26.1	28.0	16.6	34.8	33.4	0.8
	川内地区	(41)	70.7	41.5	70.7	68.3	31.7	29.3	36.6	17.1	48.8	43.9	0.0
	大畑地区	(32)	71.9	37.5	75.0	50.0	31.3	21.9	18.8	9.4	28.1	21.9	0.0
	脇野沢地区	(3)	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	その他	(67)	73.1	46.3	58.2	58.2	16.4	22.4	25.4	10.4	32.8	31.3	0.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	67.8	41.6	65.5	54.3	22.7	25.7	28.0	15.3	35.4	33.0	0.6
	むつ市外に住んだことがある	(114)	71.1	43.9	64.0	53.5	22.8	29.8	28.9	17.5	36.0	34.2	0.0
	むつ市に住んだことがない	(58)	69.0	39.7	62.1	58.6	17.2	17.2	22.4	12.1	32.8	32.8	1.7

⑦むつ市の今後のまちづくりについて【問22～23】

問22 むつ市に住みたくなる・住み続けたくなるまちになるために、むつ市が行えばよいと思う取組みは何ですか。【MA】

むつ市が住みたくなる・住み続けたくなるまちになるための行うべき取組については、「安定した雇用や地元での働き口を増やす」と回答した方の割合が35.4%で最も高く、次いで、「子育て支援（保育園・学童・経済的支援）を充実させる」が29.5%、「公共交通を便利にする（バス・電車）」が27.0%となっています。



「その他」の回答

- 薬局や車屋が多いので他のお店を作ってほしいです。
- 単純に、全体的に給料上げてほしい。
- もっと遊ぶところを増やす。
- 飯屋とかを作る。
- 娯楽施設増やす。
- 月に一回、まちの人たちや公務員（市長なども含む)の方達が積極的にゴミ拾い活動を行うべきだと思います。
- 人口減少を踏まえてください。
- 賃上げ

学年・居住地区・居住経験等により異なる「むつ市が住みたくなる・住み続けたくなるまち」への取組意向
―高校１年生は自然環境保全への関心が高い。川内地区では医療・介護や安定した雇用、大畑地区では教育や地域文化の維持・活用に対する関心が高い。未居住層では子育て支援や雇用拡充への期待が顕著―

むつ市が住みたくなる・住み続けたくなるまちになるための行うべき取組について、学年別にみると、高校１年生で「自然環境を守り、きれいで快適なまちにする」が16.5%全体と比較して高くなっています。また、高校３年生で「子育て支援（保育園・学童・経済的支援）を充実させる」が24.5%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「医療や介護サービスを安心して受けられるようにする」が31.7%、「安定した雇用や地元での働き口を増やす」が43.9%で全体と比較して高くなっている一方、「公共交通を便利にする（バス・電車)」が22.0%、「商業施設や買い物環境を充実させる」が14.6%で低くなっています。また、大畑地区で「地域の文化や祭りを守り、生かす」が28.1%、「教育環境（学校・学習機会）を充実させる」が25.0%で全体と比較して高くなっている一方、「商業施設や買い物環境を充実させる」が12.5%、「安定した雇用や地元での働き口を増やす」が28.1%、「住宅や家賃の支援、住まいの環境の改善を進める」が3.1%で低くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「住宅や家賃の支援、住まいの環境の改善を進める」が14.9%で全体と比較して高くなっています。また、むつ市に住んだことがないとした回答で「安定した雇用や地元での働き口を増やす」が43.1%、「子育て支援（保育園・学童・経済的支援）を充実させる」が36.2%で高くなっている一方、「商業施設や買い物環境を

充実させる」が17.2%、「公園やスポーツ施設などの交流・憩いの場を整備する」が13.8%、「地域の文化や祭りを守り、生かす」が8.6%で低くなっています。

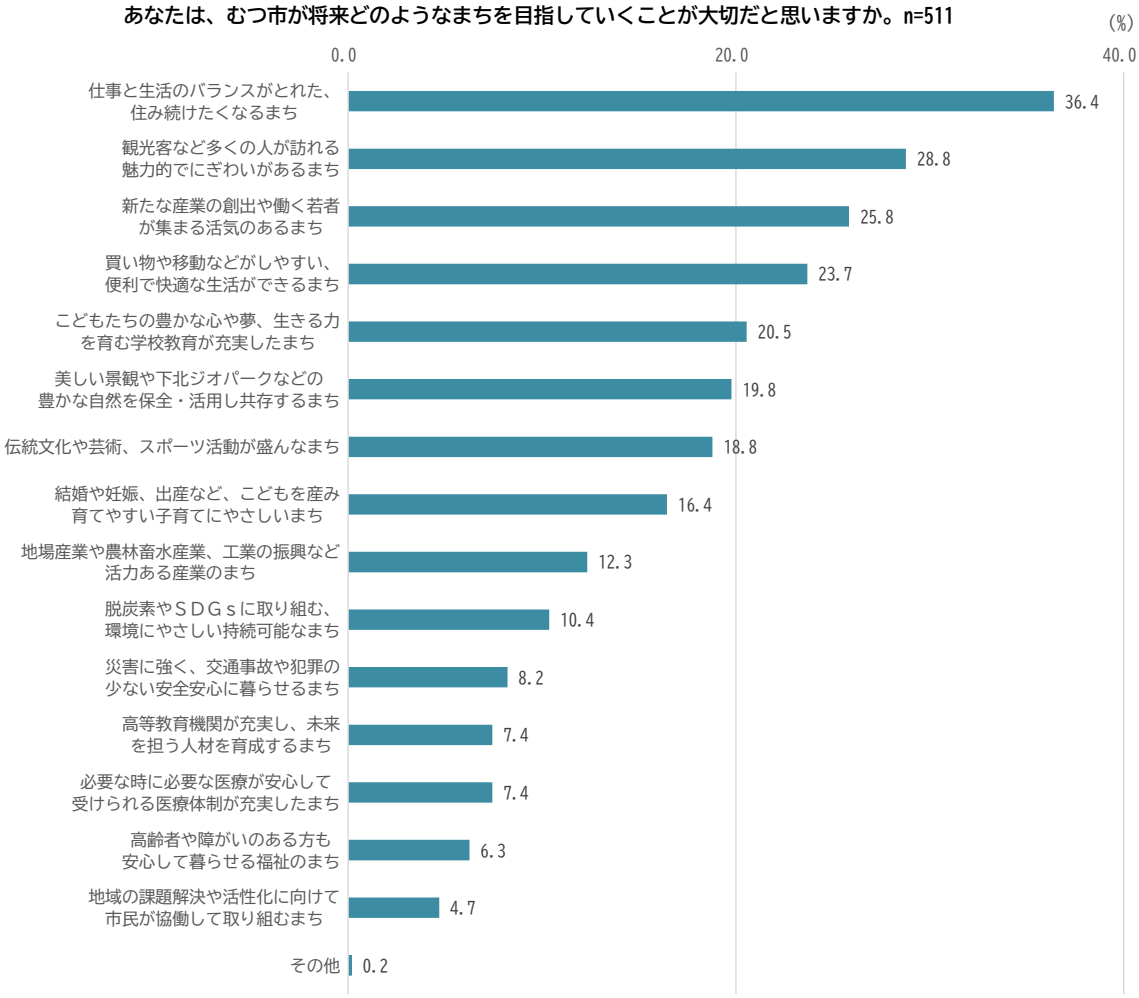
性別にみると、おおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計:むつ市が住みたくなる・住み続けたくなるまちになるための行うべき取組】

		全体	安定した雇用や地元での働き口を増やす	子育て支援(保育園・学童・経済的支援)を充実させる	教育環境(学校・学習機会)を充実させる	医療や介護サービスを安心して受けられるようにする	公共交通を便利にする(バス・電車)	道路・上下水道など生活インフラを整備する	安全・安心な暮らしを守る(防災・防犯)	住宅や家賃の支援、住まいの環境の改善を進める	商業施設や買い物環境を充実させる	公園やスポーツ施設などの交流・憩いの場を整備する	若者や女性の起業・チャレンジを支援する	地域の文化や祭りを守り、生かす	自然環境を守り、きれいで快適なまちにする	移住者・Uターン者がなじみやすい仕組みをつくる	デジタル化で便利な暮らしを実現する	その他
全体		(511)	35.4	29.5	19.6	17.6	27.0	6.3	15.9	8.4	22.9	20.5	3.9	17.0	11.4	7.2	6.7	1.6
性別	男性	(279)	37.3	27.6	19.4	14.3	24.4	8.6	17.2	9.0	25.4	21.5	2.9	16.8	12.5	8.2	6.5	2.5
	女性	(222)	32.0	31.5	18.5	22.1	31.1	3.6	14.0	7.2	20.7	19.8	5.0	17.6	9.9	6.3	6.8	0.5
	その他	(10)	60.0	40.0	50.0	10.0	10.0	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	38.2	29.4	17.6	14.1	27.6	10.6	14.7	6.5	21.8	22.4	2.4	21.2	16.5	4.7	7.6	0.6
	高校２年生	(211)	33.2	30.8	21.8	21.8	25.6	4.3	15.6	9.0	24.2	18.5	3.3	15.2	8.5	10.4	7.6	1.9
	高校３年生	(106)	33.0	24.5	18.9	15.1	30.2	4.7	17.9	7.5	20.8	22.6	6.6	14.2	8.5	4.7	3.8	2.8
	大学１年生	(14)	42.9	50.0	21.4	28.6	21.4	0.0	7.1	28.6	35.7	14.3	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0
	大学２年生	(9)	44.4	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	33.2	28.3	19.3	16.3	27.4	6.5	14.4	9.8	25.8	22.3	3.8	16.6	10.1	6.5	7.6	1.9
	川内地区	(41)	43.9	29.3	22.0	31.7	22.0	2.4	24.4	4.9	14.6	17.1	0.0	24.4	17.1	7.3	2.4	0.0
	大畑地区	(32)	28.1	34.4	25.0	21.9	31.3	9.4	18.8	3.1	12.5	18.8	3.1	28.1	15.6	12.5	6.3	0.0
	脇野沢地区	(3)	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(67)	46.3	34.3	14.9	13.4	26.9	4.5	17.9	4.5	17.9	14.9	7.5	10.4	13.4	9.0	4.5	1.5
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	35.4	27.1	20.1	18.3	26.5	5.6	15.9	7.1	22.7	22.1	3.8	20.1	11.8	7.1	7.4	1.2
	むつ市外に住んだことがある	(114)	31.6	33.3	20.2	17.5	27.2	8.8	14.0	14.9	26.3	19.3	1.8	12.3	9.6	6.1	5.3	2.6
	むつ市に住んだことがない	(58)	43.1	36.2	15.5	13.8	29.3	5.2	19.0	3.4	17.2	13.8	8.6	8.6	12.1	10.3	5.2	1.7

問23 あなたは、むつ市が将来どのようなまちを目指していくことが大切だと思いますか。【MA】

むつ市が将来目指すべきまちについては、「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」と回答した方の割合が36.4%で最も高く、次いで、「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が28.8%、「新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち」が25.8%となっています。



「その他」の回答

・ 遊ぶ場所を増やす。

学年・居住地区・居住経験等により異なるむつ市が目指すまち像
―高校１年生は安全・安心なまちへの関心が高い。高校３年生では活力ある地場産業への関心が顕著。川内地区では観光・自然・子育て環境の充実、大畑地区では仕事と生活の両立や観光・子育て環境への関心が高い。市外居住経験層・未居住層では、観光・産業・生活環境への関心が高い―

むつ市が将来目指すべきまちについて、学年別にみると、高校１年生で「災害に強く、交通事故や犯罪の少ない安全安心に暮らせるまち」が14.7%で全体と比較して高くなっています。また、高校３年生で「地場産業や農林畜水産業、工業の振興など活力ある産業のまち」が17.9%で全体と比較して高くなっている一方、「買い物や移動などがしやすい、便利で快適な生活ができるまち」が17.0%で低くなっています。

居住地区別にみると、川内地区で「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が34.1%、「美しい景観や下北ジオパークなどの豊かな自然を保全・活用し共存するまち」が29.3%、「結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち」が22.0%で全体と比較して高くなっている一方、「新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち」、「こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち」がそれぞれ14.6%で低くなっています。また、大畑地区では、「仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち」が43.8%、「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が37.5%、「結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育

てやすい子育てにやさしいまち」が28.1%で全体と比較して高くなっています。

むつ市での居住経験別にみると、むつ市外に住んだことがあるとした回答で「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が23.7%で全体と比較して低くなっています。また、むつ市に住んだことがないとした回答で「観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち」が37.9%、「新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち」が31.0%、「買い物や移動などがしやすい、便利で快適な生活ができるまち」が29.3%で全体と比較して高くなっている一方、「高等教育機関が充実し、未来を担う人材を育成するまち」が1.7%で低くなっています。

性別にみると、おおむね全体と同様の傾向となっています。

【クロス集計:むつ市が将来目指すべきまち】

		全体	地場産業や農林畜水産業、工業の振興など活力ある産業のまち	新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち	観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち	仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち	美しい景観や下北ジオパークなどの豊かな自然を保全・活用し共存するまち	脱炭素やSDGsに取り組む、環境にやさしい持続可能なまち	こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち	高等教育機関が充実し、未来を担う人材を育成するまち	伝統文化や芸術、スポーツ活動が盛んなまち	結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち	必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち	高齢者や障がいのある方も安心して暮らせる福祉のまち	買い物や移動などがしやすい、便利で快適な生活ができるまち	災害に強く、交通事故や犯罪の少ない安全安心に暮らせるまち	地域の課題解決や活性化に向けて市民が協働して取り組むまち	その他
全体		(511)	12.3	25.8	28.8	36.4	19.8	10.4	20.5	7.4	18.8	16.4	7.4	6.3	23.7	8.2	4.7	0.2
性別	男性	(279)	15.1	28.0	28.3	37.3	20.8	11.8	18.6	6.8	22.2	15.4	6.5	4.7	24.7	9.7	5.4	0.4
	女性	(222)	9.0	24.3	29.7	36.0	18.5	8.1	21.2	7.2	15.3	18.0	8.6	8.6	21.6	6.3	3.6	0.0
	その他	(10)	10.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	60.0	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0	40.0	10.0	10.0	0.0
学年	高校１年生	(170)	10.0	27.1	25.3	34.1	21.8	13.5	21.2	4.7	21.8	15.3	4.7	5.3	24.7	14.7	5.3	0.6
	高校２年生	(211)	11.4	23.7	29.4	39.8	17.5	8.1	18.5	10.0	20.9	18.5	10.0	7.6	27.0	5.7	4.7	0.0
	高校３年生	(106)	17.9	23.6	31.1	32.1	19.8	9.4	21.7	4.7	14.2	16.0	5.7	5.7	17.0	3.8	4.7	0.0
	大学１年生	(14)	21.4	42.9	28.6	35.7	21.4	7.1	35.7	14.3	0.0	7.1	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0
	大学２年生	(9)	0.0	44.4	55.6	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学３年生	(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大学４年生	(1)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	むつ地区	(368)	12.2	26.1	25.5	35.9	19.3	10.3	21.2	8.7	19.8	15.5	7.6	7.1	22.3	7.9	6.3	0.3
	川内地区	(41)	14.6	14.6	34.1	34.1	29.3	9.8	14.6	7.3	14.6	22.0	7.3	4.9	26.8	9.8	2.4	0.0
	大畑地区	(32)	12.5	28.1	37.5	43.8	21.9	9.4	18.8	6.3	21.9	28.1	3.1	6.3	21.9	9.4	0.0	0.0
	脇野沢地区	(3)	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	その他	(67)	10.4	29.9	38.8	37.3	16.4	10.4	22.4	1.5	14.9	13.4	7.5	3.0	29.9	9.0	0.0	0.0
むつ市での居住経験	生まれてからずっとむつ市に住んでいる	(339)	13.9	26.5	28.9	34.8	19.5	10.6	19.2	8.0	21.2	16.8	6.5	6.2	21.5	9.1	6.2	0.3
	むつ市外に住んだことがある	(114)	7.9	21.1	23.7	39.5	22.8	9.6	23.7	8.8	14.0	16.7	10.5	7.9	27.2	6.1	2.6	0.0
	むつ市に住んだことがない	(58)	12.1	31.0	37.9	39.7	15.5	10.3	22.4	1.7	13.8	13.8	6.9	3.4	29.3	6.9	0.0	0.0

⑧むつ市の将来のまちづくりについての自由意見

あなたがもし、むつ市の“市長”になったら、どんなまちづくりをしてみたいですか？むつ市で日ごろ生活する中で考えていることや、まちづくりへの提案やアイデアなど、ご自由に記入してください。【FA】

むつ市の将来のまちづくりについては、160 人より回答を得ました。遊び・娯楽・商業施設の充実をはじめ、交通インフラ、子育て・教育支援などについて多くの意見が挙げられています。

主なポイントは以下のとおりです。

① 遊び・娯楽・商業施設の充実

むつ市における「遊び・娯楽・商業施設の不足」は、特に学生からの強い関心事であり、日常的に楽しめる場所の選択肢が限られていることへの不満が多く寄せられました。ショッピングモールや飲食チェーン店、カフェ、ゲームセンター、ボウリング場、映画館、遊園地、スポーツ施設など、都市部にあるような施設の整備を求める意見が多く挙げられています。これらの施設は、単なる娯楽の場にとどまらず、地域のにぎわい創出、若者の定住促進、観光客の誘致、雇用の創出にもつながると期待されています。

また、子どもが安全に遊べる公園や屋内施設、学生が勉強できるスペース、世代を超えて交流できる場所など、年齢や目的に応じた多様な施設の整備も求められています。

さらに、むつ市の中心市街地（特に田名部地区）の活性化を目的とした施設整備や、空き店舗の利活用、インスタ映えするスポットの創出など、まちの魅力を高めるための具体的なアイデアも多く見られました。

▸主な意見（原文抜粋）
- 「遊ぶ場所を増やす。ショッピングセンターを作る。田名部中心部活性化。」
- 「飲食店が少なく行くとこが毎回同じなので飲食店を建設したいです。」
- 「もっと遊べる場所を増やしたり、飲食店を増やして、賑わう街にしたい。」
- 「ショッピングモールなどを作って欲しい。」
- 「子供などが遊べる施設を増やす。新しい系統の店を増やす。」
- 「都市部にあって、過疎地にない建物を作る。」
- 「学生が遊べる場所を増やす。」
- 「遊ぶ施設や若者に人気な施設を作る。」
- 「公園を増やして子供が活発に動ける場所を作る。」
- 「無料のフリースペースがほしい。」
- 「むつ市内に美術館や、博物館を作る。」
- 「むつ市に大学を作る。自然を残しつつ都会にあるようなたてものをたてる。」
- 「むつでしか出来ない特別な何かを作ってみるなど。」
- 「遊園地を作ります。下北半島を全部むつ市にして至る所に遊園地を作ります。」
- 「環境的にむつ市内にセブンイレブンを作るのは難しいけど、もしできればみんな喜ぶ。」
- 「観光できるところを増やす。」
- 「観光客がいっぱい来るような住みやすいまちにしたい。」
- 「むつ市に来る理由ができるまちづくりがしたいです。」
- 「自然を残したままどの世代の人も安全に楽しめる街づくりをしたい。」
- 「むつ市の魅力があるのにアピール不足だと思います。」

② 交通インフラの整備

むつ市における交通インフラの課題は、「移動の不便さ」に集約されます。特に、公共交通機関の本数の少なさ、バス停の遠さ、交通費の負担、アクセスの悪さといった問題が、若者・高齢者・免許を持たない市民を中心に多くの意見が挙げられています。

バスや電車の本数増加、町内ごとのバス停の設置、交通費の補助、通学・通院の利便性向上など、具体的な改善策が求められています。また、都市部とのアクセス改善（例：七戸十和田駅や青森市との接続強化）や、災害時にも機能する交通網の整備も重要視されています。

さらに、歩道の整備や街灯の設置、除雪の徹底など、日常の安全性を高めるためのインフラ整備も強く求められており、特に通学路の安全確保や夜間の安心感の向上が課題として挙げられています。交通インフラの整備は、高齢者の生活支援、若者の定住促進、観光客の受け入れ体制の強化など、他の政策分野とも密接に関係しており、地域の持続可能性を支える基盤としての役割が期待されています。

▸主な意見(原文抜粋)
・「交通手段を増やす。遊べるところ増やす。」
・「交通機関(バスや電車)の本数を増やす。」
・「町内によってバス停が遠いところがあるから、公共交通機関の充実したまちにしたい。」
・「交通を安定させる。交通機関が発達した町にしたい。」
・「行きたい場所へのアクセスをよくする。」
・「他の市に行き来しやすくするために、交通面の強化を。」
・「バスの本数を増やす。」
・「通学しやすいように交通を整えることが大事。」
・「歩道をつくる。街灯をもっと設置する。除雪が行き届かない所を減らす。」
・「歩行者の安全が考えられていない道路が学校の通学路に数多くあるので修繕したい。」
・「交通費無料にしてほしい。」
・「交通などの不便を改善して、お年寄りの方々も楽しめるイベントをたくさん作っていきたい。」
・「災害時にすぐに対応できるまちづくりを。」
・「交通インフラをもっと整備するところから始める。」

③ 子育て・教育支援

むつ市における子育て・教育支援に関する意見は、経済的な不安の軽減、安心して出産・育児ができる環境の整備、教育機会の充実を求めるものが中心に挙げられています。

まず、出産・育児にかかる費用の負担軽減を求める声が多く、特に「子どもを産みたいが経済的に不安」「無痛分娩ができる病院がない」といった切実な意見が目立ちました。出産・育児に対する支援金や物資の提供（おむつ・おもちゃなど）を求める声もあり、子どもを持つことへの心理的・経済的ハードルを下げる施策が必要とされています。

また、子どもが安全に遊べる場所の整備や、学生が勉強できるスペースの確保（自習室、図書館以外の学習施設）など、子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりも求められています。

教育面では、道徳教育やモラル教育の強化、学校の生徒指導の充実、進学支援、奨学金制度の拡充など、学力だけでなく人間性の育成を重視する声もありました。

さらに、若者の定住促進や将来の地域担い手育成の観点から、むつ市内に大学を設立することや、若者向けの支援制度の充実を求める声も多く見られました。

▸主な意見(原文抜粋)
・「子育て支援、産後のケアを充実させる。」
・「子供を産みやすく育てやすい街にしたい。」
・「子供たちが遊べる環境を増やす。一般人の声が届くような地域にする。」
・「子供や学生に優しい施設を作りたい。」
・「子供たちのお金の負担を少なくしたい。」
・「将来を担う子供たちに向けて、自習室などの学びの場の設立。」
・「子供のためのまちづくり。」
・「若者なども来てもらえるように子育ての支援をする。」
・「少子高齢化が続いている中、子供にとっても親にとっても暮らしやすいと感じられるように、お金の面での支援やおむつ・おもちゃの配布を。」
・「教育の向上。人間性の向上や強い人間に育てるために道徳教育や学校の生徒指導の強化、モラル教室を設ける。」
・「むつ市に大学を作る。」
・「学生がもっと楽しめるような施設を作り、子どもからお年寄りまで住み続けたいと思えるようなまちにしたい。」
・「子供たちが遊ぶところを沢山作る。」
・「子供が遊べる場所を増やしてほしい。」
・「子供のための遊び場や食べる場所に制限があるから、空き地に新しい何かを建設してほしい。」
・「子供の教育と医療をもっと支えていい町にしたい。」
・「結婚子育て支援を行う。少子高齢化や手取りが少なく、結婚できない方達が多いので給付金を与える。」

④ 地域文化・伝統の継承と活性化

むつ市の地域文化や伝統行事に対しては、「守りたい」「続けたい」「もっと盛り上げたい」という強い思いが多く寄せられました。一方で、少子高齢化や担い手不足により、祭りや伝統芸能の規模縮小・消滅の危機が現実のものとなっており、地域全体で支える仕組みづくりが求められています。

市民からは、「誰でも参加しやすい」「若者も関われる」「他地域の人も巻き込める」などの形で、伝統行事を再構築する必要があるという意見が多く、地域内外の人々が気軽に関われる“開かれた文化”としての再設計が期待されています。

また、ＳＮＳや動画配信などを活用した情報発信、地域の魅力の再発見と外部への発信も重要視されており、「むつ市らしさ」を再定義し、誇りを持って伝えていくことが、地域の活性化にもつながると考えられています。

さらに、文化や伝統を観光資源として活用する視点も多く見られ、祭りや芸能を「地域の魅力」として磨き上げ、観光客を呼び込む仕掛けづくりも求められています。

▸主な意見（原文抜粋）
- 「伝統文化や地域のお祭りを大切にするまちづくりをしたい。お祭りの期間に休みを取りやすくして、これからもみんなで伝統行事を続けていけるようになればいいなと思います。」
- 「むつ市にある祭りを広げ、気軽に参加できるようにし地域を盛り上げる。」
- 「地域文化への積極的な参加のまちづくり。」
- 「イベントや地域の文化を目立たせ、それを利用して市を繁盛させる。」
- 「むつ市は多くの伝統行事がありますが、近年は参加人数や規模などが縮小されている気がするので、地域の人が参加しやすく楽しめる伝統行事にするための案を考えたいです。」
- 「現在、少子高齢化が進み、祭りや伝統芸能が途絶えたり、縮小していく地区が多くなっているため、その町だけでなくどこの地域の人も興味があれば関われるようにしたい。」
- 「地域の交流をたくさん増やし、ゴミ拾いなど地域に貢献できることを、今よりもっと多くの人を集め町を綺麗にする。」
- 「SNS（YouTube、インスタグラム、TikTok）を使い、情報発信をし、興味をひかせる。」
- 「祭りを盛り上げる。そのためには、SNS などで告知し、期待感を高めたり、メディアの情報発信、安全で快適な環境にする。」
- 「むつ市の魅力があるのにアピール不足だと思います。ジオパークや自衛隊など、唯一無二の資源を活用してほしい。」
- 「伝統や祭り、文化を発信していく。」

⑤ 安心・安全・共生のまちづくり

「誰もが安心して暮らせるまちにしてほしい」という意見が多く寄せられました。特に、防犯・防災・交通安全・生活インフラの整備に関する具体的な要望が目立ちます。

街灯の不足や夜道の暗さ、歩道の未整備、通学路の危険性など、日常生活における安全性への不安が多く挙げられました。これに対しては、街灯の増設、歩道の整備、除雪の徹底、通学路の安全対策など、きめ細やかなインフラ整備が求められています。

また、災害時の対応力の強化も重要なテーマであり、避難所の整備、災害情報の伝達手段の多様化、地域防災訓練の充実などが必要とされています。

さらに、「全員が平等に暮らせるまち」「誰もが挑戦できるまち」「笑顔の絶えないまち」といった、共生社会の実現に向けた価値観の共有も多く挙げられています。これは、高齢者、障がい者、子ども、若者、移住者など、あらゆる立場の人が安心して暮らせる社会の構築のため、ハード・ソフト両面での支援が必要です。

▸主な意見（原文抜粋）
- 「街灯など夜道も安心して通れるようにする。」
- 「歩行者の安全が考えられていない道路が学校の通学路に数多くあるので修繕したい。」
- 「歩道をつくる。街頭をもっと設置する。除雪が行き届かない所を減らす。」
- 「災害時にすぐに対応できるまちづくり。」
- 「安全に安心して暮らせるように防犯や防災に心がけたい。」
- 「みんなが安心して過ごせるまち。」
- 「全員平等に幸せになれるまちづくり。」
- 「人１人１人が平等で公平な社会生活を送っていけるようにしたいです。」
- 「誰でも何にでも挑戦できるようにする。」

・「可能なら、人が人を積極的に助け合い、笑顔の絶えない綺麗なまちです。」
・「みんなが過ごしやすく安心できるように今よりもっと発展させたい。」
・「みんなが安心、安全に暮らせる地域にしたい。」
・「災害に備えるまちにしたいと思っています。」
・「すべての世代(子供から高齢者まで)が暮らしやすいと思えるようなまちづくり。」

⑥ 地域経済・雇用・起業支援

地域経済や雇用については、「働く場所が少ない」「給料が安い」「選べる職業が限られている」という意見が挙げられています。特に若者や子育て世代からは、地元で安定した仕事に就ける環境が整っていないことが、定住やＵターンを妨げているという意見が多く挙げられています。

企業誘致（特に原子力関連以外）や地場産業の育成、観光業・農水産業・ＩＴ・福祉など多様な分野での雇用創出が求められています。また、むつ市が自ら起業するような形で地域に雇用を生み出す仕組みや、空き地や空き店舗を活用した新規事業の支援も提案されています。

さらに、起業支援や副業・在宅ワークの推進、若者向けの就労支援制度の整備、時給や待遇の改善など、働き方の多様化に対応した支援策も必要とされています。

地域経済の活性化に向けては、大湊地域の自衛隊基地のＰＲや周辺の活性化、土地の価格を下げることで企業誘致の促進、クラウドファンディングやイベントによる資金調達、観光資源の活用による収益化など、学生発のアイデアも見られました。

▸主な意見(原文抜粋)
・「選べる職業を増やす。」
・「給料が安定している町づくり。」
・「むつ市が起業する会社などが欲しい。」
・「時給をあげる！」
・「安定した多様な職種を求める。」
・「仕事しやすいまちにするために、いろいろな仕事場をむつ市に作る。」
・「むつ市の人口は自衛隊で潤っていると思います。もっと自衛隊のアピールを。」
・「経済を豊かにするために、土地の価値を安くして企業がむつ市に訪れやすいようにする。」
・「むつ市に来る理由ができるまちづくりがしたいです(飲食店・娯楽施設など)。」
・「原子力の市に入ってくるお金を使って、子供を２人以上産んだら税金を少なくする、３人以上産んだら税金免除にする。」
・「むつ市の人口は自衛隊で潤っていると思います。ですので、大湊(基地周辺)の活性化をお願いしたいです。それかもっと自衛隊のアピールを。」
・「資金を集めるためにイベント開催や物販、クラウドファンディングを積極的に行う。」
・「観光で賑わう町にしたい。むつでしかできない特別な何かを作ってみるなど。」
・「今までのむつ市の財産、観光地、ジオパークなどをあらためて活性化しながら、新しいものを作り上げていきたい。」

⑦ 情報発信・市民参加・まちづくりの姿勢

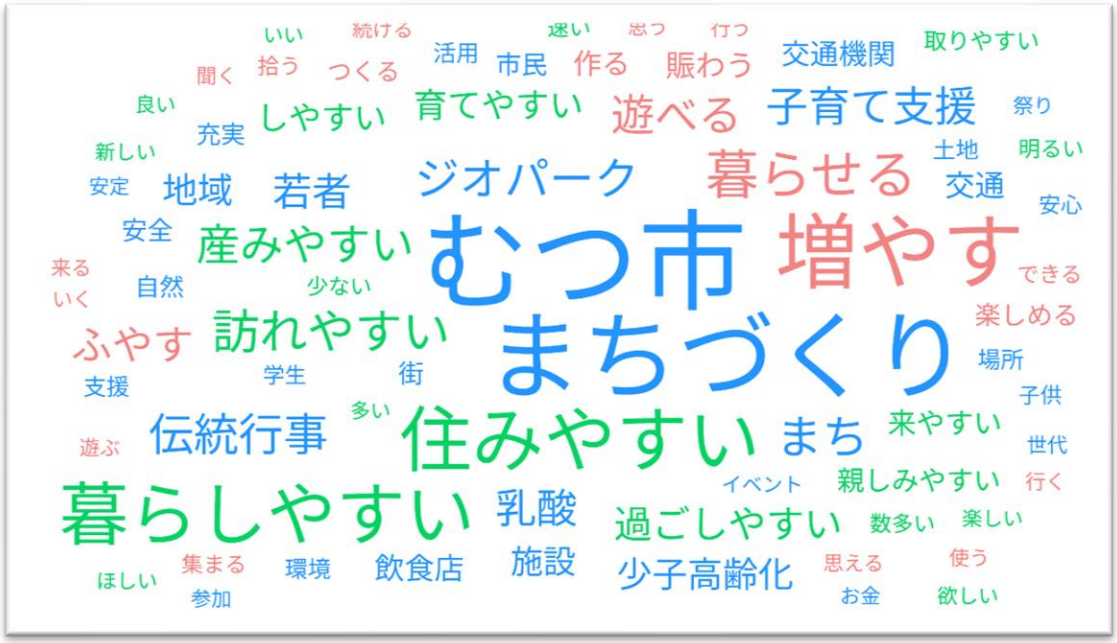
市民からは、「自分たちの声がまちづくりに反映されてほしい」という強い願いが寄せられました。特に、市民の意見を丁寧に聞き、実際の施策に反映する姿勢や仕組みの強化が求められています。

また、むつ市の魅力や取り組みをもっと積極的に外部へ発信してほしいという声も多く、ＳＮＳ（YouTube、Instagram、TikTok など）やメディアを活用した情報発信の強化が提案されています。これは、観光誘致や移住促進だけでなく、市民自身がまちに誇りを持つための“内向きの広報”としても重要であると意見が見られます。

さらに、市民が主体的にまちづくりに関わる機会の創出も求められており、イベントの開催、地域清掃活動、クラウドファンディングによる資金調達、地域の声を集める仕組みなど、「行政任せではなく、市民とともにつくるまち」への転換が期待されています。この分野は、行政の透明性・信頼性の向上、市民のエンゲージメント強化、地域の一体感の醸成に直結する重要なテーマです。

▶主な意見（原文抜粋）
- 「市民の意見を取り入れて過ごしやすい環境をつくる。」
- 「むつ市民の意見を聞いて、なるべくその意見を実現させる。」
- 「より多くの市民の声を聞き、市民が今も将来も生活しやすいよう改善したり、むつ市の魅力を行事等でたくさん伝えていきたいです。」
- 「イベントごとを多くし、地域住民とコミュニケーションをとる。」
- 「誰でも参加しやすいスポーツのイベントを増やす。」
- 「月に一回、まちの人たち全員で積極的にゴミ拾い・清掃活動を行い、誰もが住みやすいと思うまちにする。」
- 「SNS（YouTube、インスタグラム、TikTok）を使い、情報発信をし、興味をひかせる。」
- 「資金を集めるためにイベント開催や物販、クラウドファンディングを積極的に行う。」
- 「むつ市でしかできない特別な何かを作ってみるなど、観光で賑わう町にしたい。」
- 「市が企業のような形態になって、柔軟に動けるようにしてほしい。」
- 「今の人たちがどのようなことを望んでいるのかを理解して、まちづくりに活かしてほしい。」
- 「一人一人が不満なく楽しい街にする。」

■ テキストマイニングによるワードクラウド



※ 「AI テキストマイニング（株式会社ユーザーローカル）」により作成

3．アンケート調査結果のサマリー

（1）調査の設問構成

市民アンケートは、むつ市への愛着・幸福・満足・定住意向、住みたい理由／転出理由、まちづくりの満足度・重要度（4 象限に分類）、結婚・出産・子育て、むつ市で重要な取組、自衛隊との共存、自由記述（むつ市で暮らす中で感じるモヤモヤ・将来のまちづくりの提案）などの設問で構成しています。

学生アンケートは、愛着、卒業後の居住、居住意向・時期、就職希望地域、地元／市外就職理由、将来に関する家族の意向、起業意向、地元企業認知・イメージ、希望するライフスタイルと必要な支援、将来のまち像、自由記述（自身が市長ならどんなまちづくりをするか）で構成しています。

（2）アンケート調査の総括

市民のむつ市への愛着度は平均 7.0 点、幸福度は 6.6 点、むつ市での暮らし満足度は 6.0 点でした。高齢者層ほど愛着度・幸福度・満足度が高く、30～40 代は相対的に低い傾向にあります。地域差として、大畑地区・脇野沢地区は比較的ポジティブな回答となっていますが、川内地区は多くの回答で低い傾向となっています。

むつ市への定住意向は 65.6%と一定の強さを持っていますが、転出意向も 12.6%の回答が見られます。

むつ市の取組については、医療体制への不満（59.0%）で、次いで、公共交通（50.0%）、にぎわい創出（49.0%）、雇用・産業（42.0%）が続きます。取組の重要度については、医療体制（79.5%）が最も高く、次いで、除雪（75.3%）、雇用・産業（72.7%）、公共交通（69.6%）、道路（69.1%）となっています。

自由記述においては、若者支援（雇用・娯楽）、子育て・教育（選択肢・費用）、生活環境（買い物・空き家・にぎわい）、交通（バス利便・除雪）、医療（専門医不足・診療動線）、行政のデジタル対応（高齢者配慮した情報提供）が主要論点となっています。

また、学生アンケート調査の結果によると、卒業後のむつ市での居住意向は、むつ市外が 54.4%となっており、「将来むつ市に住みたいか」については否定的・消極的な回答が 68.3%となっています。

むつ市に住みたくなる・住み続けたくなるまちになるためにむつ市が行うべき支援については、雇用・待遇・ワークライフバランス、子育て支援、公共交通、交流や教育環境の充実が挙げられています。

自由記述では遊び・娯楽・商業施設の不足に関する意見が多く、交通の不便も日常生活での実感として強い傾向がありました。

むつ市において今後重点的に取り組むべき施策は、①子育て支援や教育の経済的負担の軽減、②雇用・産業の拡大、③公共交通の再設計や道路交通網の整備、④若者の余暇・交流拠点整備、⑤医療体制の再構築、⑥行政サービスのデジタル対応などが挙げられます。

（3）市民アンケートの考察

(3)-1. 愛着・幸福・満足と定住意向

むつ市への愛着度は 10 代と 80 代以上で高く、30～40 代が低い傾向となっています。また、居住年数 30 年以上とした回答者でむつ市への愛着度が高くなっています。幸福度・満足度についても高齢者層が高く、30～40 代は低い傾向です。

定住意向は高齢者層で突出して高く、10 代・20 代は低い傾向となっています。また、大畑地区で定住意向が高く、川内地区・脇野沢地区は低い傾向となっています。子育て世代の生活課題や雇用・教育環境、医療・交通などの生活環境などの課題が、満足度と将来の定住意向に影響していると考えられます。

(3)-2. 住み続けたい／転出したい理由

むつ市に住み続けたい理由は、「家や土地」「家族・親族」「自然の豊かさ」が上位となっています。大畑地区では、愛着度・近所付き合いが強い傾向となっています。

転出したい理由については、「交通不便」「まちの将来への不安」「買い物不便」が上位となっています。

家や土地、家族・親戚に関わる地縁、自然環境の良さが定着要因となっている一方、交通・買い物・将来性の希薄さが流出要因となる可能性が考えられます。

(3)-3. 満足度×重要度の４象限

第 1 象限（高満足・高重要）は、防災、教育（小中）、子育て支援、生活環境保全で、引き続き維持・質の向上の取組が重要です。

第 2 象限（低満足・高重要）は、医療体制、公共交通、にぎわい、雇用・産業、商業、道路、大学等教育、地方創生、観光物産などが挙げられ、今後改善や取組の重点化、資源の集中が最優先の分野であると考えられます。

第 3 象限（高満足・低重要）は、自衛隊共存、歴史文化、自然保護、ＳＤＧｓ、デジタル化対応などが挙げられ、各事業のＰＲ強化や費用対効果見直しなどの対応が重要となります。

第 4 象限（低満足・低重要）は、生涯学習、市民協働、男女共同参画が挙げられ、目的の再定義・事業のＰＲ・統廃合含む見直しが必要と考えられます。

最優先の短期施策は、医療アクセス（予約・動線・専門医の可視化）、公共交通（路線再設計・IC 対応・本数増・買い物バス）、中心市街地のにぎわい（イベント・ナイトエコノミー・空き店舗利活用）などが考えられます。

(3)-4. 自由記述の主要論点

若者支援は求人の少なさ、賃金低さ、家賃高さ、娯楽・交流拠点不足、独身者への支援の欠如などが課題として挙げられています。

子育て・教育については、選択肢不足、保育料運用の分かりにくさ、学校空調、給付型奨学金、いじめ・部活再設計などが課題として挙げられています。

交通・インフラについては、MUVE バス利便性、IC カード対応、路線の設計、除雪の公平性・迅速性、道路の整備、側溝・排水など豪雨対応が課題として挙げられています。

地域資源活用は道の駅、宿泊、駅前整備、冬季イベント、自衛隊との共存共栄の具体化（雇用・スポーツ・整備業務地域化）が求められています。

医療体制については、診療体制の非効率性、専門医不足（婦人科・小児科・眼科等）、接遇

改善、妊活・不妊支援不足、また、高齢・障がい者のアクセス支援に関する意見が挙げられています。

行政ＤＸについては、行政サービスのオンライン対応の拡充とアナログ併用（防災無線・紙媒体・音声）が必要であるとの意見が挙げられており、各地区への情報が行き渡る公平性の確保についても課題として挙げられています。

生活環境については、空き家対策、買い物難民対策（移動販売・買い物バス）、ごみシステムの改善、町内会運用の継続性が課題となっています。

（４）学生アンケートの考察

(4)-1. 居住・就職・ライフスタイル意向

卒業後のむつ市への居住意向は、市外が 54.4%で、市内は 17.6%となっていました。高校 3 年生では市外志向が 72.6%と非常に高い傾向にあります。将来の居住意向は「むつ市に住みたいと思わない」「どちらかといえば思わない」が合計 68.3%で、否定的・消極的な回答が多数を占めていました。

現在の学校を卒業後に住む予定の場所については、「むつ市外に住む予定」とした回答は、男性の 48.7%に対して女性が 60.4%と 11.7 ポイント上回っています。また、将来におけるむつ市での居住意向は、「思わない（=居住したいと思わない）」とした回答は、男性の 15.4%に対して女性が 23.9%と、8.5 ポイント上回るなど、女性の市外志向が比較的高い傾向にある一方、男性はむつ市内居住の意向を示す回答が比較的多くなっています。

就職希望地域は東北圏が 26.8%、青森県内が 24.7%、むつ市内が 22.9%、首都圏が 19.0%と拮抗しています。

将来のライフスタイルについては「まだよくわからない」が 45%で最も多く、次いで「むつ市の企業で安定した正社員として働く」が 21.5%となっています。女性は「都市部で働き、むつ市とは特に関わらない」が 16.8%で比較的市外を志向する傾向がある一方、男性は「むつ市の企業で安定した正社員として働く」が 24.3%で女性より高く、地元定着への意識が相対的に強いといえます。

一方、将来、むつ市に住みたいと思うとする回答のうち、その時期について、「就職するとき」21.6%、「結婚するとき」11.4%、「子どもができた、増えた時」9.1%などの新たなライフステージへの移行のタイミングである時期を合計すると 42.1%となっています。むつ市への居住意向がある学生の「むつ市へ戻りたい」とする希望を叶えることができるよう、働く場や賃金水準の拡充、子育てや教育環境の整備などに取り組むことが重要です。

(4)-2. 地元就職／市外就職の理由

むつ市地域など地元就職を希望する理由については、「家族や親戚の近くで暮らしたい」が 42.7%、「地元で暮らし続けたい」が 34.2%、「通勤や生活が便利」が 31.6%、「地域に貢献したい」が 27.4%となっています。女性は「家族や親戚の近くで暮らしたい」が 51.0%と突出して高く、家族との近接を重視する傾向が強くなっています。一方、男性は「地域の祭りや文化・伝統に関わりながら働きたい」が 30.3%、「都市部に比べてストレスが少ない」が 25.8%など、生活環境や地域文化への関心が高くなっています。

一方、市外就職を希望する理由については、「希望する職種・業種が多い」が 55.3%、「給与や待遇が都市部の方が高い」が 33.0%、「通勤や生活が便利」が 26.9%となっています。男女

とも「希望する職種・業種が多い」が最多となっていますが、女性は「給与や待遇が都市部の方が高い」が 36.5%で、経済的要因を重視する傾向が見られます。男性は「人脈づくりやネットワークの機会が多い」が 18.2%など、キャリア形成や成長機会を重視する姿勢がうかがえます。また、高校 3 年生では「大企業や有名企業で働きたい」「人脈づくりの機会が多い」など、キャリア形成を重視する傾向が強く見られます。地域内で職種の多様性や賃金水準、キャリア形成機会を拡充することが重要です。

(4)-3. 起業・企業認知

起業意向は「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が合計 66.0%で否定的な回答が多くなっていますが、起業を希望する回答者（19.8%）のうち、その理由として「自分のアイデアや夢を実現したい」が 50.5%、「自由に働きたい」が 46.5%と明確な動機を持っています。

女性は「まったくそう思わない」が 30.2%で高い一方、起業を希望する場合は「自分のアイデアや夢を実現したい」が 56.1%、「スキルや専門性を生かしたい」が 31.7%など、自己実現型の動機が強い傾向が見られます。男性は、起業意向自体は低いものの、理由として「地域を元気にしたい」が 22.4%、「新しいビジネスに挑戦したい」が 18.9%など、地域貢献や挑戦志向が見られます。

地元企業の認知度は「名前だけ聞いたことがある」が 37.4%、「少し知っている」が 29.9%、「ほとんど知らない」が 21.9%となっています。女性は「名前だけ聞いたことがある」が 42.8%で高く、認知は限定的である一方、男性は「少し知っている」が 36.6%で多く、地元企業への認知は比較的高くなっています。

地元企業のイメージは「安定している」が 30.3%、「給与や待遇が都市部より低い」が 24.7%、「地域や社会に貢献している」が 24.5%で、ネガティブな印象として「考え方が古そう」といった意見も挙がっていますが、地元企業や起業について学ぶ機会への参加意向については、「興味があり機会があれば参加したい」が 43.2%で最も多くなっています。

企業広報や職場見学、インターンシップなど学生と企業がコミュニケーションをとる機会の創出が必要であり、成長性や給与改善、地元企業の魅力などのＰＲが重要です。

(4)-4. ライフスタイルを実現するための支援やむつ市の将来のまち像

希望するライフスタイルを実現するために必要な支援については「住まいや暮らしに関する支援（住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど）」が 33.9%、「企業情報を知る機会」が 23.5%、「リモートワーク環境の整備」や「二地域居住支援」も挙げられています。女性は「住まいや暮らしに関する支援」が 38.2%、「子育て支援」が 34.5%と、将来の家庭生活を視野に入れた回答が多くなっています。男性では「地元企業や仕事の情報提供」が 28.7%、「リモートワーク環境整備」が 22.4%など、働き方の柔軟性に関する支援を重視する傾向が見られます。

職場に求める条件は「初任給や昇給水準が十分」が 68.7%、「残業が少なく休日がしっかり取れる」が 64.8%、「人間関係が良く相談しやすい」が 54.6%となっています。特に、女性は「妊娠・出産に理解があること」「出産後も働き続けられる環境」を強く求めています。

将来のまち像としては「仕事と生活のバランスが取れたまち」が 36.4%で最も多く、次いで「観光客が訪れるにぎわいのあるまち」「新たな産業が生まれるまち」が上位となっています。男女とも「仕事と生活のバランスがとれたまち」が最も多くなっていますが、女性は「子育てにやさしいまち」が 24.8%への関心が強く、男性で「観光でにぎわうまち」が 31.2%、「新産業の創出」が 27.5%など、経済活性化や地域の魅力向上への関心が見られます。

(4)-5. 学生の自由記述（自身が市長ならどんなまちづくりをするか）

学生の自由記述においては、遊びや娯楽、商業施設の不足に対する不満が目立っています。ショッピングモール、飲食店、映画館、スポーツ施設など、都市部にあるような施設の整備を求める声が多く挙げられています。

交通の不便さも大きな課題として挙げられおり、バスの本数増加や交通費の補助、通学路の安全確保などが求められています。

子育て・教育支援では、出産費用の負担軽減、無痛分娩の導入、学びの場の整備、奨学金制度の拡充などが挙げられています。

文化継承や情報発信、市民参加の強化も重要視されており、ＳＮＳを活用した広報や地域イベントの充実が提案されています。

雇用・賃金・起業支援については、職種の多様化、賃金改善、企業誘致、起業や副業の促進が求められています。定住意向の向上につなげるため、若者の日常生活の満足度を高める施策や取組に引き続き取り組む必要があります。

男女とも「遊び・娯楽施設の充実」「交通インフラ改善」「子育て支援」が多く挙げられていますが、女性は「子育てしやすい環境」「安心して暮らせるまち」に関連する意見が多くなっており、生活の安全性や家庭環境に重点を置く傾向があります。男性は「地域文化の継承」「観光資源の活用」「経済活性化」など、地域の魅力や産業振興に関する意見が多く、まちの活力を高める視点が多く見られます。

（５）市民×学生のクロス分析（世代間ギャップと共通項）

交通の不便さ、医療アクセスや専門医不足、雇用・賃金・職種の少なさ、子育て支援の不足は、市民アンケートと学生アンケートで共通する課題として挙げられています。

また、むつ市が目指すべき将来像として「仕事と生活のバランス」「にぎわい創出」「自然・文化の活用」は市民と学生の双方で一致しています。

一方で、重点的に取り組むべき施策の方向性において違いが生じています。

学生や若者は娯楽・商業・交流拠点、交通費や本数、賃金・待遇、情報発信を重視しています。また、子育て世代は医療、公共交通、教育、保育や費用支援、買い物利便、住宅・空き家活用を重視していました。

一方、高齢者層は医療アクセス、交通・除雪、安全・防災、生活費負担を重視しています。

これらを踏まえ、公共交通や移動の利便性と医療アクセスを結び付けたモビリティ＋医療の複合解（巡回診療・通院交通・デジタル予約）、また、雇用・賃金・職種拡大を生活基盤（住まい・交通・子育て）と一体的な推進、さらに、若者の「日常の楽しみ」を創出など生活環境の充実に取り組むことが重要であると考えられます。

（6）年代別・居住地区別・家族構成別の着眼点

- 年代別
  ① 10～20 代：娯楽・交流・交通・賃金、進学・就職支援を重視
  ② 30～40 代：医療・保育・教育・雇用、住宅・買い物・交通を重視
  ③ 50 代以上：医療・公共交通・除雪、安全・防災を重視
- 地区別
  ① むつ地区：中心市街地の機能再編・空き店舗活用で波及効果を期待
  ② 川内地区：多指標で低評価のため、医療・交通・雇用に重点投資が必要
  ③ 大畑地区：文化・愛着・交流が強みで、にぎわいと教育支援の拡張が有効
  ④ 脇野沢地区：愛着が高く、交通改善と観光資源活用が重要
- 家族構成別
  ① 夫婦のみ：定住意向が高く、医療・交通の安心の維持が重要
  ② 3 世代同居：家・土地・家族ネットワークなどの地縁の要素が強く、子育て・教育支援の充実により持続につなげる。
  ③ ひとり暮らし：幸福度・定住意向が相対的に低く、生活利便と交流施策が効果的であると考えられる。

４．アンケート調査票

（1）市民アンケート

回答方法はインターネットまたは郵送のいずれかを選べます！

むつ市総合経営計画策定のための

まちづくりアンケート
ご協力のおねがい

ごあいさつ

むつ市では現在、令和9年度からスタートする新たな「総合経営計画」の策定を進めています。「総合経営計画」とは、市民の皆さまの生活に密接に関わる重要な計画です。

この策定にあたり、市民の皆さまからのご意見をいただきたく、アンケート調査を実施します。

ご回答にはお時間をいただくことになりますが、皆さまのご意見が、まちづくりを進めていく原動力になりますので、どうぞご協力をよろしくお願いします。

ぜひ、一緒にむつ市のより良い未来を描いていきましょう。

令和７年9月

むつ市長　山本　知也

インターネットでご回答をいただく場合

パソコンで回答される場合は、下記のＵＲＬをブラウザに入力してアクセスしてください。

https://questant.jp/q/MuTsu-City-ManagementPlan2025

スマートフォンやタブレットで回答される場合は、ＱＲコード※を読み込んでアンケート回答フォームにアクセスしてください

※「QR コード」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

郵送でご回答をいただく場合

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて回答期限までに郵便ポストに投函してください。

回答期限は **9** 月 **30** 日(火)です。（郵送の場合は当日消印有効）

むつ市の未来のためにご協力をお願いします！



むつ市ＰＲキャラクター
「ムチュランファミリー」

お問い合わせ

むつ市役所　企画課　企画グループ

TEL： 0175-22-1111（内線）2313

※お電話でのお問い合わせは、平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までにお願いいたします。

※本調査は、しんきん地域創生ネットワーク株式会社に事業委託し実施しています。

▸ご記入にあたってのお願い

1 このアンケートへの回答の所要時間は、**10**分程度です。

---

2 調査票へのご回答は、**お送りした封筒のあて名のご本人様**にお願いします。
もしも、ご本人様によるご回答が難しい場合は、ご家族の方がお答えください。

---

3 調査票は、**無記名ですので、お名前をご記入いただく必要はございません。**
また、ご記入にあたっては、ボールペンや濃い鉛筆などをご使用ください。
※返信用封筒にも住所やお名前を記入しないでください。

---

4 ご回答にあたっては、次の点にご留意ください。
❶ 質問ごとに、**あてはまる番号に○印**を付けてください。設問によっては、複数お答えいただく場合もあります。
❷ 設問によっては、一部の方だけにお答えいただく場合もあります。
その場合は「問○○で□□を選んだ方におうかがいします」などの説明文があります。
❸「その他」の項目を選んだ場合は、(　　)内に具体的な内容をご記入ください。

---

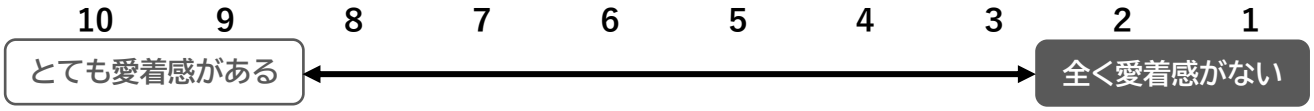
5 インターネットで回答いただいた方は、最後まで入力いただいた時点で終了です。
郵送で回答された方は、お手数ですが、**同封の返信用封筒(切手不要)**に入れ、回答期限の**9月30日(火)までに郵便ポストにご投函**ください。(当日消印有効です。)

最初にあなたご自身のことについてお聞きします。【問1～7】

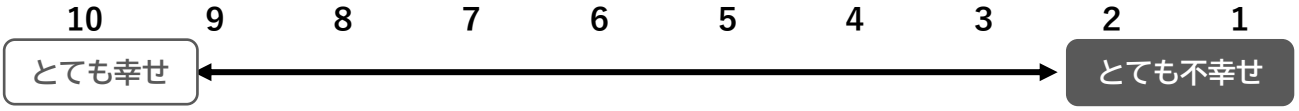
問1. 性別	1. 男性　2. 女性　3. その他
問2. 年齢	1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代 5. 50代　6. 60代　7. 70代　8. 80代以上
問3. 居住地区	1. むつ地区　2. 川内地区　3. 大畑地区　4. 脇野沢地区
問4. 職業 ※育児や介護、病気などで一時的に休業中の場合は、現在働いているものとして回答してください。	1. 農林畜水産業　2. 自営業　3. 会社員　4. 公務員 5. 団体職員　6. パート・アルバイト　7. 主婦・主夫 8. 学生　9. 無職　10. その他
問5. 家族構成	1. ひとり暮らし　2. 夫婦のみ　3. 2世代が同居(親と子) 4. 3世代が同居(親と子と孫)　5. その他
問6. 家族に次の方は含まれていますか？ ※あなた自身も含む ※あてはまる方すべてに○	1. 未就学児　2. 小学生以上18歳未満の子　3. 65歳以上の方 4. 介護を要する方　5. 該当する人はいない
問7. むつ市にお住まいになって何年になりますか？	1. 1年～3年未満　2. 3年～5年未満　3. 5年～10年未満 4. 10年～15年未満　5. 15年～20年未満 6. 20年～30年未満　7. 30年以上

むつ市への愛着や定住意向についてお聞きします。【問8～13】

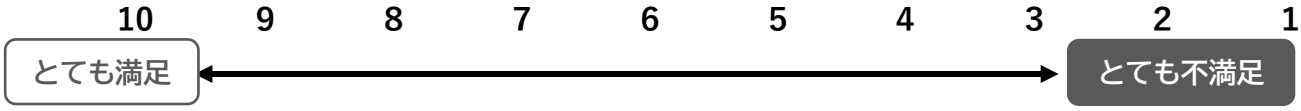
問8　むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じていますか。「10＝とても愛着感がある」、「1＝全く愛着感がない」としてお答えください。（○は1つ）



問9　現在の、あなたの幸福度はどのくらいですか。「10＝とても幸せ」、「1＝とても不幸せ」としてお答えください。（○は1つ）



問10　現在の、むつ市での暮らしの満足度はどのくらいですか。「10＝とても満足」、「1＝とても不満足」としてお答えください。（○は1つ）



問11　あなたは、今後もむつ市で住み続けたいですか。（○は1つ）

1. 住み続けたい　　2. できるなら住み続けたい　　3. どちらともいえない
4.いずれは市外に転出したい　　5.すぐにでも市外に転出したい

問12　問 11 で「１.住み続けたい」または「２.できるなら住み続けたい」を選んだ方におうかがいします。
あなたが住み続けたいと思う理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 自然が豊かだから（海、山、川、空気がきれいなど）
2. 静かで落ち着いて暮らせるから
3. おいしい食べ物があるから
4. 災害の危険性が低いから
5. 生活費（物価や家賃）が安いから
6. 家や土地があるから
7. 交通の便が良いから（電車、バス、道路など）
8. 通勤や通学がしやすいから
9. 医療・福祉サービスが充実しているから
10. 買い物が便利だから
11. 子育てしやすいから（保育、公園など）
12. 学校や教育環境が良いから
13. 希望する仕事・収入を得る場があるから
14. 愛着があるから
15. 家族や親族が住んでいるから
16. 友人や近所付き合いがあるから
17. 行政のサービスや支援が充実しているから
18. まちの将来に期待できるから
19. その他（　　）

問13　問 11 で「４.いずれは市外に転出したい」または「５.すぐにでも市外に転出したい」を選んだ方におうかがいします。あなたが住み続けたくないと思う理由を教えてください。（○はいくつでも）

1. 自然環境に魅力を感じないから（海、山、川、空気など）
2. 騒がしく落ち着いて暮らせないから
3. おいしい食べ物が少ないから
4. 災害の危険性が高いから
5. 生活費（物価や家賃）が高いから
6. 市外に家や土地を持っているから
7. 交通の便が良くないから（電車、バス、道路など）
8. 通勤や通学に不便だから
9. 医療・福祉サービスが十分ではないから
10. 買い物が不便だから
11. 子育てしにくい環境だから（保育、公園など）
12. 学校や教育環境に不満があるから
13. 希望する仕事・収入を得る場が少ないから
14. 愛着がないから
15. 家族や親族が市外に住んでいるから
16. 友人や近所付き合いがないから
17. 行政のサービスや支援に不満があるから
18. まちの将来に期待が持てないから
19. その他（　　）

むつ市のまちづくりへの満足度、今後の重要度についてお聞きします。【問 14(38 項目)・15】

問14　あなたは、毎日の生活の中で、以下にあげたまちづくりの取組にどの程度満足していますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。ご自身の生活と関連が少ない項目についても、ご家族や地域の状況を踏まえてできるだけお答えください。(1. ～38.のすべての項目ついて、A.満足度、B.重要度それぞれに○を1つずつ)

評価 / 項目		A. 取組に満足していますか					B.取組は「重要」だと思いますか				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない
回答例	移住・定住促進などの地方創生の取組	5	4	③	2	1	5	④	3	2	1
1.	移住・定住促進などの地方創生の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2.	産業の活性化と雇用の創出への取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3.	農林畜水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4.	製造業など工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5.	商業・サービス業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6.	まちのにぎわいの創出	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7.	下北ジオパークの活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8.	観光・物産の活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9.	自然や景観、生態系の保護・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10.	市民協働の推進や地域コミュニティの維持	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11.	男女共同参画や女性活躍の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12.	国際交流や都市間交流の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13.	海洋科学研究拠点の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14.	小・中学校の教育環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15.	高校の教育環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16.	大学等の教育環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17.	生涯学習環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18.	こども・子育て支援（妊娠・出産・育児）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19.	健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20.	医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

評価 / 項目		A. 取組に満足していますか					B.取組は「重要」だと思いますか				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない
21.	高齢者福祉サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22.	障がい者福祉サービスの充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23.	スポーツ活動の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24.	生活環境の保全（ごみ収集など）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25.	道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26.	公共交通の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27.	行財政運営の健全化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28.	公共施設の整備・維持	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29.	デジタル化への対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30.	防災・災害対策の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31.	交通安全や防犯への対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32.	除雪の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33.	上下水道の安定供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34.	歴史・文化の保全・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35.	エネルギー関連産業の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36.	自衛隊との共存共栄	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37.	ＳＤＧｓの取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38.	地球温暖化対策、脱炭素の取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問15　むつ市で暮らしている中で感じるモヤモヤ（率直に思うこと、困りごと、気になることなど）がありましたら、ご自由に記入してください。

＜10代～40代の方におうかがいします。＞

あなたの結婚・出産に関する考え方についてお聞きします。【問 16～19】

問16　あなたは結婚していますか。（○は1つ）

1. 結婚している（事実婚含む）　　2. 結婚したことはない　　3. 離別・死別

問17　あなたは現在、お子さんは何人いますか。（○は1つ）

1.　1人　　2.　2 人　　3.　3 人　　4.　4 人以上　　5.　こどもはいない

問18　生涯を通じて結婚をしない「未婚化」や結婚の時期が遅くなる「晩婚化」が全国的に進んでおり、出生数の減少にもつながっています。 むつ市でも若い世代の結婚や出産を支えることが重要な課題となっています。近年未婚化や晩婚化が進んでいる原因は何だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 経済的な不安（収入・雇用の不安定さ）
2. 出会いの機会が少ない
3. 仕事が忙しく、時間が取れない
4. 結婚・育児に対する負担感・不安
5. 家族や親の介護などの事情
6. 自由な生活を維持したいという意識
7. 結婚に対する価値観の変化（結婚しなくてもよいという考え）
8. 結婚に対する社会的プレッシャーの減少
9. 地域コミュニティの希薄化
10. 結婚や出産を支援する社会制度が十分でない
11. その他（　　）

問19　結婚や出産に前向きになれるために、むつ市はどういった取組に力を入れるべきだと考えますか？（○はいくつでも）

1. 若者の安定雇用促進（正規雇用や就職を自治体が支援など）
2. 若者交流拠点の整備（若者が集える交流施設やコミュニティ形成の支援など）
3. 結婚相談窓口の設置（専門相談員によるカウンセリング、手続き支援など）
4. 結婚生活への経済的支援（結婚・新生活の立ち上げ費用を支援など）
5. 妊娠・出産費用の助成（不妊治療・不育症治療への助成、出産育児一時金など）
6. 妊娠・出産に関する医療体制の充実（産婦人科・小児科の確保、無痛分娩など）
7. 妊娠・出産・子育てに関する相談体制の強化（専門相談員、24 時間相談窓口など）
8. 子育て世帯への経済的支援の充実（保育料の無償化の拡充、奨学金の返済を一部助成など）
9. 子育て世帯への住宅支援（公営住宅の優先入居、家賃補助、住宅購入助成など）
10. 第2子以降の経済的支援
11. こどもの医療体制強化（休日・夜間診療、小児救急の拡充など）
12. 保育サービスの拡充（延長保育・一時預かり制度・夜間保育等の充実など）
13. 教育に関する経済的支援の充実（学校諸費の軽減、就学援助の拡充、給付型奨学金など）
14. 企業と連携した育児支援の普及（短時間勤務導入、託児協力、産休・育休の取得促進など）
15. 地域コミュニティ支援（親同士の交流機会、子育てサークル支援など）
16. 広報・情報提供の強化（制度の周知、わかりやすい情報発信など）
17. その他（　　）

むつ市の今後のまちづくりについてお聞きします。【問 20～23】

問20 全国的に人口減少が課題とされるなかで、むつ市の人口も直近10年間で約9千人減少しています。むつ市の人口減少が、地域や生活にどのような影響を与えていると感じますか。（○は5つまで）

1. 地域経済や雇用の場が縮小している
2. 農林畜水産業の担い手が不足している
3. 若い世代が地域に残らず将来に不安を感じる
4. 高齢者を支える人材が不足している
5. 医療や介護サービスが縮小している
6. 公共交通が不便になっている
7. 空き家・空き地が増え景観や治安が悪化している
8. 地域の防災力が低下している
9. こどもの減少で学校などの統廃合が進んでいる
10. 地域のコミュニティや人間関係が希薄になっている
11. 祭りや地域行事が縮小し地域の活気が失われている
12. 地域の文化や伝統が受け継がれにくくなっている
13. インフラ（道路・水道など）の維持が難しくなっている
14. 今のところ特に影響を感じていない
15. その他（　　）

問21 あなたは、むつ市が将来どのようなまちを目指していくことが大切だと思いますか。（○は5つまで）

1. 地場産業や農林畜水産業、工業の振興など活力ある産業のまち
2. 新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち
3. 観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち
4. 仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち
5. 美しい景観や下北ジオパークなどの豊かな自然を保全・活用し共存するまち
6. 脱炭素やSDGsに取り組む、環境にやさしい持続可能なまち
7. こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち
8. 高等教育機関が充実し、未来を担う人材を育成するまち
9. 伝統文化や芸術、スポーツ活動が盛んなまち
10. 結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち
11. 必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち
12. 高齢者や障がいのある方も安心して暮らせる福祉のまち
13. 買い物や移動などがしやすい、便利で快適な生活ができるまち
14. 災害に強く、交通事故や犯罪の少ない安全安心に暮らせるまち
15. 地域の課題解決や活性化に向けて市民が協働して取り組むまち
16. その他（　　）

問22 移住・定住してもらうためにむつ市が行えばよいと思う取組は何ですか。（○は3つまで）

1. 移住者専用の相談窓口を開設
2. 空き家を改修して住居として提供
3. 住宅購入や家賃に助成金を支給
4. 市内企業と移住者の就職マッチング
5. 企業誘致や創業者支援など働く場の創出
6. 農林畜水産業への就業支援や就業体験の提供
7. 地域医療を担う病院・診療所の充実
8. 子育て世帯への出産・育児費用の補助
9. 保育園・学童などの子育て環境の充実
10. 高校・大学等への進学の奨学金や支援拡充
11. 若者や女性が働きやすい職場環境の創出
12. 公共交通機関の利便性向上
13. 上下水道や道路などの生活基盤の整備
14. 景観や豊かな自然環境の保全・活用
15. 空き店舗活用などまちのにぎわいの創出
16. 住民と移住者が交流できるイベントの開催
17. その他（　　）

問23 あなたは、「まちづくり」の取組や活動などに参加したいと思いますか。（○は1つ）

1. 参加している
2. 参加したい
3. 求められれば参加したい
4. 関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない
5. 特に必要がなければ、あえて参加したいとは思わない

むつ市内に配置されている自衛隊に関連してお聞きします。【問24・25】

問24 あなたは日ごろ生活や仕事をする中で、むつ市の自衛隊の人や施設と関わることがありますか。（〇はひとつ）

1. 日ごろから関わりがある　2. ある程度関わりがある　3. あまり関わることがない
4. 全く関わることがない　5. わからない

問25 あなたは、むつ市の自衛隊にどのような役割を期待しますか。（〇はいくつでも）

1. 迅速な災害対応や災害派遣（災害の時の救援活動や緊急の患者輸送など）
2. 防災訓練などによる市民の防災意識の向上に向けた取組
3. 市内地域経済への貢献（防衛関連産業の新規誘致や地元企業の受注機会の拡大など）
4. 地域との交流（イベントや地域コミュニティ活動への参加、自衛隊グルメの魅力発信など）
5. 民生協力（ジオパーク活動の推進、国民スポーツ大会への支援など）
6. 地域人材確保への貢献（退職自衛官の地元での再就職など）
7. 国内の治安維持
8. 海外在留日本人の保護
9. 国の防衛・安全の確保（周辺海空域における安全確保や民間船舶を海賊行為から防護する取組など）
10. 国際平和協力や途上国支援活動への取組（国連PKOや国際緊急援助活動など）
11. 防衛協力・交流の推進（各国防衛当局との会談・協議や共同訓練の実施、防衛装備協力など）
12. 特にない
13. その他（　　）

ご意見やアイディアなどご自由に！

問26 むつ市の将来のまちづくりで、特に重要だと思っていることや日ごろ市政に関して考えていること、次世代に残していきたいまちの魅力や地域資源、オンライン化してほしい行政サービス・手続き、まちづくりへの提案やアイディアなど、ご自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、封をしたうえで

9月30日（火）までに郵便ポストに投函をお願いいたします。

（２）学生アンケート（市内高校生・大学生対象）

回答期限は
10 月 15 日
（水）まで

むつ市総合経営計画策定のための

まちづくりアンケート
ご協力のおねがい

ごあいさつ

むつ市では現在、令和9年度からスタートする新たな「総合経営計画」の策定を進めています。「総合経営計画」とは、今後10年のむつ市のまちづくりを推進するための重要な計画です。

この策定にあたり、むつ市に居住または通学する高校生と大学生の皆さまからのご意見をいただきたく、アンケート調査を実施します。

皆さまのご意見が、まちづくりを進めていく原動力になりますので、どうぞご協力をよろしくお願いします。

ぜひ、一緒にむつ市のより良い未来を描いていきましょう。

令和７年９月

むつ市長　山本　知也

お手持ちのスマホやタブレット、パソコンなどでご回答ください！

スマートフォンやタブレットで回答される場合は、
ＱＲコード※を読み込んでアンケート回答フォームに
アクセスしてください。

※「QR コード」は、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

パソコンで回答される場合は、下記のＵＲＬをブラウザに
入力してアクセスしてください。

https://questant.jp/q/MuTsu-City-ManegementPlan_for_Student

このアンケートへの回答の所要時間は、**10** 分程度です。

回答期限は **10 月 15 日**（水）です！



むつ市ＰＲキャラクター
「ムチュランファミリー」

お問い合わせ

むつ市役所　企画課　企画グループ

TEL： 0175-22-1111（内線）2311

※お電話でのお問い合わせは、平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までにお願いいたします。
※本調査は、しんきん地域創生ネットワーク株式会社に事業委託し実施しています。

あなたご自身のことについておうかがいします。【問1～4】

問1. 性別	1. 男性　　2. 女性　　3. その他
問2. 学年	1. 高校1年生　2. 高校2年生　3. 高校3年生 4. 大学1年生　5. 大学2年生　6. 大学3年生 7. 大学4年生
問3. 居住地区	1. むつ地区　2. 川内地区　3. 大畑地区　4. 脇野沢地区 5. その他(　　)
問4. むつ市での居住経験	1. 生まれてからずっとむつ市に住んでいる 2. むつ市外に住んだことがある 3. むつ市に住んだことがない

問5 むつ市への愛着感や誇りをどのくらい感じていますか。「10＝とても愛着感がある」、「1＝全く愛着感がない」としてお答えください。(○は1つ)

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

とても愛着感がある ⟷ 全く愛着感がない

問6 現在通学されているところを卒業後に、どちらにお住まいになる予定ですか。(○は1つ)

1. むつ市内に住む予定　　2. むつ市外に住む予定
3. わからない　　4. その他(具体的に　　)

問7 **問6で卒業後の住まいについて、「2.むつ市外に住む予定」を選んだ方**におうかがいします。将来、むつ市に住みたいと思いますか。(○は1つ)

1. 思う　2. どちらかといえば思う　3. どちらかといえば思わない　4. 思わない

問8 **問7で将来のむつ市での居住希望について「1.思う」または「2.どちらかといえば思う」を選んだ方**におうかがいします。いつごろ、むつ市に住みたいと思いますか。(○は1つ)

1. 就職するとき　2. 結婚するとき　3. こどもができた、または増えた時　4. こどもが独立した時
5. 定年退職した時　6. むつ市に居住する家族等のめんどうを見ようと思った時
7. わからない　8. その他(具体的に　　)

問9 将来就職することを想定してお答えください。あなたは、どこで就職することを希望していますか(するつもりですか)。(○は1つ)

1. むつ市内　2. むつ市の近隣地域　3. 青森県内　4. 東北圏
5. 首都圏(東京都を中心とする圏域)　6. その他(具体的に　　)

問10 **問9で「1.むつ市内」を選んだ方**におうかがいします。むつ市で就職したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. (自分の意思で)家族や親戚の近くで暮らしたいから
2. (親の意思で)地元で生活するよう言われているから
3. 愛着があり地元で暮らし続けたいから　4. 通勤や生活が便利だから
5. 市内の企業や仕事に魅力を感じるから　6. 地元の人や地域に貢献したいから
7. 安心して子育てや家庭生活ができると思うから　8. 友人や知人が地元に多いから
9. 都市部に比べてストレスが少ないと感じるから　10. 家業を継ぐつもりだから
11. 地域の祭りや文化・伝統に関わりながら働きたいから
12.学校や自治体のサポートで就職がしやすいと感じるから
13.その他(具体的に　　)

問11 **<u>問9で「1.むつ市内」以外を選んだ方（将来、むつ市内で就職しないと回答した方）</u>**におうかがいします。むつ市外で就職したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 希望する職種・業種の仕事が多いから
2. 給与や待遇が都市部の方が高いと感じるから
3. 大企業や有名企業で働きたいから
4. 人脈づくりやネットワークの機会が多いから
5. 通勤や生活が便利だから
6. 実家や地元を離れて新しい場所で生活したいから
7. 友人や知人が市外に多いから
8. 地元に特に愛着がないから
9. 両親や親戚が勧めるから
10. その他（具体的に　　）

問12 あなたの家族（親など）は、あなたの就職について、どう思っていると思いますか。（○は1つ）

1. 積極的に地元で就職してほしいと思っている
2. できれば地元で就職してほしいと思っている
3. 特にこだわりはないと思う
4. 地元以外で就職してほしいと思っている
5. わからない

問13 あなたは家族から、就職についてどのようなアドバイスを受けていますか。（○は1つ）

1. 都市部で経験を積んだ方がよい
2. 安定した企業に入るべき
3. 自分のやりたいことを優先すべき
4. 地元で地域に貢献してほしい
5. 特にアドバイスはない
6. その他（　　）

問14 あなたは将来、自分で会社やお店を始めるなど、起業したいと思いますか。（○は1つ）

1. とてもそう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. まったくそう思わない
5. わからない

問15 **<u>問14で「1.とてもそう思う」「2. まあそう思う」を選んだ方におうかがいします。</u>**起業したいと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 自分のアイデアや夢を実現したいから
2. 自分のペースで自由に働きたいから
3. 高い収入や利益を目指したいから
4. 社会や地域の課題を解決したいから
5. 地元を元気にしたいから
6. 新しいビジネスに挑戦したいから
7. 自分のスキルや専門性を生かしたいから
8. 地域にやりたい仕事がないから
9. 家族や友人に勧められたから
10. 先生に勧められたから
11. その他（　　）

問16 あなたは地元の企業について、どのくらい知っていますか。（○は1つ）

1. よく知っている企業がいくつかある
2. 少し知っている企業がある
3. 名前だけ聞いたことがある企業がある
4. ほとんど知らない
5. まったく知らない

問17 地元企業に対して、どんなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

1. 安定していて長く働き続けやすい
2. 不安定で長く働き続けることができない
3. 給与や待遇が都市部より恵まれている
4. 給与や待遇が都市部より低い
5. 成長やキャリアアップが期待できる
6. 成長やキャリアアップが期待できない
7. 新しいことに挑戦していて期待できる
8. 新しいことに挑戦していない印象がある
9. 地域や社会に貢献している
10. 働き方が昔ながらで堅く、閉鎖的な印象を受ける
11. アットホームで人間関係が良さそう
12. 地元に根差した魅力がある
13. 選べる業種や仕事が限られている
14. 特にイメージはない
15. その他（　　）

問18 起業や、地元企業について学んだり、知ることができる機会があれば、参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. ぜひ参加したい　2. 興味があり機会があれば参加を検討したい
3. あまり興味がない　4. まったく興味がない

問19 あなたの将来希望するライフスタイルのうち、最も興味があるものは何ですか。(○は1つ)

1. むつ市の企業で、安定した正社員として働く
2. むつ市に住みながら、首都圏や都市部の企業にリモートで勤務する
3. むつ市で、自分のビジネスを立ち上げる(起業する)
4. むつ市で、複数のパートタイムの仕事やプロジェクトを組み合わせて働く
5. 普段は都市部に住み、定期的にむつ市に戻ってリモートワークやプロジェクトを行う(二地域居住)
6. 都市部の企業で正社員として働き、むつ市とは特に関わらない
7. 都市部で起業やフリーランスとして働きながら、必要に応じてむつ市と関わる
8. 都市部で複数の仕事やプロジェクトを組み合わせて働く(パラレルキャリア)
9. まだよくわからない
10. その他(　　)

問20 あなたが希望するライフスタイルを実現するために、どのような支援があるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 地元企業や仕事の情報をもっと知る機会(企業説明会、職場見学など)
2. リモートワークができる環境(Wi-Fi、コワーキングスペースなど)
3. 起業や副業に関する支援(資金、相談窓口、メンター制度など)
4. 住まいや暮らしに関する支援(住宅補助、空き家活用、交通アクセスなど)
5. 若者同士の交流やネットワークづくり(イベント、コミュニティなど)
6. 地元でのキャリア形成に関する情報(キャリア教育、インターンシップなど)
7. 二地域居住や週末移住など柔軟な働き方の支援(交通費補助、短期滞在施設など)
8. 地元の魅力やライフスタイルを発信するメディアや情報発信の場
9. 特に思いつかない
10. その他(　　)

問21 あなたが就職や職場に求めることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 初任給や昇給水準が十分であること　2. 正社員として安定雇用が確保されていること
3. 残業が少なく休日がしっかり取れること(ワークライフバランスの充実)
4. 上司や同僚との関係が良く相談しやすいこと　5. 地域や社会に貢献できる仕事があること
6. 専門知識や資格を生かせる業務があること　7. 住宅手当や交通費など福利厚生が充実していること
8. テレワークや柔軟な勤務制度が導入されていること
9. 妊娠・出産に周囲の十分な理解と制度が整っていること
10. 出産・子育て後も働き続けられる環境があること　11. その他(　　)

問22 むつ市に住みたくなる・住み続けたくなるまちになるために、むつ市が行えばよいと思う取組みは何ですか。(○は3つまで)

1. 安定した雇用や地元での働き口を増やす　2. 子育て支援(保育園・学童・経済的支援)を充実させる
3. 教育環境(学校・学習機会)を充実させる　4. 医療や介護サービスを安心して受けられるようにする
5. 公共交通を便利にする(バス・電車)　6. 道路・上下水道など生活インフラを整備する
7. 安全・安心な暮らしを守る(防災・防犯)　8. 住宅や家賃の支援、住まいの環境の改善を進める
9. 商業施設や買い物環境を充実させる　10. 公園やスポーツ施設などの交流・憩いの場を整備する
11. 若者や女性の起業・チャレンジを支援する　12. 地域の文化や祭りを守り、生かす
13. 自然環境を守り、きれいで快適なまちにする　14. 移住者・Uターン者がなじみやすい仕組みをつくる
15. デジタル化で便利な暮らしを実現する　16. その他(　　)

問23 あなたは、むつ市が将来どのようなまちを目指していくことが大切だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地場産業や農林畜水産業、工業の振興など活力ある産業のまち
2. 新たな産業の創出や働く若者が集まる活気のあるまち
3. 観光客など多くの人が訪れる魅力的でにぎわいがあるまち
4. 仕事と生活のバランスがとれた、住み続けたくなるまち
5. 美しい景観や下北ジオパークなどの豊かな自然を保全・活用し共存するまち
6. 脱炭素やSDGsに取り組む、環境にやさしい持続可能なまち
7. こどもたちの豊かな心や夢、生きる力を育む学校教育が充実したまち
8. 高等教育機関が充実し、未来を担う人材を育成するまち
9. 伝統文化や芸術、スポーツ活動が盛んなまち
10. 結婚や妊娠、出産など、こどもを産み育てやすい子育てにやさしいまち
11. 必要な時に必要な医療が安心して受けられる医療体制が充実したまち
12. 高齢者や障がいのある方も安心して暮らせる福祉のまち
13. 買い物や移動などがしやすい、便利で快適な生活ができるまち
14. 災害に強く、交通事故や犯罪の少ない安全安心に暮らせるまち
15. 地域の課題解決や活性化に向けて市民が協働して取り組むまち
16. その他(　　)

ご意見やアイデアなどご自由に！

あなたがもし、むつ市の“市長”になったら、どんなまちづくりをしてみたいですか？
むつ市で日ごろ生活する中で考えていることや、まちづくりへの提案やアイデアなど、ご自由に記入してください。

むつ市総合経営計画策定のための
アンケート調査（市民・学生）
結果報告書

2025 年 12 月

発行：むつ市　企画課
調査実施機関：しんきん地域創生ネットワーク株式会社